資料１

# 協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況報告書

## （令和３年度実績）

令和４年９月

仙 台 市

# 目　　次


Ⅰ　はじめに　１　頁

Ⅱ　基本施策に関する事業　２　頁

１　市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項　３　頁

２　政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項　１３　頁

３　多様な主体による活動の促進に関する事項　１９　頁

Ⅲ　市民協働事業　４１　頁

# Ⅰ　はじめに

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」（以下「条例」という。）は、本市における協働の基本理念を定め、市民と市の役割を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めることにより、協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に、平成27年7月に施行されました。

このたび、条例第9条※に基づき、令和3年度における協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について報告します。

※条例第9条・・・市長は、協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について、適宜、議会に報告するものとする。

条例に基づき定めた「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策について、これらを推進するための事業（基本施策に関する事業）を実施し、協働による多様な取り組み（市民協働事業）の展開を図りました。

**協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策**

**1　市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項**
- (1) 市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備
- (2) 持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進
- (3) 市民からの提案に基づく協働事業の拡充
- (4) 協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成

**2　政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項**
- (1) 市政に関する情報の公開の推進
- (2) 政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保
- (3) 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保
- (4) 附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施

**3　多様な主体による活動の促進に関する事項**
- (1) 次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成
- (2) 町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進
- (3) 地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進
- (4) 多様な主体の交流の促進
- (5) 多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進

→ **基本施策に関する事業（2頁～）**

→ 協働による多様な取り組みが展開

→ **市民協働事業（41頁～）**

さまざまな分野で発揮される協働の力

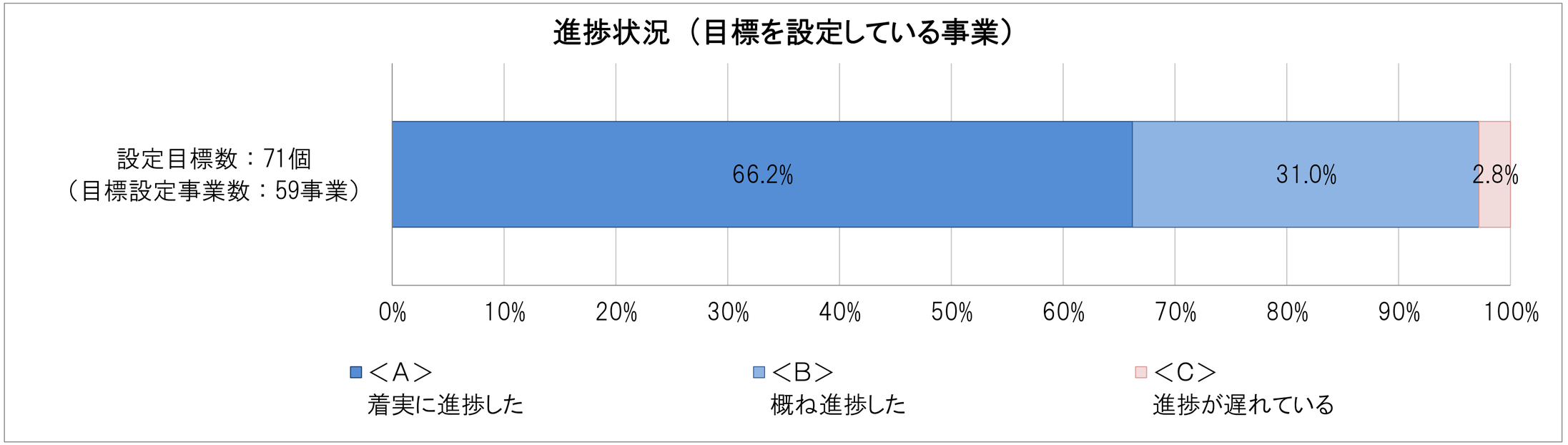
- コミュニティづくり
- ごみ減量・リサイクル
- 安全安心街づくり
- 高齢者の見守り・支え合い
- 子育て支援
- 防災力の向上
- 障害者差別解消・障害理解の促進
- 子どもの居場所づくり

など

## Ⅱ　基本施策に関する事業

「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策を推進するための主な事業について、実施状況を掲載しています。

【基本施策の各分野における進捗状況】
基本施策に関する事業として「仙台市協働まちづくり推進プラン2021（計画期間：令和3年度～令和7年度）」に掲載している89事業のうち、59事業について計71個の目標を設定しています。各目標に対する進捗状況は以下のとおりです。




- 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項
- 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項
- 多様な主体による活動の促進に関する事項

| | ＜A＞<br>着実に進捗した | ＜B＞<br>概ね進捗した | ＜C＞<br>進捗が遅れている |
|---|---|---|---|
| 全体 ： 設定目標数71個 （59事業） | 47 （66.2%） | 22 （31.0%） | 2 （ 2.8%） |
| 分野1： 設定目標数19個 （18事業） | 16 （84.2%） | 3 （15.8%） | 0 （ 0.0%） |
| 分野2： 設定目標数10個 （ 8事業） | 5 （50.0%） | 4 （40.0%） | 1 （10.0%） |
| 分野3： 設定目標数42個 （33事業） | 26 （61.9%） | 15 （35.7%） | 1 （ 2.4%） |

# 基本施策に関する事業（令和3年度実績）

※特に記載のない場合は、令和4年3月31日時点の数値です。

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| **1　市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項** | | | | | |
| 専門家の派遣による助言や情報提供を行うとともに、各拠点施設においてオンラインも活用しながら各種事業を実施し、コロナ禍でも継続的な活動が行われるための環境整備を行いました。<br>また、事業的手法等により地域課題解決に資する取り組みを進めたほか、複数団体が連携して取り組むまちづくり活動への助成や、市民からの提案に基づく協働事業を通して、協働の取り組みを推進しました。<br>さらに、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、各種研修等を行い、多様な主体間の協働を推進するための人材育成に取り組みました。 | | | | | |
| （1）市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備 | | | | | |
| ① | 市民活動サポートセンターにおける市民活動支援 | 市民活動の拠点施設である市民活動サポートセンターにおいて、活動の場の提供や、市民活動や協働に関する情報収集・提供、相談対応などを継続的に行う。また、ウィズコロナを踏まえた新たな取り組みを支援するなど、社会情勢の変化に応じて、市民活動団体などに必要とされる情報提供や伴走支援を実施する。 | 市民の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、機関誌の発行や市民活動・協働に関する展示の実施、動画コンテンツなどを活用した情報提供を行ったほか、継続的な相談対応による伴走支援を実施し、協働によるまちづくりの推進を図った。<br><br>利用団体数：826団体<br><br>A　新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の利用制限を行った期間があったが、オンラインも積極的に活用しながら各種事業を実施することで、着実に進捗した。社会情勢に合わせた活動支援の方法を、引き続き検討し取り組んでいく。 | 利用団体数を毎年度720団体以上とする。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| ② | 地域協働サポートプログラム | まちづくり活動に関する専門的人材（コーディネーター）を派遣し、住民や多様な主体が行う地域課題解決の取り組みや、区役所・総合支所と地域が協働し進める事業への支援を行う。 | ２つの地域団体に対して、まちづくり活動に関する専門的人材（コーディネーター）を派遣し、それぞれの地域の実情に合わせた伴走支援を行った。<br><br>A　着実に進捗した。引き続き、本事業を通して、区役所・総合支所や地域などの多様な主体による地域課題解決に向けた協働の取り組みを支援していく。 | 毎年度1つ以上の地域に対して伴走支援を行う。 | 市民局<br>地域政策課<br>（市民協働推進課） |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ③ | 地域課題解決プロボノ活用 | 活動や組織運営上の課題を抱える地域団体や市民活動団体に、一定の専門性やスキル、経験等を持ち社会貢献活動に取り組みたいと考える市民（プロボノ）が関わり、協働で課題解決に取り組む仕組みをつくる。 | 地域で活動している２つの団体にプロボノが関わり、団体が抱える課題について両者が話し合いなどを重ねながら、協働で解決に向けて取り組んだ。<br><br>A　着実に進捗した。引き続き、地域団体や市民活動団体が抱える課題を協働によって解決につなげていく仕組みづくりに努めていく。 | 毎年度1つ以上の地域や団体を対象に実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| ④ | 男女共同参画推進センターにおける各種支援等 | 男女共同参画推進に取り組む市民の活動を支援するため、エル・パーク仙台の市民活動スペースおよびエル・ソーラ仙台の市民交流・図書資料スペースを運営するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台が協働で、「男女共同参画」をテーマとしたイベントを企画・実施する。 | 市民の自主的な活動の拠点として、活動・交流を促進するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台との協働により、男女共同参画推進せんだいフォーラムを開催した。<br><br>エル・パーク仙台利用者数<br>（市民活動スペース）：3,220人<br>エル・ソーラ仙台利用者数<br>（市民交流・図書資料スペース）：15,069人<br>フォーラム参加団体数：39団体<br><br>A　コロナ禍ではあるが、オンライン企画を導入するなどの工夫を施し、前年度を超える（フォーラム参加団体4団体増）参加となるなど着実に進捗した。引き続き、多くの団体が参加できるイベントを企画・実施していく。 | 毎年度男女共同参画推進フォーラムを開催し、令和7年度までの5年間における延べ参加団体数を180団体以上とする。 | 市民局<br>男女共同参画課 |
| ⑤ | ボランティアセンターにおける各種支援等 | 市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供や相談対応を行い、活動の機運醸成を図る。 | 地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。<br><br>ボランティア育成講座数：6講座<br>延べボランティア育成講座受講者数：215人<br>ボランティア登録団体数：586団体（新規登録87団体）<br><br>A　新規登録が87団体あり、着実に進捗した。登録団体数は、コロナ禍で活動を中止している団体が登録更新をしなかったため減少したが、登録未更新団体については解散したわけではなく、活動が再開すれば登録更新される見通し。コロナ禍における新たなボランティア活動を提案し、担い手の発掘・育成を進め、地域課題解決につながるよう、引き続き取り組んでいく。 | ボランティアセンターへの登録団体数を、令和7年度までに既存登録団体数754団体（令和2年12月1日時点）の20%増とする。 | 健康福祉局<br>社会課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | コロナ禍における文化芸術支援 | ①コロナ禍に対応した文化芸術未来プロジェクト助成事業<br>　地域の芸術家や市民団体、民間施設等から、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた文化芸術環境モデルとなる企画や事業を公募し、試行・推進するための助成を行う。 | 　地域の芸術家や民間施設等が実施する、以下の事業に対し経費の一部を助成した。<br><br>・文化芸術の力を活用して社会課題に向き合う、他分野の団体等との協働事業<br>・地域の文化芸術活動の基盤や拠点をつくる事業<br>・仙台を拠点とする先進的・独創的な文化芸術の創造・発信事業<br><br>　助成件数：23件 | 　コロナ禍における先進的な事業に対して助成を行う（15件程度）。 | 文化観光局<br>文化振興課 |
| | | | A：着実に進捗した。社会課題の多様化により、文化芸術活動の在り方が問われていること、ウィズコロナの時代に即した活動が求められていることを踏まえ、引き続き、社会課題の解決に寄与し、地域における文化芸術の創造力や発信力を高める取り組みを支援していく。 | | |
| | | ②安全・安心な文化活動のための協働・支援事業<br>　芸術家・文化芸術団体、舞台技術者、行政等の対話の場やネットワークを形成し、文化芸術活動の再興に向けた協働基盤づくりを推進する。また、文化活動に携わる市民団体が、コロナ禍においても活動を行えるように、専門家の助言などの支援の充実を図る。 | 　芸術家、市民文化団体、舞台芸術技術者等を対象に、コロナ禍に対応した専門的な知識や技術を提供するため、映像配信や映像撮影・編集・アニメーション作成のワークショップを開催した。また、舞台技術者を対象に、舞台づくりにおける感染対策の実例の最新情報などを共有するワークショップを開催した。 | ― | |
| | | | ―：予定通り取り組みを進めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、甚大な被害を受けた文化芸術活動の再興に向け、活動再開に取り組む文化芸術関係者の支援に引き続き取り組んでいく。 | | |
| | | ③多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業<br>　新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の縮小や停止を余儀なくされている地域の文化芸術関係者の活動継続を支援するため、動画配信など多様なメディアを活用して市民に文化芸術を届ける創造的な活動に対し助成を行う。 | 　市内の芸術家や民間施設等が行う、オンラインイベントや映像・冊子等の媒体を用いた発信を伴う活動、文化芸術に関するアーカイブ事業など、多様なメディアを工夫して用いた事業に対し、事業の経費の一部を助成した。<br><br>　助成件数：223件 | 　多様なメディアを活用した文化芸術活動に対して助成を行う（200件程度）。 | |
| | | | A：着実に進捗した。引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、活動する芸術家、芸術団体等による創造・発信事業を支援していく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑦ | まちづくり支援専門家派遣事業 | 市民が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりを行う団体に対し、本市に登録しているまちづくり専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。 | 地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。<br><br>派遣地区：8地区 | 令和3年度～7年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。 | 都市整備局<br>都市計画課 |
| | | | B：新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標地区数には達しなかったものの、目標に沿う水準で概ね進捗した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。 | | |
| ⑧ | 地域診断・課題発掘等支援 | 区役所・総合支所が地域と協働し、課題の発掘や整理等を行うにあたり、それぞれの実情や必要性に応じ、勉強会の開催や先進事例の視察を行うなど、機動的な取り組みを行う。 | 区役所・総合支所において、各地域の課題発掘等のための市民を対象とした講座の開催や、職員向けの研修への参加等を実施した。<br><br>・青葉区：出前まちづくりサポートセンター運営事業<br>・宮城総合支所：宮城地区西部活性化事業<br>・宮城野区：みやぎの地域づくり支援事業<br>・若林区：若林まちみがき推進事業等<br>・太白区：生出地区活性化支援事業等<br>・秋保総合支所：秋保地区交流人口拡大事業<br>・泉区：長命ケ丘地域のまちづくり活動支援 | ― | 各区<br>まちづくり推進課<br>宮城総合支所<br>地域活性化推進室<br>秋保総合支所<br>総務課<br>市民局<br>地域政策課 |
| | | | ―：令和3年度は事業開始年度であったが、さまざまな形で区役所・総合支所が地域に入って課題の発掘や整理を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも取り組みを進めた。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| （2）持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進 | | | | | |
| ① | コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進 | 社会起業家への個別集中支援プログラムを実施し、当該分野特有の起業知識の修得や起業実例に触れる機会を提供するほか、起業支援センター「アシ☆スタ」において、地域社会の課題解決を目指す起業に関する相談を受け付けるなど、市民活動サポートセンターとも連携し、起業の構想段階から開業後のフォローアップに至るまでの様々な支援を行う。 | 起業支援センター「アシ☆スタ」、起業支援施設「INTILAQ東北イノベーションセンター」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するトークイベントを実施したほか、市民活動サポートセンターと連携して「起業・創業なんでも相談DAY」を実施した。また、社会起業家個別集中支援プログラム「TOHOKU Social Innovation Accelerator」を実施し、13人の社会起業家を輩出した。<br><br>トークイベントの実施　　：9回（601人参加）<br>起業・創業なんでも相談DAY：12回（延べ390人参加） | 令和3年度～7年度に、社会起業家を毎年度10人以上輩出する。 | 経済局<br>産業振興課 |
| | | | A　着実に進捗した。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、オンラインでイベントを開催するなどし、さらなる相談機会の提供に取り組む。 | | |
| ② | ストック活用型都市再生推進事業（せんだいリノベーションまちづくり） | 都心のスモールエリアや地下鉄沿線のエリアなどで、低未利用地の不動産オーナーなどの協力を得ながら、民間による遊休不動産のリノベーション事業を推進することで、民間による新たなローカルコンテンツの創出を支援する。<br>また、上記エリアやその周辺エリアにおいて、事業者による公共空間でのにぎわいづくりに資する利活用事業が日常的に実施できるよう支援する。 | 過年度に実施したスクールの受講生等が主体となり、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み（イベントの開催）への支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により出来なかった。民間不動産対象物件では、せんだいリノベーションまちづくり実行委員会のメンバーが青葉通沿道に所有する民間ビルを複合施設「大町Blank」にリノベーションした。<br><br>セミナー等の開催数：0回<br>民間不動産対象物件数：1件<br>公共空間対象物件数　：0件 | 令和5年度までに、民間による遊休不動産のリノベーション事業を3件実施できるよう支援する。 | 都市整備局<br>都心まちづくり課<br>市街地整備課 |
| | | | B　公共空間利活用の推進に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント自体が開催されなかったが、遊休不動産のリノベーションに関しては1件の実績があり、目標に沿う水準で概ね進捗した。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ③ | まち再生・まち育て活動支援事業 | 地元住民や事業者などが中心となったエリアマネジメントの取り組みを継続的に実施できるよう、都市再生推進法人を目指すまちづくり団体の組織構築や体制強化を支援する。<br>また、様々な制度の活用も視野に入れながら、公共空間などにおけるにぎわいを創出するイベントの開催や、質の高い空間形成のための維持管理の活動を支援する。 | 地域のエリアマネジメント団体が主体的に行う、民有地や道路、公園などの公共空間を利活用した回遊性の向上、賑わいの創出に資する取り組みについて支援するとともに、道路占用許可のコロナ占用特例を活用した、歩道空間におけるテラス営業などの公共空間利活用の支援を行った。<br>また、滞在快適性等向上公園施設設置管理協定制度の活用に向け、都市再生整備計画の変更を行った。<br><br>仙台市都市再生まちづくり団体の認定：1件（仙台駅東まちづくり協議会）<br>支援プロジェクト件数：1件（エリアマネジメント1団体）<br>宮城野通社会実験の実施支援：1件（仙台駅東まちづくり協議会）<br>道路占用許可のテラス営業：2件（晩翠通・広瀬通） | 令和5年度までに、都市再生特別措置法に基づく都市再生推進法人を目指す「仙台市都市再生まちづくり団体」として、3件の認定を行う。 | 都市整備局<br>市街地整備課<br>地下鉄沿線まちづくり課<br>都心まちづくり課 |
| | | | A　仙台市都市再生まちづくり団体の認定実績が1件あり、目標達成に向けて着実に進捗した。 | | |
| ④ | まちなかウォーカブル推進事業 | 都心において、多様な人々の出会いや交流が生まれる人中心の都市空間へと転換していくため、居心地が良く巡り歩きたくなるようなウォーカブルなまちなか空間の形成を推進する。<br>道路や公園において、まちなかウォーカブルに関する改修や再構成を実施するとともに、人々の滞在環境を向上させる空間づくりに関するデザイン検討や社会実験などを実施する。<br>また、まちなかウォーカブル区域内の民間事業者による、公共空間と一体的に人々の滞在快適性を向上させる空間整備やイベントなどの事業の実施を支援するとともに、まちづくり活動に取り組む民間事業者などによる、道路や公園の占用特例制度の活用を推進する。 | 地域住民等が主体になって取り組む公共空間を活用した社会実験の実現に向けて支援した。<br><br>肴町公園における小規模拠点施設の整備：49日<br>宮城野通における多様なモビリティの走行：197日 | 令和5年度までに、民間による公共空間での社会実験の延べ実施日数を30日以上できるよう支援する。 | 都市整備局<br>都心まちづくり課 |
| | | | A　支援先の団体等による社会実験の実施日数は、目標値である30日以上を大幅に上回る実施日数になり、着実に進捗した。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| （3）市民からの提案に基づく協働事業の拡充 | | | | | |
| ① | クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進事業 | 複雑・多様化する行政・地域課題の解決に当たり、民間企業等が提案しやすい環境づくりや、近未来技術の実証実験に係る手続きの煩雑さ解消のため、連携窓口「クロス・センダイ・ラボ」により提案等を一元的に受け付け、実現に向けた各種調整を行うことで、課題解決による市民サービスの向上や実証実験の促進を図る。 | 令和3年度は、窓口で受け付けた案件から、連携事業7件、実証実験4件が実現した。また、新たに実証費用を仙台市が負担する「課題設定型実証公募」を令和4年3月から開始するとともに、本実証を経て開発された製品を随意契約できる制度を新設した。<br><br>―　着実に取り組みを進めた。引き続き、実施事例を積み重ねながら、民間企業等との連携を推進していく。 | ― | まちづくり政策局<br>プロジェクト推進課 |
| ② | 市民協働事業提案制度 | 市民活動団体や地域団体、企業等から地域の課題解決や魅力向上に資する事業の提案を募集し、提案団体と市の関係部局の協働により、多様な主体が持つ専門性を生かした事業を実施する。 | 地域の課題解決や魅力向上に資する事業を募集・採択し、市民活動団体や企業等の提案団体が持つ専門性を生かした事業を、本市の関係部局との協働により実施した。<br><br>実施事業件数：4件<br><br>A　着実に進捗した。引き続き、市民からの提案をもとに、多様な主体と本市が互いの力を出し合い、協働によって地域の課題解決などにつなげる事業を実施していく。 | 毎年度4件以上の協働事業を実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| ③ | ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度） | 若者にとって身近なまちづくりについて、若者団体から事業提案を募集し、市と協働で取り組むことにより、若者のアイデアを市の施策に取り入れ若者の発想を生かしたまちづくりを推進する。 | 若者団体から身近なまちづくりに取り組む事業の提案を募集し、本市と若者団体並びに事業提案から実施に至るまで若者団体の支援を行うサポート団体との協働により事業を実施した。<br><br>実施事業件数：2件<br><br>B　目標の3件には届かなかったが、概ね進捗した。令和4年度は、目標件数の達成に向けて、SNS活用も含め周知・広報にさらに努めながら、引き続き、若者の発想を生かしたまちづくりを推進していく。 | 毎年度3件の協働事業を実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ④ | 地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業 | 地域の実情やまちづくりの各段階に応じ、課題の現状分析・調査や、複数団体が連携・協働で行う取り組みなどに対して、必要な経費を助成する。<br><br>ⅰ課題調査検証助成<br>調査や課題整理等を行うための経費を助成する。<br><br>ⅱ協働実践助成<br>複数団体の協働による課題解決に資する取り組みに対して経費を助成する。<br><br>ⅲソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成<br>事業者と地域団体の協働により、民間事業の手法やノウハウを活用して行う地域課題解決の取り組みに対して経費を助成する。 | 社会や地域の課題解決に向けて、より効果的で実現性の高い取り組みにつなげるための現状分析・調査や、複数の団体が協働で課題解決に取り組むことで協働のネットワークづくりを図る事業に対して、必要な経費を助成した。<br><br>助成件数：7件<br><br>（内訳）<br>ⅰ課題調査検証助成<br>実施事業件数：5件<br>ⅱ協働実践助成<br>実施事業件数：2件<br>ⅲソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成<br>実施事業件数：0件 | 毎年度ⅰ～ⅲあわせて6件以上の助成を実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | A | 着実に進捗した。ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成については、応募が１件のみだったため、今後はさらなる周知広報に努め、多様な主体が連携・協働しながら課題解決に取り組むまちづくりを促進していく。 | | |
| （4）協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成 | | | | | |
| ① | ともにまちづくりを行う職員の育成 | ①地域づくり職員研修<br>地域づくりに携わる職員を対象に研修を実施し、担当職員の意識啓発やスキルアップを図る。 | 新任まちづくり担当職員研修参加者数：35人<br>地域づくり担当職員研修：59人<br>※全てeラーニング形式により実施 | ― | 市民局<br>地域政策課 |
| | | ― | 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各職員研修をeラーニング形式により実施するなどの工夫により、着実に取り組みを進めた。 | | |
| | | ②協働推進人材育成事業<br>市職員をNPO等に派遣し、実体験を通じて市民活動や協働に関する理解を深める研修（NPO留学）などを実施し、多様な主体と連携や調整を行う能力の向上を図る。 | 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の見直しにより、令和3年度はNPO等各種団体への職員派遣を中止し、次年度に向けた事業内容の検討を行った。 | ― | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | ― | 新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したが、引き続き、市民活動や協働の理解を深める研修なども行いながら、多様な主体間の連携を図り、協働によるまちづくりを担う職員の育成に努めていく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ② | 市民活動サポートセンターにおける協働推進人材育成 | 市民活動サポートセンターにおいて、より多くの市民に協働の理解を広げられるよう、協働事例や協働のノウハウを紹介する企画を実施するほか、活動段階に応じたテーマ別の講座の開催や協働の実践者との連携による伴走支援等を行う。 | より多くの市民に協働に対する理解促進を着実に広げ、市民活動やまちづくりの担い手となる人材を育成するために、動画配信による協働の基礎知識を伝える講座や、協働事例を紹介する企画を実施した。また、事業実施後のフォローアップとして参加者への聞き取りを実施し、関係機関とも連携しながら伴走支援を行った。<br><br>実施事業数：3事業 | 協働の理解促進や機会創出に資する事業を、毎年度2事業以上実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | | A | コロナ禍においても動画やオンラインを活用した事業を実施し、着実に進捗した。引き続き協働の理解促進や機会創出に取り組む。 | |
| ③ | コミュニティソーシャルワーカー配置事業 | 地域の実態把握、住民組織同士の連携のコーディネートや各関係機関との連絡調整などを通して、地域住民が地域の福祉課題に主体的・組織的に取り組むための体制づくりを支援する専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所に配置する。<br>CSWのスキルアップを図り、市内各地域における地域住民主体の支えあい・助けあい体制づくりのための支援を行う。 | 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所にCSWを配置し、市内各地における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を実施した。また、CSWのスキルアップのための研修会を開催した。<br><br>CSW実践者研修会開催数：3回 | CSWのスキルアップのための研修会を年3回以上開催する。 | 健康福祉局<br>社会課 |
| | | | A | 着実に進捗した。今後も地域住民主体の体制づくりを進められるよう、関係機関と連携して支援を行う。 | |
| ④ | 地域包括支援センター運営事業（機能強化事業） | 地域包括ケアシステムにおいて地域住民や関係機関とのネットワークづくりや地域資源の創出等に取り組む生活支援コーディネーターの資質向上を図り、地域の支えあい体制づくりを推進する。 | 地域の生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを推進するために、必要な知識・技能等の習得を目的とした研修等を実施した。<br><br>生活支援コーディネータ対象の研修：1回<br>生活支援コーディネーターの情報交換会：2回<br>（うち1回書面開催） | 生活支援コーディネーター向けの研修等を年2回以上開催する。 | 健康福祉局<br>地域包括ケア推進課 |
| | | | A | 着実に進捗した。生活支援コーディネーターの資質向上および地域の支え合いづくり推進に資するよう、引き続き研修等を開催していく。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑤ | 仙台すくすくサポート事業 | 育児の援助を受ける方（利用会員）と育児の援助を行う方（協力会員）が会員となって行う市民相互の育児援助活動であり、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を担うサブリーダーが中心となり、子育て負担の軽減や身近な地域の子育て支援の充実を図る。 | 日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。<br><br>登録会員数<br>利用会員：2,550人<br>協力会員：　438人<br>両方会員：　104人<br>計　3,092人<br>サブリーダー：9人<br>活動回数：7,898回 | ― | 子供未来局<br>総務課 |
| | | | ― 新型コロナウイルス感染症の影響により入会説明会や講習会を一部中止し、書面送付で対応した時期もあったが、感染症対策を講じながら各種講習会を再開し、概ね予定通り取り組みを進めた。 | | |
| ⑥ | 市民センターにおける地域づくり支援 | ①住民参画・問題解決型学習推進事業<br>各区中央市民センターのコーディネートのもと、住民と市民センターの協働により地域課題を発見し、その課題解決への取り組みを学び、実践する事業を実施する。<br><br>②子ども参画型社会創造支援事業<br>小学校中学年の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業を実施する。<br><br>③若者社会参画型学習推進事業<br>若者が地域づくり活動への参加やさまざまな人々との学び合いを通じて、身近な地域をより良くすることへの意識を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施する。 | 各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の事業を実施した。<br><br>講座数：88講座<br>受講者数：380人（新規：177人）<br><br>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。<br><br>講座数：23講座<br>受講者数：158人（新規：72人）<br><br>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。<br><br>講座数：19講座<br>受講者数：85人（新規：53人）<br><br>①から③の総計での新規参加者の割合：48.5% | 事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。 | 教育局<br>生涯学習支援センター |
| | | | A 着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| **2　政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項** | | | | | |
| 市政だよりや市ホームページに加え、LINEやYouTubeなど多様なメディアを活用して情報発信を行い、市政に関する情報公開を推進しました。<br>また、各種計画等策定過程におけるパブリックコメント等の実施により、多様な立場の市民意見の提出･集約の機会の確保に取り組みました。 | | | | | |
| （1）市政に関する情報の公開の推進 | | | | | |
| ① | 多様なメディアの活用による市政情報の発信 | 市民に対してタイムリーでわかりやすい市政情報を伝えるため、市政だよりや市ホームページのほか、FacebookやLINE、YouTubeなどのソーシャルメディアを活用した情報発信を行う。また、効果的な広報を行うため、職員を対象とした研修を実施する。 | 市政だよりや市ホームページ、SNSなど多様なメディアを活用した情報発信を行った。特に、LINEはほぼ毎日配信を行い、開設1年で友だち数3万人超となった。<br>また、効果的な広報を行うため、職員向けに、ホームページのCMS操作研修、ウェブアクセシビリティ研修、分かりやすい文章の書き方研修、初心者向け動画制作研修、動画制作相談会を実施した。<br><br>令和3年度ホームページ新規公開件数：4,668件（前年度：4,541件）<br>令和3年度ホームページ更新件数：27,110件（前年度：17,851件）<br>令和3年度上記合算件数：31,778件 | ホームページの新規公開数と更新数合算を毎年度23,000件以上とする。（参考：令和元年度実績 22,721件） | 総務局<br>広報課 |
| | | | A　ホームページ新規公開件数は前年比で増加するなど、目標を達成し、着実に進捗した。今後も、引き続き各種研修を実施し、効果的な広報を呼び掛けていく。 | | |
| ② | 公文書館整備 | 保存期間が経過した公文書から歴史資料として重要な公文書を選別・保存し、広く市民に公開するため、旧貝森小学校校舎を公文書館に改修するとともに、収蔵資料を検索するためのシステムを構築し、開館と同時に供用できるよう整備する。また、公文書館事業を周知啓発するため、展示企画の検討を行う。 | 令和3年7月、旧貝森小学校校舎の改修工事が竣工<br>令和3年4月より、収蔵資料の検索システムの構築を開始した（令和4年6月構築終了） | 令和3年度　旧貝森小学校校舎改修工事竣工、収蔵資料検索システム構築<br>令和4年度　開館 | 総務局<br>文書法制課 |
| | | | B　改修工事等の公文書館のハード面を整備する取り組みを進め、概ね進捗した。令和4年度に展示企画の検討を進めるとともに、令和5年度の開館に向け、展示企画の検討や蔵書整理作業を進めていく。 | | |
| ③ | オープンデータの利活用推進 | 「仙台市オープンデータ推進に関する方針」に基づき、各課が保有する行政情報のさらなるオープンデータ化を進める。また、オープンデータの利活用を推進するため、市ホームページ等を通じて普及・啓発を行っていく。 | 中心部商店街において人流データ調査を実施し、データ利活用方法について検討したほか、庁内におけるデータ利活用のニーズについてヒアリングを行った。宮城県と連携し、県内自治体共通でオープンデータを推進するための「宮城県オープンデータ作成マニュアル」を作成した。<br><br>仙台市オープンデータカタログ登録件数：265件<br>（対前年比＋38件） | － | まちづくり政策局<br>まちのデジタル推進課（デジタル戦略推進室） |
| | | | ―　オープンデータの利活用に関する取り組みを進めた。引き続き、庁内各課に声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進する。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ④ | 地域情報ファイルの活用推進 | 人口・地域団体・施設等の情報を小学校区単位で「地域情報ファイル」としてまとめ、市ホームページ等で公表することにより地域情報の提供を行う。 | 令和3年度は「地域情報ファイル」の人口データの更新を行い、市のホームページ等で公表した。<br>―　予定通り取り組みを進めた。今後も必要に応じて情報の更新を検討する。 | ― | 市民局<br>地域政策課 |
| （2）政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保 | | | | | |
| ① | 定禅寺通活性化推進事業 | 定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。「定禅寺通活性化検討会」（地元関係者を中心に構成）において、具体的な取り組みの検討を進める。 | 定禅寺通エリアの将来像、エリアの活性化やさらなる魅力向上につながる取り組みについて、定禅寺通活性化検討会における基本構想の取りまとめに向けた検討を推進した。<br>・会議の開催：13回<br>・空間活用の試行的な実践：6プロジェクト<br>・基本構想検討会：6回<br>・事例・制度活用勉強会：1回<br>・ニュースレターの発行：4回<br>―　予定通り取り組みを進めた。今後も、定禅寺通活性化検討会で取りまとめられた基本構想をふまえるとともに、市民意見を聴取しながら、事業の遂行に努める。 | ― | まちづくり政策局<br>定禅寺通活性化室 |
| ② | 市役所本庁舎建替事業 | 市役所本庁舎の建替に伴い、市民広場との一体的利活用に向け、新庁舎低層部の事業可能性調査を実施するとともに、新本庁舎低層部検討の進捗に合わせ、公開型のシンポジウムを開催するほか、本体設計・施工の進捗に合わせ、市民向け説明会を開催する。 | 新本庁舎低層部と市民広場等との一体的な魅力とにぎわいに貢献する空間づくりについて検討するため、「仙台市役所新本庁舎低層部等公民連携検討会」を全4回開催した。<br>また、仙台市本庁舎建替基本設計書（中間案）および仙台市役所新本庁舎低層部等公民連携検討会の検討状況について、市民に広く周知するために説明会を2日間にわたり開催した。<br>・市民説明会参加者（2日間合計）　102人<br>・ライブ配信視聴者（2日間合計）　163人<br>―　予定通り取り組みを進めた。新型コロナウイルス感染症に関する情勢を注視しながら、今後も柔軟な事業の遂行に努める。 | ― | 財政局<br>本庁舎整備室<br>（本庁舎建替準備室） |
| ③ | パブリックコメントの実施 | 基本的な計画等の策定過程において、広く市民から意見を求め、提出された意見に対する市の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して適切に計画等に反映させていく。 | パブリックコメント実施件数：15件<br>（1件当たりの平均意見数：29件）<br>―　着実に取り組みを進めた。今後も広く意見を聴取するため、効果的かつわかりやすい周知方法の工夫に努める。 | ― | 市民局<br>広聴課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ④ | 市政モニターによる意見募集 | 市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎資料として活用する。 | 市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。<br><br>市政モニター委嘱：200人<br>アンケート調査の実施：8回<br>平均回答率：94.8% | モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。 | 市民局<br>広聴課 |
| | | | A　着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。 | | |
| ⑤ | 市民の声制度 | 市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。 | 市長への手紙　：　910件<br>インターネット広聴等　：3,885件<br>要望・陳情書　：1,147件<br>電話・来庁（市政相談）：1,304件<br>（一般相談）：2,567件 | ― | 市民局<br>広聴課 |
| | | | ―　着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。 | | |
| ⑥ | 障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 | 施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。<br><br>①「ココロン・カフェ」、「ココロン・スクール」の実施<br>障害の有無に関わらず暮らしやすい共生社会を目指して、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」では、障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、学生向けワークショップ「ココロン・スクール」では、中高生を対象として、グループワーク等の形式で意見交換を行う。 | 障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・スクール」を、中学生から高校生を対象に障害当事者の講師を招いて実施した。<br><br>実施回数：　3回<br>参加者数：544人 | ココロン・スクールを毎年度6回実施する。 | 健康福祉局<br>障害企画課 |
| | | | B　新型コロナウイルス感染症の影響により、グループワークを開催することが困難であったことから、ココロン・カフェの開催は見送ったが、概ね進捗した。今後も、若年層に対する普及啓発や障害理解促進、意見交換等の機会確保のため、本事業の開催を各学校に一層働きかけていく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［前ページ続き］<br>障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 | ②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進<br>「仙台市職員対応要領」について、研修や庁内広報を通じた周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。 | 障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。<br><br>新規採用職員研修<br>受講者数：313人<br>書面研修※管理職・窓口等職員を含む全職員対象<br>受講者数：8,338人 | 毎年度、新規採用職員研修、管理職向け研修、窓口等職員向け研修を実施する。 | |
| | | A | 着実に進捗した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容を変更した研修もあったが、書面開催などによる工夫により、全体の受講人数は大幅に増加した。今後も書面開催やeラーニングの活用を検討しつつ、継続的な研修により庁内への障害者差別解消の理解を推進していく。 | | |
| ⑦ | 音楽ホール整備検討における市民との対話 | 楽都としての魅力をさらに高める中核施設としてふさわしい音楽ホールの整備に向け、検討を進める。また、音楽ホールを身近に感じてもらうため、市民向けシンポジウム等を開催し、整備に向けた機運醸成を行う。 | 青葉山交流広場に中心部震災メモリアル拠点との複合施設として整備する方針を表明した。<br>市民向けシンポジウム等の開催については、今後の基本構想等の策定過程で行うこととし、令和3年度は開催しなかった。 | ― | 文化観光局<br>文化振興課 |
| | | ― | 着実に検討を進め、立地場所と整備方針の表明に至った。今後は基本構想の策定に着手し、シンポジウム等の市民の意見を聴取する機会を設けていく。 | | |
| ⑧ | 青葉山公園整備事業における仙臺緑彩館の利活用に関するワークショップの実施 | 公園センター地区の利活用について、青葉山地区をフィールドに活動する団体等にご協力いただきながら、何度も訪れたくなる場所にするためのプランづくりを目的に、ワークショップを開催する。 | 新型コロナ感染症の影響により、ワークショップの開催は見送ったが、施設内に設置する青葉山周辺情報の展示設備を検討するにあたり、青葉山地区をフィールドに活動する団体と意見交換を実施した。 | 市民参加のワークショップを、年3回以上開催する。 | 建設局<br>公園整備課<br>（公園課） |
| | | B | 新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップの開催は見送ったが、市民活動団体との意見交換を実施した。今後は、令和4年度に決定する指定管理者とともに、青葉山周辺で活動する団体等とのワークショップの開催を検討していく。 | | |
| （3） 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保 | | | | | |
| ① | 仙台市市民意識調査 | 基本計画に掲げるまちづくりの理念のもと、目指す都市の姿の実現に向けて、施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握するために、市民意識調査を実施し、その結果を施策の進捗管理に生かすことにより、本市の施策の推進を図る。 | 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施を見送った。 | ― | まちづくり政策局<br>政策企画課 |
| | | ― | 新型コロナウイルス感染症等の影響により、進捗が遅れた。令和3年度からの新たな実施計画に対する評価を把握するため、令和4年度に実施する。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ② | 市民まちづくりフォーラム | 現在取り組んでいる施策について市民参画による評価・点検を行うため、重点的な取り組みの中からテーマを設定し、今後の施策に向けた意見・提案をいただく。 | 総合計画の策定初年度のため、本市事業の評価・点検に特化したイベントとしては実施していないが、仙台市基本計画の「チャレンジプロジェクト」に関連する市民参画イベントを実施し、「私たちがチャレンジできること」について話し合う場を設けた。<br><br>市民参画イベントの参加者数：約20人（WEB開催）<br><br>— 概ね予定通り取り組みを進めた。令和3年度からの新たな実施計画における事業の評価・点検を実施するため、令和4年度に市民まちづくりフォーラムを実施する。 | — | まちづくり政策局<br>政策企画課 |
| ③ | 市政モニターによる意見募集<br>【再掲】 | 市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎資料として活用する。 | 市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。<br><br>市政モニター委嘱：200人<br>アンケート調査の実施：8回<br>平均回答率：94.8%<br><br>A 着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。 | モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。 | 市民局<br>広聴課 |
| ④ | 市民の声制度<br>【再掲】 | 市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。 | 市長への手紙　：　910件<br>インターネット広聴等　：3,885件<br>要望・陳情書　：1,147件<br>電話・来庁（市政相談）：1,304件<br>（一般相談）：2,567件<br><br>— 着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。 | — | 市民局<br>広聴課 |
| ⑤ | 市民との対話の機会の確保 | 市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場として、市長と市民との懇談会（市長とふれあいトーク）、地域懇談会、市政出前講座などを実施する。 | 市長とふれあいトーク：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。<br>地域懇談会　：30回<br>市政出前講座：71回<br><br>— 新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数は減少したが、着実に取り組みを進めた。今後も多様な団体との懇談を通して、直接市民と対話・交流する機会を確保することで、活動の現状や課題を認識し、市政運営への反映に努めていく。 | — | 市民局<br>広聴課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | 障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進<br>【再掲】 | 施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。<br><br>①「ココロン・カフェ」、「ココロン・スクール」の実施<br>障害の有無に関わらず暮らしやすい共生社会を目指して、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」では、障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、学生向けワークショップ「ココロン・スクール」では、中高生を対象として、グループワーク等の形式で意見交換を行う。 | 障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・スクール」を、中学生から高校生を対象に障害当事者の講師を招いて実施した。<br><br>実施回数：　3回<br>参加者数：544人 | ココロン・スクールを毎年度6回実施する。 | 健康福祉局<br>障害企画課 |
| | | | B　新型コロナウイルス感染症の影響により、グループワークを開催することが困難であったことから、ココロン・カフェの開催は見送ったが、概ね進捗した。今後も、若年層に対する普及啓発や障害理解促進、意見交換等の機会確保のため、本事業の開催を各学校に一層働きかけていく。 | | |
| | | ②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進<br>「仙台市職員対応要領」について、研修や庁内広報を通じた周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。 | 障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。<br><br>新規採用職員研修<br>受講者数：313人<br>書面研修※管理職・窓口等職員を含む全職員対象<br>受講者数：8, 338人 | 毎年度、新規採用職員研修、管理職向け研修、窓口等職員向け研修を実施する。 | |
| | | | A　着実に進捗した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容を変更した研修もあったが、書面開催などによる工夫により、全体の受講人数は大幅に増加した。今後も書面開催やeラーニングの活用を検討しつつ、継続的な研修により庁内への障害者差別解消の理解を推進していく。 | | |
| （4）　附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施 | | | | | |
| ① | 附属機関等の委員の選任における人材の多様化 | 附属機関等の役割や性格に応じて適切な人材を確保し、幅広い意見の反映を図るため、情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努める。 | 情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努めた。 | ― | 総務局<br>行政経営課 |
| | | | ―　事業内容通り取り組んでおり、今後も長期および重複委嘱を避ける取り組みを継続する。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ② | 附属機関等の委員の公募の推進 | 附属機関等の役割や性格に応じて委員を公募することにより、公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図る。 | 公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図った。<br><br>公募委員のいる附属機関等の数：12機関 | ― | 総務局<br>行政経営課 |
| | | | ― 事業内容通り取り組んでおり、今後も引き続き公募委員のいる附属機関等の増加に努める。 | | |
| ③ | 附属機関等における女性委員の登用率の向上 | 市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策形成、意思決定の場における女性の参画を促進する。 | 審議会等の委員選考にあたっては、男女共同参画課へ事前協議を行うことを徹底し、女性の積極的な登用促進に努めた。<br><br>令和3年度末女性委員登用率：35.2%<br>女性委員の全くいない審議会（ゼロ審議会）数：2件 | 全ての附属機関等に女性委員が就任している状態にする。また、令和5年度末までに、女性委員の割合を40%以上とし、さらに向上を図る。 | 市民局<br>男女共同参画課 |
| | | | C ゼロ審議会は前年度から1件増の2件となり、また、登用率についても0.8ポイント低下し、進捗が遅れた。引き続き、事前協議の徹底と指導に努め、女性の積極的な登用促進を行っていく。 | | |

## 3 多様な主体による活動の促進に関する事項

「仙台まちづくり若者ラボ」など若者の社会参加を促進する事業や、大学等と連携した地域づくり事業を実施することで、次の世代のまちづくりの担い手の育成を推進するとともに、区民協働まちづくり事業などを通して、町内会をはじめとした地域で活動する団体による地域活性化のための活動の促進を図りました。
また、事業者による社会貢献活動を促進するための事業を実施するとともに、各種イベントを通して、多様な主体の交流促進を図りました。さらに、協働の事例や支援制度等を総合的に案内する協働ナビゲーションサイトでの積極的な情報発信など、多様な主体の活動等に関する情報の収集･発信に取り組みました。

### （1）次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 若者が活躍するまちづくり事業 | ①ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）【再掲】<br>若者にとって身近なまちづくりについて、若者団体から事業提案を募集し、市と協働で取り組むことにより、若者のアイデアを市の施策に取り入れ若者の発想を生かしたまちづくりを推進する。 | 若者団体から身近なまちづくりに取り組む事業の提案を募集し、本市と若者団体並びに事業提案から実施に至るまで若者団体の支援を行うサポート団体との協働により事業を実施した。 | 毎年度3件の協働事業を実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | | B 目標の3件には届かなかったが、概ね進捗した。令和4年度は、目標件数の達成に向けて、SNS活用も含め周知・広報にさらに努めながら、引き続き、若者の発想を生かしたまちづくりを推進していく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［前ページ続き］<br>若者が活躍するまちづくり事業 | ②仙台まちづくり若者ラボ<br>　若者が「自分ごと」として参加する実践的プログラムを実施し、若者のアイデアを地域の課題解決や活性化に生かすとともに、主体的に動く若者や将来のまちづくりの担い手の発掘・育成を目指す。 | 　まちづくりに興味のある若者を募集し、参加者自らが設定する「自分ごと」として関われるまちづくりのテーマに沿って、ワークショップやフィールドワークを重ねてまちづくりへの関わり方を探求するとともに、その成果を発信・共有する実践的なプログラムを実施した。<br><br>　参加者数：33人 | 　参加者数を毎年度30人以上とする。 | |
| | | | A：着実に進捗した。引き続き、本事業を通して、まちづくりに対する若者の関心をさらに喚起し、まちづくりに主体的に取り組む若者の発掘・育成に取り組んでいく。 | | |
| | | ③仙台若者アワード<br>　若者団体の社会貢献活動を表彰するとともに、若者と企業などの多様な主体との連携によるSDGs達成への取り組みを促すなど、若者の社会参加の促進を図る。 | 　企業及び若者の育成事業等を行う団体と実行委員会を組織し、社会・地域の課題解決やSDGsの達成に寄与する活動を行う若者団体を表彰するとともに、若者団体と地元企業との協働を生み出し、その活動を伴走支援する取り組みを実施した。 | ― | |
| | | | ―：着実に取り組みを進めた。引き続き、若者の社会参画の促進に向けて、本事業の周知・広報に力を入れて取り組み、若者のモチベーションを高め、活躍を後押ししていく。 | | |
| ② | 市民活動サポートセンターにおける若者の育成支援 | 　市民活動サポートセンターにおいて、若者団体の拠点として活動の場を提供するほか、関係各機関と連携し、若者の地域づくり活動への参画支援を行う。<br>　また、現に市民活動サポートセンターを利用している若者だけではなく、より多くの若者の市民活動や協働に関する理解を深め、自発的・主体的な行動につなげられるよう、若者への訴求性が見込まれる動画コンテンツを活用した情報発信を重点的に行うなど、効果的な取り組みを進める。 | 　若者を対象とした人材育成事業を関係機関と連携しながら実施したほか、学生団体等の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供した。<br>　また、若者の市民活動や協働に関する理解を深めるため、動画コンテンツを活用した情報発信に取り組んだ。<br><br>　関係機関と連携した実施事業：3事業 | 　若者の人材育成に資する事業を、関係機関等とも連携しながら、毎年度2事業以上実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | | A：着実に進捗した。引き続き、関係機関と連携しながら、若者の地域づくり活動への参画を推進するための事業を実施していく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ③ | 学生の参加による地域づくり推進事業 | 大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげる。<br>また、大学や専門学校への働きかけを継続し、様々な機会を捉えて若者や関係団体との接点を多く持つことにより、地域のニーズに応じたマッチングを行えるようネットワークを拡げる。 | 地域での活動を希望する学生団体等と地域団体とをマッチングし、学生団体の地域のイベントへの参加を促した。<br><br>マッチング実績：1件<br>学生団体登録数：7団体（3団体増加）<br><br>B：新型コロナウイルス感染症の影響により、地域団体のイベント等が減少し、マッチング数が伸びなかったものの、学生団体登録数は増加しており、概ね進捗した。今後も広報により力を入れることで、引き続きマッチング数の増加と併せて学生団体の登録数の増加に努める。 | 青葉区における学生団体と地域活動の延べマッチング数を、令和5年度までに5件とする。 | 青葉区<br>まちづくり推進課 |
| ④ | みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業 | 宮城野区において、地域を担う次世代の育成を図るため、若い世代を対象に、実際にまちづくり活動を行っている団体によるセミナーやワークショップを開催し、まちづくりの知識やノウハウの蓄積を図るとともに、地域の若手同士の交流の機会を創出し、ネットワークづくりを促進する。 | セミナー・ワークショップを3回開催したほか、年度末にチームごとの発表会を実施。新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催となることが多かったが、当初の予定通りの回数を実施できた。<br>※2年1クール（令和3～4年度）の受講としており、受講後（令和5年度）に地域活動の実践を想定。<br><br>B：目標に沿う水準で概ね進捗した。集まっての開催が1回のみであったため、メンバー間の関係性が薄い状態にあることから、今後は、チーム課題の設定とともに、オンラインでのサポート体制の充実を図るなど、セミナー開催間でのコミュニケーションを活性化させるための工夫を行う。 | みやぎの・まちづくり若手人材育成セミナー受講生が取り組む地域活動を令和5年度までに2件実施する。 | 宮城野区<br>まちづくり推進課 |
| ⑤ | わかばやし地学連携推進事業 | 東北学院大学の新キャンパス開設（令和5年4月）に向けて、大学と地域間の意見交換を進めることにより、区を含めた三者の協働関係構築を図る。 | 東北学院大学より講師を迎えて、区役所職員向けに地域づくりに関する講演会を実施した。また東北学院大学が実施した「仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業（課題調査検証助成）」における「荒町・連坊地区における地域づくりの声のデータ集」作成に向けたアンケート調査や先進地視察について、大学と連携して取り組んだ。<br><br>・大学と若林区の連携事業:2件<br>・若林区における学生と地域が協働で取り組む地域活動：0件<br><br>A：着実に取り組みを進めた。東北学院大学が実施した「仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業（課題調査検証助成）」での調査結果を活用し、令和4年度に大学及び地域との連携モデル事業を行う予定である。 | 令和5年度までに、大学と若林区の連携事業を4件、若林区における学生と地域が協働で取り組む地域活動を2件実施する。 | 若林区<br>まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | たいはく若者まちづくりフォーラム事業 | 次世代のまちづくりの担い手となる人材の育成を図り、地域のまちづくり活動を推進するため、地域と大学研究室とのマッチングによる活動支援や、東北工業大学と共同で学生を対象にまちづくりをテーマとした講座を実施する。 | 若い世代のまちづくり活動への関心の高揚とまちづくりの担い手となる人材の育成を図るため、まちづくりに参加・実践する機会の創出や、活動支援を行った。<br>≪大学と地域のマッチング事業≫<br>◆生出地区との連携（平成28年度～）<br>・空き家・古民家の改修や、地図作りのワークショップなどを地域の方々と協力しながら実施した。<br>・まちづくりに取り組む地域と大学（研究室）とのマッチングにより学生が当該地域で行うまちづくり活動を支援するための助成金を交付した。<br>≪共同講座≫<br>大学の1・2年生を中心に共同講座を実施。まちづくりに関する講義（市職員やまちづくりの関係者が講師）やまち歩きを通じて地域の課題解決に向けた検討を行った。 | マッチングした地域と大学の支援および東北工業大学との共同講座を毎年度実施する。 | 太白区<br>まちづくり推進課 |
| | | | A：着実に進捗した。令和4年度で支援を終了する生出地区に加えて、新たに長町地区と連携協定を締結し、大学・地域との連携事業支援を行う予定である。 | | |
| ⑦ | 大学連携地域づくり事業 | 6大学、泉区まちづくり推進協議会および泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、地域と大学が連携し、地域課題の解決や活力ある地域づくりを進める。<br><br>①いずみ絆プロジェクト支援事業<br>地元6大学の学生等が行う地域課題解決や地域活性化事業、特色ある地域づくり活動に要する経費を助成する。 | 助成金交付事業数：14事業（6大学） | 6大学がそれぞれ1事業以上実施する。 | 泉区<br>まちづくり推進課 |
| | | | A：着実に進捗した。引き続き、学生による様々な地域づくり活動が展開されるよう支援を行っていく。 | | |
| | | ②泉6大学まちづくりフェスティバルの開催<br>いずみ絆プロジェクトに取り組む団体等による活動発表などを行い、事業の成果を広く市民に周知する。 | いずみ絆プロジェクト支援事業の助成対象団体の活動内容に関する報告会を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、1週間の期間展示とし、発表動画の放映等新たな手法で実施した。<br>実施回数：1回（1週間の期間を設けて開催）<br>参加団体：15団体<br>（上記助成対象団体14、泉区中央市民センター1） | 6大学の発表の場として毎年1回以上開催する。 | |
| | | | A：着実に進捗した。今後も、多くの市民が行き交う泉中央駅ビルでの期間展示による開催形式にて、学生のみならず一般市民へ事業の成果をPRしていく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［前ページ続き］<br>大学連携地域づくり事業 | ③大学間の交流促進事業<br>地域づくり活動を行う学生団体同士の交流事業を実施することにより、団体間のネットワークを広げ、互いの活動を高めあう関係づくりを促進する。 | 泉6大学の学生が泉西部地区の体験型観光施設等を取材し、情報発信を行った。当該取材活動の実施及びその準備として5回の交流会を開催した。<br><br>実施回数：5回<br><br>A　着実に進捗した。引き続き、泉6大学の学生による体験取材を行い、泉西部地区の魅力の発信を進めていく。 | 団体間の交流促進事業における交流会を年3回以上開催する。 | |
| ⑧ | 市民センターにおける若者の支援 | ①若者社会参画型学習推進事業【再掲】<br>若者が地域づくり活動への参加やさまざまな人々との学び合いを通じて、身近な地域をより良くすることへの意識を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施する。<br><br>②子ども参画型社会創造支援事業【再掲】<br>小学校中学年の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業を実施する。<br><br>③ジュニアリーダー育成支援<br>ジュニアリーダーの活動に必要な知識、技術の習得を目的とした各種研修会の開催や、さまざまな社会的な活動への参加支援など、中高生のボランティア団体であるジュニアリーダーへの育成・支援を行う。 | 各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。<br><br>講座数：19講座<br>受講者数：85人（新規：53人）<br><br>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。<br><br>講座数：23講座<br>受講者数：158人（新規：72人）<br><br>各区中央市民センターにおいて初級研修会を、生涯学習支援センターにおいて中級・上級の各研修会を実施した。<br>初級研修会受講者：98人<br>中級研修会受講者：37人<br>上級研修会受講者：22人<br><br>ジュニアリーダー登録者数：351人<br>（新規登録者数：103人）<br><br>①から③の総計での新規参加者の割合：38.4%<br>ジュニアリーダー活動率：74.0%<br><br>B　新型コロナウイルス感染症の影響で活動機会は減少したものの、概ね進捗した。今後も社会や地域で活躍できる人材の育成に取り組む。 | 事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上、ジュニアリーダー育成支援に関しては、活動率を75%以上とする。 | 教育局<br>生涯学習支援センター |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| （2）町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進 | | | | | |
| ① | 地域防災リーダー養成・支援事業 | 地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダー（SBL）の養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開する。 | 11月にSBL新規養成講習会を実施し、各区の連合町内会長協議会からの推薦及び一般公募による受講者111人を新たに認定した。<br>また、活動継続中のSBLを対象としたバックアップ講習会を開催し、自主防災活動の活性化に向けたSBL相互の情報共有やスキルアップ等を図った。<br><br>◆令和3年度新規認定者数　111人（累計1,001人）<br>◆令和4年3月末現在のSBL数　774人<br>◆令和3年度SBL全市バックアップ講習会参加者数　288人<br>◆令和3年度SBL各区バックアップ講習会参加者数　311人 | 毎年度新規養成を行い、600人程度を維持していく。 | 危機管理局<br>減災推進課 |
| | | | A　目標数を維持し、着実に進捗した。今後は女性や若い世代の積極的な養成、またSBL配置数の地域間バランスに配慮した養成に取り組む。 | | |
| ② | 町内会等住民自治組織・体力強化 | ①町内会等住民自治組織育成事業<br>町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施する。<br><br>②地域コミュニティ体力強化事業<br>町内会加入や活動への参加を促進するため、加入率の低いマンション等居住者や、活動の担い手として期待される定年退職者をはじめ、幅広い市民を対象として町内会活動に関する啓発を行うとともに、町内会の担い手の発掘・育成と円滑な組織運営を支援するため、町内会役員等に対する講座などを開催する。 | ①町内会運営経費の一部援助を目的とした町内会等育成奨励金等の財政的支援を実施した。また、町内会役員等を永年勤めた市民に対し表彰を行う、町内会役員永年勤続表彰式を実施した。<br>なお、各区において町内会長を対象とした研修会を実施した（一部は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）。<br><br>②マンション建築主や不動産会社・管理会社等に向けて、町内会加入に関するチラシを配布した。また、市と包括連携協定を締結している企業を中心に、町内会活動等の情報を掲載した退職者向けのリーフレットの配布協力依頼を行った。<br>また、町内会役員を対象とした町内会活性化講座について、基礎編を計5回開催し（延べ受講者数：160人）、町内会の具体的な課題等について分析を行う相談会を計3回実施した（参加者数：14人）。開催予定であったテーマ編については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、中止とした。<br>なお、令和3年度の地域活動団体交流会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施を見合わせた。 | ― | 市民局<br>地域政策課 |
| | | | ―　新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の実施を見合わせたが、事業の趣旨を踏まえ、活動事例の紹介等により、地域活動団体間の情報共有の機会の確保に向けた取り組みを進めた。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ③ | 町内会相談窓口機能強化 | 地域コミュニティの中核を担う町内会を対象に、テーマ別に専門家等による相談会やフォローアップを実施するとともに、お問い合わせが多い質問をまとめたFAQ（質問・回答集）を作成し、活動の支援を図る。 | 令和3年度に実施予定の事業であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に実施する（予算付替）。<br>なお、代替事業として町内会活性化講座にて相談会を実施した。 | ― | 市民局<br>地域政策課 |
| | | | ― | 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施を見合わせたが、事業の趣旨を踏まえ、代替の手法により取り組みを進めた。 | |
| ④ | 地域団体連携促進 | 市民センターにおいて、地域づくりに係る団体間のネットワーク形成等を図る事業や取り組みを実施することにより、地域主体で地域課題を解決するための基盤形成を行う。 | 地域づくりにおける担い手育成やコミュニティ形成等をテーマとし、地域課題の発掘と解決を図るためのネットワーク構築支援事業として、令和3年度は19地区において取り組みを実施した。 | ― | 市民局<br>地域政策課<br>各区<br>中央市民センター |
| | | | ― | 予定通り取り組みを進めた。今後も身近な地域の拠点である市民センターのコーディネート機能を活かし、地域の連携強化等に資する事業の展開を図る。 | |
| ⑤ | 地域安全対策事業 | ①仙台市防犯団体に対する補助金交付事業<br>犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。 | 補助金交付件数：80件 | ― | 市民局<br>市民生活課 |
| | | | ― | 予定通り取り組みを進めた。引き続き、地域の防犯活動を支援するため、同様の取り組みを行っていく。 | |
| | | ②仙台市地域安全安心まちづくり事業<br>地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。 | 安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。<br><br>補助金交付件数：11件 | 補助金の交付件数を、毎年度、新規、継続を含め15団体以上とする。 | |
| | | | B | 目標には届かなかったが、概ね進捗した。今後も地域において自主的な防犯活動を行う団体に対し、制度の周知を図る。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | 交通安全事業 | ①地域等と取り組む交通安全運動の実施<br>区役所・総合支所の担当部署において、町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、交通ルールと正しい交通マナーの実践に向けて地域での交通安全啓発活動を実施する。<br><br>②仙台市交通安全指導団体への支援<br>地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。<br>また、各区等において各地区等交通安全協会の活動に対し補助金を交付する。<br><br>③PTAによる交通安全誘導活動への支援<br>市内小学校の通学路等における交通安全誘導活動および啓発活動に使用するブルゾンやベスト等の用品を提供する。 | 町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、春と秋の交通安全運動をはじめとした各種街頭キャンペーンや定期的な交通指導、学校等において交通安全教室を実施した。<br><br>仙台市交通安全母の会連合会の事務局として連合会の運営を支援した。また、仙台市交通安全母の会連合会および各地区交通安全協会等の活動に対し補助金を交付した。<br><br>補助金交付件数：9件<br><br>仙台市PTA協議会を通じ、市内小学校103校にブルゾンやベスト等の用品を提供した。<br><br>本市の年間交通事故死亡者数：5人 | ― | 市民局<br>自転車交通安全課 |
| | | | ― | 着実に取り組みを進めた。「第11次仙台市交通安全計画」における本市の年間交通事故死亡者数の目標値（10人以下）となるよう、関係機関・団体との協働による交通安全運動を積極的に推進する。 | |
| ⑦ | 小地域福祉ネットワーク活動推進事業 | 地域における支えあい・助けあい活動を推進するため、地区社会福祉協議会を主体に、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体の連携により実施される地域福祉活動の費用の一部を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。<br>また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催する。 | 市内104の地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動に係る費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成した。また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催した。<br><br>助成件数：104件<br>地域福祉活動従事者研修会開催数：5回<br>→実施地区：青葉区・宮城支部・若林区・太白区・泉区<br>→未実施地区：宮城野区（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる） | 地域福祉活動従事者への研修会を各区・支部事務所において年1回以上開催する。 | 健康福祉局<br>社会課 |
| | | | B | 新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止したが、概ね進捗した。今後とも市全体の福祉力を向上させるために、関係機関と連携して支援を進めていく。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑧ | 老人クラブ活動への支援 | 助成金の交付や研修等を通して、老人クラブ活動等の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、地域での支えあい活動の充実を図る。 | 老人クラブに対し、地域社会福祉活動に関する助成金を交付し、花壇の花植えや町内清掃などの環境美化活動や高齢者見回り等の友愛活動を実施した。<br><br>地域社会福祉活動を行う老人クラブの割合：66.3%<br><br>A　着実に進捗した。引き続き各老人クラブによる環境美化活動や友愛活動を通し、地域活性化につなげていくため、老人クラブ活動を支援していく。 | 毎年度各区で研修を実施することにより、地域社会福祉活動を行う老人クラブ数の割合を令和7年度までに50%以上に増加させる。 | 健康福祉局<br>高齢企画課 |
| ⑨ | 地域での子育て支援団体に対する活動支援 | 育児サークルや子育てサロン、託児ボランティアなどの地域における子育て支援活動の活性化を図るとともに、地域でのネットワーク活動を推進し、研修や交流会を開催するほか、子育て支援活動団体の登録による広報等の支援を行う。 | 育児サークルや子育てサロン、託児ボランティア等さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。<br><br>登録団体数：124団体<br>育児サークル、子育てサロン：　92団体<br>託児ボランティア　　：　2団体<br>さまざまな子育て支援団体　：　30団体<br><br>B　新型コロナウイルス感染症の影響により、活動継続が困難となった団体があり、登録団体数は減少しているが、概ね進捗した。地域における子育て支援活動をさらに活性化させるため、広報等の支援を行っていく。 | 毎年度の登録団体数140団体程度を維持していく。 | 子供未来局<br>総務課 |
| ⑩ | 子どもの居場所づくり支援事業 | 食事の提供や学習支援などを通じて、子どもが安心して過ごせる居場所を提供する「子ども食堂」の運営団体に対して、開設・運営費の助成を行うとともに、ネットワーク会議の開催により運営ノウハウの共有などの支援を行う。 | 子ども食堂運営団体への助成事業も4年目を迎え、制度の周知が進んできた。運営費の助成を継続するとともに、ネットワーク会議の開催により団体間の情報共有などの支援を行った。助成団体数は平成30年度25団体、令和元年度34団体、令和2年度は37団体、令和3年度39団体に増加してきている。<br><br>―　新型コロナウイルス感染症の影響により会食での開催が難しい場合には配食や宅食を認め、子どもの居場所づくり支援を進めることができた。令和4年度が最終年度のため、各団体への支援を進めつつ、令和5年度以降の支援のあり方について検討を行う。 | ― | 子供未来局<br>子供支援給付課（子供家庭支援課） |
| ⑪ | 地域子育て支援クラブ等各種団体への支援事業 | 児童福祉の推進と青少年の健全な育成を図るため、地域子育て支援クラブや青少年健全育成団体等へ助成金を交付する。 | 助成金交付団体数<br>地域子育て支援クラブおよび同協議会：82団体<br>青少年健全育成団体：9団体<br><br>―　新型コロナウイルス感染症の影響により活動を一部中止した時期もあったが、感染症対策を講じながら再開し、概ね予定通り取り組みを進めた。 | ― | 子供未来局<br>子供相談支援センター |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑫ | 多様な主体との連携によるごみ減量・リサイクル推進 | ①地域でのごみ減量・リサイクル推進<br>町内会やクリーン仙台推進員、環境団体、学生、事業者等と行政との連携により、地域でのごみ減量・リサイクル推進に向けた課題を共有しながら、排出実態調査の実施やごみ分別講座、アレマキャンペーンなど、効果的な啓発活動や環境美化活動を推進する。 | クリーン仙台推進員ごみ集積所排出実態調査<br>新型コロナウイルス感染症の影響により中止<br>（代替としてごみ集積所状況調査を実施）<br><br>環境施設を見る会<br>参加団体数：11団体<br><br>ごみ分別出前講座の実施：27回 | ― | 環境局<br>家庭ごみ減量課 |
| | | | ― | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止または規模を縮小したが、概ね予定通り取り組みを進めた。引き続き市民協働によるごみ減量PDCAサイクルの構築を図りながら、取り組みを進めて行く。 | |
| | | ②集団資源回収事業<br>資源物（紙類・布類・アルミ缶等）の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくり等に資するため、地域で集団資源回収を実施する団体の活動を支援する。 | 集団資源回収実施団体に奨励金を交付し、広報物として「集団資源回収のてびき」、リーフレットを配布。<br><br>集団資源回収実施団体：1,238団体<br>（全町内会数に占める割合：89.4%） | ― | |
| | | | ― | 予定通り取り組みを進めた。実施団体数維持のため、今後も引き続き活動支援を行っていく。 | |
| | | ③クリーン仙台推進員制度<br>ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。 | クリーン仙台推進員制度委嘱者：2,423人<br>（推薦町内会の割合：56.5%）<br>排出実態調査実施推進員数：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | 令和7年度までに、クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割合を60%以上、排出実態調査を実施するクリーン仙台推進員の割合を40%以上とすることを目指す。 | |
| | | | B | 推薦町内会の割合は前年から微減した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、排出実態調査の実施は見合わせたが、調査の趣旨を踏まえ、参加規模を縮小したうえで、代替えとなる集積所状況調査を実施した。 | |
| | | ④ごみ集積所維持管理の支援<br>地域住民によるごみ集積所の清潔保持や環境美化の取り組みを支援するため、集積所の維持管理に関する助言や、啓発ポスターおよび飛散防止用ネットの配布を行う。<br>また、町内会等の申請に基づき、市が集積所の管理状況等を診断し、排出状況等が優秀な場合に、「五つ星集積所」として顕彰し、適正排出・適正管理を促進する。 | 飛散防止用ネット配布数：2,110枚<br>五つ星集積所診断数：29か所<br>（うち五つ星集積所認定数：27か所） | ― | |
| | | | ― | 予定通り取り組みを進めた。ネットの配布数は前年度とほぼ同数となっている一方、五つ星集積所の診断件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回ったことから、令和4年度は地域への働き掛けを工夫し継続していく。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑬ | 農あるふるさとづくり支援事業 | 農業を基軸とした地域における特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。 | 新型コロナウイルス感染症の状況を見極めるため例年より1か月遅れで事業を開始した。助成対象となった事業も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営を行った。<br><br>助成金交付実績：2件 | 毎年度の交付件数を3件程度とする。 | 経済局<br>農政企画課 |
| | | | B：新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、概ね進捗した。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、農業を基軸とした地域づくり活動を支援していく。 | | |
| ⑭ | スポーツ推進に係る支援事業 | ①仙台市スポーツ推進委員協議会<br>仙台市スポーツ推進委員により、本市が行う体育・スポーツ振興事業への参画および推進や、地域スポーツ振興のための啓発や調査・研究、地域団体との連絡調整、地域住民へのスポーツ等の技術指導を行う。<br><br>②仙台市学区民体育振興会連合会育成補助<br>地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進めている仙台市学区民体育振興会連合会に助成する。<br><br>③仙台市スポーツ協会育成補助<br>種目別競技団体により市民の体育を振興し、健全なスポーツ精神を養成している仙台市スポーツ協会に助成する。 | 仙台市スポーツ推進委員協議会が行うスポーツ振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。<br><br>仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。<br><br>仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 | ― | 文化観光局<br>スポーツ振興課 |
| | | | ―：着実に取り組みを進めた。今後もスポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興や地域スポーツ活動を通じた健康増進・地域づくりを進めるとともに、市民の体力・競技力の向上に向けて、引き続き各団体への支援を行う。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑮ | みんなで育てる地域交通乗り乗り事業 | 日常生活に必要な移動手段が課題となっている地域において、乗合タクシーの運行など地域の足の確保に向けた地域団体の主体的な取り組みに対し、運行計画検討における助言や技術的な支援を行う交通の専門家の派遣、運行に係る経費の一部補助、高齢者等割引運賃への補助を行う。 | 市民協働による地域の足の確保へ向け、青葉区新川地区、宮城野区燕沢地区、太白区坪沼地区、同秋保地区、同生出地区において、下記支援を行った。<br><br>・地域主体の乗合タクシー試験運行等の実施に対する運行経費等の一部補助：青葉区新川地区、宮城野区燕沢地区、太白区坪沼地区、同秋保地区<br>・試験運行や実証運行計画策定等における専門家（コンサルタント）の派遣：青葉区新川地区、太白区秋保地区、同生出地区 | ― | 都市整備局<br>地域交通推進課 |
| | | | ― | 予定通り取り組みを進めた。今後も、公共交通のサービスレベルが十分ではない地域などにおいて活用されるよう、周知に努める。 | |
| ⑯ | 各種緑化支援事業 | ①花壇づくり助成事業<br>地域の公有地（学校除く）に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理に係る費用の一部を支援する。<br><br>②花いっぱいまちづくり助成事業<br>道路や広場等公共の空き地や道路に面するショーウィンドウ等にプランターや花壇を設置し管理する商店街に対し、材料や管理に係る費用の一部を支援する。<br><br>③緑化木植栽助成事業<br>緑豊かな街並み形成を目的に、樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を支援する。 | 各種緑化支援事業などを通し、民有地緑化を推進した。<br><br>①～③の助成による花壇等面積：17,161㎡<br>花壇づくり助成件数：267件（17,161㎡）<br>花いっぱいまちづくり助成件数：6件<br>緑化木植栽助成件数：0件（0㎡） | ― | 建設局<br>百年の杜推進課 |
| | | | ― | 予定通り取り組みを進めた。引き続き、市民協働による緑化を着実に継続していく。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑰ | 市民参加によるみどりのまちづくり事業 | ①緑の活動団体<br>　緑豊かな杜の都づくりを行うため、本市内における緑の保全・創出・普及に係る活動を自主的に行う団体を「緑の活動団体」として認定し、交流会の開催や緑の活動体験事業の共催などを通して支援する。 | 認定団体数：27団体<br>助成件数　：2件<br>交流会開催数：1回<br>体験事業実施数：1回 | 団体相互の情報交換や共有を図るため、交流会を開催するとともに、緑の活動のさらなる普及・啓発に取り組むため、体験事業を年3回以上実施する。 | 建設局<br>百年の杜推進課 |
| | | | B：予定通り交流会を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、体験事業は1回の開催となったが、緑の活動団体入会につながる有意義なものとなり、概ね進捗した。 | | |
| | | ②公園愛護協力会<br>　公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協力会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。 | 各団体へ報償金の支給や刈払機の貸出等の活動支援を行うとともに、功労者の表彰・推薦を行った。<br><br>新規結成：14団体 | 新規結成を毎年度10団体以上とする。 | 建設局<br>公園管理課<br>（公園課） |
| | | | A：着実に進捗した。令和4年度も、公園愛護協力会の普及啓発に努め、結成数を増やす。 | | |
| ⑱ | 区民協働まちづくり事業 | 各区において、区民との協働により、区民まつりなど地域の活性化や課題解決などにつながるさまざまな事業を企画・実施するとともに、市民団体が行うまちづくり活動に対して助成を行う。<br><br>～令和3年度各区の主な企画事業～<br>（青葉区）<br>・仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業<br>・大倉ダム魅力発信事業<br>（宮城野区）<br>・地域はっぴぃ子育て支援事業<br>・すずむしの里づくり事業<br>（若林区）<br>・若林わくドキまち歩き<br>・若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業<br>（太白区）<br>・ディスカバーたいはく<br>・秋保ミュージアム環境整備支援事業<br>（泉区）<br>・泉ケ岳悠・遊フェスティバル<br>・七北田川クリーン運動 | 企画事業数<br>青葉区：11事業<br>宮城野区：12事業<br>若林区：10事業<br>太白区：11事業<br>泉区：15事業<br><br>助成件数<br>青葉区：　9件<br>宮城野区：　4件<br>若林区：　4件<br>太白区：　6件<br>泉区：　5件 | ― | 各区・宮城総合支所<br>まちづくり推進課<br>秋保総合支所<br>総務課 |
| | | | ―：新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業もあったが、感染症対策を講じ、工夫をしながら、取り組みを進めた。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑲ | 地域づくりパートナーシップ推進 | 地域によって異なる課題にきめ細かく対応するため、地域団体やNPO、事業者等の多様な主体が持つ力を、地域の課題解決やにぎわいづくりなどに生かす仕組みづくりを行う。<br><br>～令和3年度事業～<br>（青葉区）<br>・マンション等コミュニティ強化<br>・出前まちづくりサポートセンター運営事業<br>・学生の参加による地域づくり推進<br>（宮城総合支所）<br>・宮城地区西部活性化事業<br>・先端技術を活用した宮城地区の地域課題解決<br>（宮城野区）<br>・みやぎの地域づくり支援<br>・海浜エリア活性化<br>（若林区）<br>・若林まちみがき推進<br>・海浜エリア活性化<br>（太白区）<br>・「小さくても未来へつながる連携」促進<br>・生出地区活性化支援<br>（秋保総合支所）<br>・秋保体験観光創出支援<br>・秋保地区交流人口拡大事業<br>（泉区）<br>・泉区西部活性化<br>・泉中央地区活性化 | 実施事業数<br>青葉区：3事業<br>宮城総合支所：2事業<br>宮城野区：2事業<br>若林区：2事業<br>太白区：2事業<br>秋保総合支所：2事業<br>泉区：2事業 | ― | 各区<br>まちづくり推進課<br>宮城総合支所<br>まちづくり推進課<br>地域活性化推進室<br>若林区海浜エリア<br>活性化企画室<br>秋保総合支所<br>総務課<br>市民局<br>地域政策課 |
| | | | ― | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業もあったが、感染症対策を講じ、工夫をしながら、取り組みを進めた。 | |
| ⑳ | 婦人防火クラブ活動支援事業 | 婦人防火クラブ員に対して、火災予防に関する知識や災害への備えを学ぶ研修を実施するなど、意識高揚に向けた取り組みと活動しやすい環境づくりを推進する。 | 新型コロナウイルス感染症に留意しながら、火災予防知識の習得および技術の向上を図る訓練、研修会および街頭防火キャンペーンなどを実施した。また、現状の諸課題を踏まえ、活動の実態把握を目的に実施したクラブ員対象のアンケート調査から明らかになった課題に関し、解決に向けた取り組みについてクラブ員とともに検討を重ねた。<br><br>延べ活動回数：230回（参加者数2, 970人）<br>検討会開催回数：4回 | 婦人防火クラブ訓練・研修などの参加人数を毎年度9, 000人以上とする。 | 消防局<br>予防課 |
| | | | B | 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限された中ではあったが、それぞれのクラブにおいて工夫しながら活動を行った。また、今後のより充実した活動を目的に、婦人防火クラブ活性化検討会を設置し、活動環境の整備や課題解決に向けた具体的な取り組みや方向性について検討を重ねた。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ㉑ | 学校・地域・家庭の協働による学びの環境づくり推進 | ①コミュニティ・スクール推進事業<br>学校と家庭、地域が力を合わせて学校の運営に取り組み、子どもたちを取り囲むように豊かな学びの環境を構築するため、学校支援地域本部と連携しながら、コミュニティ・スクールの導入を推進し、令和5年4月までにすべての市立学校・園での導入を目指す。<br>コミュニティ・スクールの理解促進と周知を図るため、市立学校・園に対する研修会を開催するとともに、学校・保護者・地域の要請に基づき説明会を開催する。また、学校に対する説明や、広く市民に周知や広報を行うため、リーフレットなどを作成する。 | 学校運営協議会を設置した学校は52校、40協議会である。令和2年度に設置した学校を合わせると69校、52協議会となる。令和5年度の全校実施に向け、設置数は増えてきている。<br>コミュニティ・スクールの導入を検討する学校の要請を受け、教育委員会事務局の職員を学校に派遣し、管理職や地域関係者、教職員を対象に説明を行うとともに学校の実情に合った導入等を助言した。また、コミュニティ・スクールの円滑な推進に向け、実施要領の策定や教頭等を対象とした学校運営協議会研修の開催、保護者・地域関係者向けのチラシ作成、「仙台版コミュニティ・スクール導入の手引きQ&A」の更新などを行った。 | 令和5年度までに、コミュニティ・スクールを導入し、年3回以上学校運営協議会を開催した学校を190校とする。 | 教育局<br>学びの連携推進室 |
| | | | A　学校・保護者・地域を対象とした研修等を積極的に行うことで、仙台版コミュニティ・スクールについて周知するとともに、理解を深める取り組みを進めた。設置校数も順調に伸びている状況であり、着実に進捗した。 | | |
| | | ②学校支援地域本部事業<br>市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちに豊かな体験活動の機会を提供する。 | 学校支援地域本部設置校・連携校：180校（前年度から5校増）、年間活動日数：18,327日（前年度から3,876日増）、ボランティア延べ人数：9,177人（前年度から317人減）<br><br>読み聞かせやミシン、書写の補助、部活動における指導、放課後学習支援、校外学習や登下校時の安全確保のための見守り、専門性を生かした施設・設備の維持・管理、図書の管理・貸出業務、環境整備などの支援を行った。 | 令和5年度までに学校支援ボランティアの延べ人数を120,000人とする。 | 教育局<br>学びの連携推進室 |
| | | | B　新型コロナウイルス感染症の影響で、学校支援活動を停止した期間があったため、ボランティア数は減少したものの、学校支援地域本部設置校・連携校の数や年間活動日数は増加しており、概ね進捗した。 | | |
| | | ③地域学校協働活動推進事業<br>統括的な地域学校協働活動推進員を5人程度委嘱し、地域学校協働活動の方向性の検討や、学校と地域向けの研修を実施するとともに、学校教育や社会教育における各研修を周知し参加を促すことにより、地域学校協働活動への理解を推進する。<br>また、コミュニティ・スクールの実施校区から仙台版地域学校協働活動パイロット地区を選定し、地域学校協働活動推進員がコミュニティ・スクール運営協議会に参加する仕組みづくりを行う。 | 統括的な地域学校協働活動推進員を5人委嘱し、地域学校協働活動推進の研修等について検討した。<br>地域学校協働活動に係る内容の各種研修を8回延べ601人に行った。<br>コミュニティ・スクールの実施地区から4地区を選出し、パイロット事業を行った。地域学校協働活動推進員を4人委嘱し、学校運営協議会に参加する体制をとっている。 | 令和5年度までに、統括的な地域学校協働活動推進員を5人配置する。また、地域学校協働活動に係る研修への参加人数を150人とする。 | 教育局<br>生涯学習課 |
| | | | A　新型コロナウイルス感染症の影響により、地域学校協働活動推進員の活動が中止となったものもあったが、目標を達成し、着実に進捗した。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ㉒ | PTA活動振興事業 | 学校・家庭・地域社会が連携し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に取り組むことを目的として、PTA活動を支援する。 | ホームページ上でのPTAフェスティバルの開催等を通し、PTA活動推進者育成やPTA活動の支援を行った。<br>「PTA活動振興」に係る補助金の交付を行った。<br>新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季プール開放事業や研修会等は中止とした。<br><br>共催事業件数：4件<br><br>A　新型コロナウイルス感染症の影響により、2件の共催事業を中止としたが、目標を達成し、着実に進捗した。 | 仙台市PTA協議会との共催事業を毎年度3件以上実施する。 | 教育局<br>生涯学習課 |
| （3）地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進 | | | | | |
| ① | 市民活動サポートセンターにおける事業者の社会貢献活動の促進 | 市民活動サポートセンターにおいて、事業者の社会貢献活動事例の情報発信支援や、事業者への市民活動団体等に関する情報提供、他の主体との意見交換の場の創出などを行い、地域を支える事業者による社会貢献活動を促進する。 | NPOや事業者など多様な主体が意見交換できる事業として、オンライン情報交換会および定期交流会を実施した。<br>また、機関誌「ぱれっと」や市民活動サポートセンターのブログにおいて、事業者による社会貢献活動や協働事例を紹介した。<br><br>「ぱれっと」及びブログの掲載件数：12件<br>実施事業数：2事業（オンライン情報交換会・定期交流会）<br><br>A　着実に進捗した。引き続き、情報発信支援等を通じて、地域を支える事業者による社会貢献活動を促進していく。 | 事業者の社会貢献活動事例や協働事例について、市民活動サポートセンターのブログなどで年間5件以上紹介する。<br>事業者が他の主体と意見交換できる事業を毎年度実施する。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| ② | 地元企業等の環境活動の促進 | ①せんだいE-Action推進事業<br>市民・事業者等の協働により、省エネ・創エネ・蓄エネの3Eの普及啓発を行い、環境配慮行動の輪を広げ、脱炭素都市づくりにつなげる。 | ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、集客型のイベントおよび「伊達な節電所キャンペーン」を中止。<br>・Webを活用した取り組みとして、省エネ啓発動画の配信等を実施。（動画6本配信）<br>・緑のカーテンの普及（小学校2校）<br>・Webサイトたまきさんのリニューアルを実施<br><br>―　概ね予定通り取り組みを進めた。新型コロナウイルスの感染状況を見つつ、イベントを再開し、さらなる啓発に努める。 | ― | 環境局<br>環境共生課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［前ページ続き］<br>地元企業等の環境活動の促進 | ②環境配慮事業者認定制度<br>　環境に配慮しごみの減量やリサイクルの推進等に積極的に取り組んでいる事業者を「エコにこマイスター」として認定し、環境保全に関する取り組みを推進する。また、認定事業者の優れた環境配慮の取り組みを市民や事業者に情報発信する。 | 　認定制度の店舗や事業所の区分を廃止し、対象範囲を市内で事業活動を行うすべての事業者に拡大するとともに、その取り組み内容に応じて「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の2段階の認定を行う「仙台市環境配慮事業者（エコにこマイスター）認定制度」に発展させた。<br>　また、認定事業者の一覧をウェブサイトに公表するとともに、その取り組み内容を紹介する事例集を作成・配布するなどの情報発信を行った。<br><br>　環境配慮事業者認定制度の認定店舗・事業所等の数：515 | 　環境配慮事業者認定制度の認定事業者数を増やし、令和7年度までに認定事業所・店舗等を500以上とする。 | 環境局<br>廃棄物企画課 |
| | | | A | 着実に進捗した。認定事業者数のさらなる増加に向け、引き続き、制度の周知広報に努める。 | |
| | | ③アメニティ・せんだい推進協議会<br>　市民活動団体、事業者、行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置し、エコフェスタの開催や講師派遣等を行い、ごみ減量・リサイクルや環境美化について広く市民に周知する。 | 　「エコフェスタ2021」：新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止<br>　3R講師派遣事業実施回数：3回<br>　「3Rわかる本2022-23」発行：30,000部 | ― | 環境局<br>家庭ごみ減量課 |
| | | | ― | 新型コロナウイルス感染症の影響によりエコフェスタ2021は中止となったが、「3Rわかる本」に小学生向けの内容を新たに盛り込んで増刷するなどの工夫により、取り組みを進めた。3R講師派遣事業については、引き続き事業実施について広く周知広報を行っていく。 | |
| | | ④仙台まち美化サポートプログラム<br>　市民グループ、企業、学校等が道路や公園等の清掃活動を継続して行い、ごみの散乱のない快適なまちづくりを進める。 | 登録団体数：276団体（前年度比12団体増） | 　まち美化サポートプログラム登録団体数を300団体以上とする。 | 環境局<br>家庭ごみ減量課 |
| | | | B | 概ね進捗した。参加団体数をさらに増やすため、今後も引き続きプログラムの広報に取り組む。 | |
| ③ | 地元企業の地域活性化活動等の促進 | 　社会的課題解決や魅力的な職場環境づくりに取り組む市内中小企業を表彰・紹介し、その取り組みを後押しするとともに、優れた事例を幅広く発信することにより、地域経済の活性化と、若者の地元定着等を促進する「仙台『四方よし』企業大賞制度」を実施する。 | 　令和元年度より制度を「仙台『四方よし』宣言企業」へのエントリー方式に改め、受賞企業は宣言企業の中から当面2年に1度の頻度で表彰することとした。令和3年度に実施予定であった企業大賞は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度に実施を見送ったが、仙台「四方よし」宣言企業には新たに15社の申込があり、令和3年度末時点で延べ26社が登録している。 | 　「仙台『四方よし』企業大賞制度」における宣言企業の新規申込件数を、毎年度5社以上確保する。 | 経済局<br>経済企画課 |
| | | | A | 着実に進捗した。今後も、歴代受賞企業・宣言企業の四方よしな取り組みの広報・PRに力を入れて取り組み、宣言企業の拡充に努めていく。 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ④ | 協力事業所表示制度 | ①消防団協力事業所表示制度<br>　従業員が2人以上消防団員であるなど、消防団活動に協力していると認められる事業所を協力事業所として認定し、企業の社会貢献を広く周知するとともに、消防団員がより活動しやすい環境づくりを促進する。 | 新規認定事業所数：12事業所<br>認定事業所数：92事業所（増減数：＋10事業所） | 毎年度、新規の認定事業所を5事業所程度増加させる。 | 消防局<br>総務課 |
| | | | A：12事業所を新規事業所に認定し、着実に進捗している。今後も引き続き制度の理解と認知度の向上を図るため、広報・PR活動を推進し、認定事業所の拡充に努めていく。 | | |
| | | ②応急手当協力事業所表示制度（杜の都ハートエイド）<br>　自動体外式除細動器（AED）を設置し、かつ応急手当に関する講習を修了した従業員等が勤務している事業所を協力事業所として登録し、事業所近隣で発生した心肺停止傷病者の対応を行ってもらうなど、企業の社会貢献により応急手当を推進する。 | 新規登録数（民間施設および市有施設）：64施設<br>登録施設数：1,378事業所<br><br>登録事業所へAEDの維持管理及び救命講習受講促進に関する文書を送付し、応急手当能力の向上を図った。<br>【679事業所】<br><br>消防局職員が登録事業所を訪問し、AED設置状況、登録内容の確認を行った（設置から4年、以降4年に1度を目安）。<br>【79事業所】 | 毎年度50事業所程度増加させる。<br>登録事業所へのAED等の維持管理状況の定期的な確認および救命講習受講を促し、応急手当能力の向上を図る。 | 消防局<br>救急課 |
| | | | A：着実に進捗した。令和4年度もコロナ禍の状況を踏まえながら、さらに制度の普及啓発に努め、新規登録事業所数の増加と応急手当能力の向上を図る。 | | |
| （4）多様な主体の交流の促進 | | | | | |
| ① | せんだい3.11メモリアル交流館における協力事業 | 地域団体、教育機関等による震災メモリアルや地域の魅力発信にかかる展示や催しに対し、せんだい3.11メモリアル交流館として場の提供や情報発信などの協力を通して、多様な主体の交流の促進を図る。 | せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業（広報・企画・運営・会場使用等に関する協力）として、地域団体等の催し等を下記のとおり開催した。<br><br>開催数：47件 | せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業として、地域団体等による催し等を令和5年度に30件開催する。 | まちづくり政策局<br>防災環境都市推進室 |
| | | | A：着実に進捗した。今後も地域団体等による継承の取り組みが継続的に展開されるよう、より一層連携・協力を図っていく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ② | 防災フォーラム等の実施 | 「仙台防災枠組」の採択都市としての役割を踏まえ、市民参加型の防災フォーラムの継続的な開催などを通じて、ステークホルダーの育成に努める。 | 令和4年3月5日に、仙台国際センターで「仙台防災未来フォーラム2022」を開催。発表やブース展示、体験型イベントなどを通じて市民が防災を学び、日頃の活動を発信できる機会を提供した。また、新型コロナウイルス感染症対策として一部プログラムをオンラインにて公開した。<br><br>延べ来場者数：3,000人 | 来場者数を令和5年度に3,500人とする。 | まちづくり政策局<br>防災環境都市推進室 |
| | | | A：着実に進捗した。多様な市民が防災等に関する発信や共有を行う場を確保するため、今後も引き続き「仙台防災未来フォーラム」の開催に取り組む。 | | |
| ③ | 学都推進事業 | 地域や市民に大学などの高等教育機関の知的資源を還元する学都を目指すため、大学、市民、企業、行政など幅広い領域での連携の推進や学都の魅力の発信を図るとともに、学都仙台コンソーシアムに運営補助金を交付することで活動を支援する。 | 学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座<br><br>定員合計：940人<br>受講者数合計：372人 | 各年度において、サテライトキャンパス公開講座の定員合計の6割の受講者数を確保する。 | まちづくり政策局<br>プロジェクト推進課 |
| | | | B：新型コロナウイルス感染症による講座受講の自粛等の影響があったが、それ以外は計画に沿って進捗した。令和3年度からオンラインと対面の併用で講座を受講できるようにしたことから、引き続き受講者数を確保できるよう取り組む。 | | |
| ④ | 市民活動サポートセンターにおける多様な主体の交流促進 | 市民活動サポートセンターにおいて、NPOや事業者、教育機関など多様な主体が意見を交わし交流することで相互理解を深める機会を、オンラインなども活用しながら創出する。 | さまざまな立場の人が自由に参加できる情報交換の場として、オンライン上での情報交換会を開催した。<br><br>オンライン情報交換会実施回数：11回<br>オンライン情報交換会参加者数：128人 | 年間の延べ参加者数を100人以上とする。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | | A：着実に進捗した。引き続き、オンラインも活用しながら情報交換会や交流会を開催し、多様な主体の交流促進を図っていく。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑤ | 文化活動団体への支援による交流促進 | 新たな文化交流・創造・発信の促進を図るため、公益財団法人仙台市市民文化事業団を通して市民の自主的な文化活動に対し以下の支援を行う。<br><br>①市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興および郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成する。 | 市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興と普及啓発、および郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成した。<br><br>助成件数：101件<br><br>なお、上記助成のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術団体等の活動を支援するため、「コロナ禍に対応した文化芸術未来プロジェクト助成事業（採択件数23件）」「安全・安心な文化活動のための協働・支援事業」、「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業（採択件数223件）」を実施した。（事業番号分野1-(1)-⑥再掲） | 文化活動団体に対し、毎年度130件程度助成を行う。 | 文化観光局<br>文化振興課 |
| | | | B　新型コロナウイルス感染症の影響により、目標の件数には届かなかったが、令和2年度と比べより多くの件数を助成するとともにコロナ禍に応じた新たな助成事業を設け、幅広い文化活動団体に対する支援を行った。 | | |
| | | ②イベント等の制作面での協力を行う。 | 特に公益性の高い事業について、事業団友の会への入場券の販売斡旋、資料貸出、人材の紹介、企画協力や事務局への参画等を行った。<br><br>協力件数：75件 | 毎年度50件程度、文化活動団体との協力事業を実施する。 | |
| | | | A　着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。 | | |
| | | ③季刊誌「まちりょく」に情報を掲載し広報支援を行う。 | 季刊誌「まちりょく」については、令和4年度より掲載媒体をウェブに移行するため、これまでの誌面記事のウェブアーカイブ化を図り、休刊とした。<br>市民企画事業は、仙台市市民文化事業団ウェブサイトにイベント情報の告知を掲載することで広報支援を行った。また、コロナ禍における文化芸術の活動者及び団体・施設の活動状況について取材・調査を行った。<br><br>支援件数：75件 | ― | |
| | | | ―　着実に取り組みを進め、昨年度よりも件数が増加した。引き続き本市における文化情報の発信・広報に取り組む。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | 広瀬川創生・清流保全事業 | 広瀬川での市民活動団体のイベント情報などを集約し発信するとともに、活動団体同士の連携を促進する。また、事業負担金の交付や広瀬川魅力創生サポーターの認定を行う。 | 仙台市が共催した「広瀬川ボランティアガイドのためのスキルアップ講座」（主催：片平市民センター）や「ヒロセガワプレーパーク」（主催：都市デザインワークス）の活動を中心に広瀬川ホームページや広瀬川インスタグラムで情報発信を行った。広瀬川魅力創生サポーターはグリーンサポーターの新規申請で1件、更新申請で5件、ゴールドサポーターの新規申請で3件の認定を行った。 | 広瀬川魅力創生サポーター制度における「ゴールドサポーター」の認定数を令和5年度までに3件とする。 | 建設局<br>百年の杜推進課<br>（河川課） |
| | | | A：イベント情報の発信ができたこと、また、広瀬川魅力創生サポーターのゴールドサポーターの認定が3件あったことから、目標を達成し、着実に進捗した。 | | |
| ⑦ | 学びのコミュニティづくり推進事業 | 子どもの健やかな育ちを支援するため、地域のさまざまな団体が連携し、地域の児童、保護者、住民などを対象とし、子どもと大人の交流や自然体験などを地域団体への委託等により実施する。 | 主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。<br><br>委託団体：1団体（新規0団体） | 委託団体を毎年度7団体以上とする。 | 教育局<br>生涯学習支援センター |
| | | | C：新型コロナウイルス感染症の影響により委託予定だった団体が活動休止したため、委託団体は1団体に留まった。学校関係者への周知の機会を増やすなど広報等の工夫を重ね、委託団体増に努める。 | | |
| （5）多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進 | | | | | |
| ① | 「BOSAI未来プロジェクト」プロモーション事業 | 宮城教育大学や教育委員会、地域団体、NPO等、多様なステークホルダーの協力を得ながら、東日本大震災の経験や教訓のほか、復旧・復興に係る様々な活動の歩みを振り返るウェブサイトの立ち上げや、次世代の防災や伝承の担い手となる児童生徒向け事業等を通じたプロモーションを展開する。 | 企業との連携による「段ボールジオラマ防災授業」や、職員による復興・防災環境都市づくりをテーマにした出前授業を市内小中学校等で実施した。<br><br>出前授業等の実施：9校 | ― | まちづくり政策局<br>防災環境都市推進室 |
| | | | ―：予定通り取り組みを進めた。児童生徒向けに今後も継続して出前授業を行うことで、次世代の防災や伝承の担い手づくりに取り組む。 | | |
| ② | まちづくり活動事例集等の作成 | 本市における地域課題解決の取り組みを事例集等にまとめ、そのノウハウなど地域づくりに関する情報を他地域にも広く展開する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域の活動が休止または縮小を余儀なくされたため、令和3年度は事例紹介を行わなかった。 | ― | 市民局<br>地域政策課 |
| | | | ―：今後は、地域が置かれた状況や課題の性格を踏まえた地域課題解決の取り組み等の紹介により、ノウハウの横展開を行う。 | | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況<br>点検結果 | プランにおける目標等 | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| ③ | 各種広報ツールによる情報発信 | 仙台市協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」や協働の手引き・事例集等の活用により、積極的な情報発信を図る。<br>また、市ホームページや内閣府ポータルサイトの活用によるNPO法人の情報公開を行う。 | 協働の手引き・事例集を各種イベントにて配布・展示したほか、協働ナビゲーションサイトにおいて、協働取り組み事例や各種支援制度、相談窓口等の紹介を行い、積極的な情報発信に取り組んだ。<br>また、仙台市公式ホームページや内閣府ポータルサイトを活用し、NPO法人の情報公開を迅速に行った。<br><br>協働ナビゲーションサイトアクセス件数：17,381件 | 仙台市協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」のアクセス件数を毎年度10,000件以上とする。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | | A：着実に進捗した。市民活動や協働への理解と関心を高められるよう、引き続き積極的な情報発信に取り組んでいく。 | | |
| ④ | 市民活動サポートセンターにおける情報の収集・発信に関する支援 | 市民活動サポートセンターにおいて、市民活動や協働に関する情報収集・提供を行い、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう支援を行う。<br>また、NPOのほか、事業者や教育機関など多様な主体が相互理解を深め、協働の取り組みにつなげられるよう、情報発信支援を行う。 | 市民活動サポートセンターにおいて、収集した市民活動や協働に関する資料の提供や、SNS、動画コンテンツなどを活用した発信を行うとともに、同センターのブログ上では、コロナ禍における市民活動を支援する助成金情報や、気軽に参加できるボランティア情報など、市民のニーズに沿う幅広い情報を発信した。また、市民活動団体等のイベントチラシのホームページへの掲載や、広報担当者向けの講座の開催など、多様な主体間の相互理解や協働につなげる情報発信支援を行った。<br><br>ブログ訪問者数：69,073件<br>ブログ投稿数：399件 | 市民活動サポートセンターのブログの訪問者数を毎年度40,000件以上、投稿数を毎年度250件以上とする。 | 市民局<br>市民協働推進課 |
| | | | A：着実に進捗した。引き続き、市民活動や協働による課題解決の取り組みなどの情報が活発に受発信される環境づくりに努め、市民活動の促進と多様な主体による協働の推進を図っていく。 | | |
| ⑤ | ボランティアセンターにおける各種支援等<br>【再掲】 | 市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供や相談対応を行い、活動の機運醸成を図る。 | 地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。<br><br>ボランティア育成講座数：6講座<br>延べボランティア育成講座受講者数：215人<br>ボランティア登録団体数：586団体（新規登録87団体） | ボランティアセンターへの登録団体数を、令和7年度までに既存登録団体数754団体（令和2年12月1日時点）の20%増とする。 | 健康福祉局<br>社会課 |
| | | | A：新規登録が87団体あり、着実に進捗した。登録団体数は、コロナ禍で活動を中止している団体が登録更新をしなかったため減少したが、登録未更新団体については解散したわけではなく、活動が再開すれば登録更新される見通し。コロナ禍における新たなボランティア活動を提案し、担い手の発掘・育成を進め、地域課題解決につながるよう、引き続き取り組んでいく。 | | |

# Ⅲ　市民協働事業

仙台市と多様な主体による市民協働事業について、実施状況を掲載しています。

**市民協働事業**

次の２つの要件を満たす事業

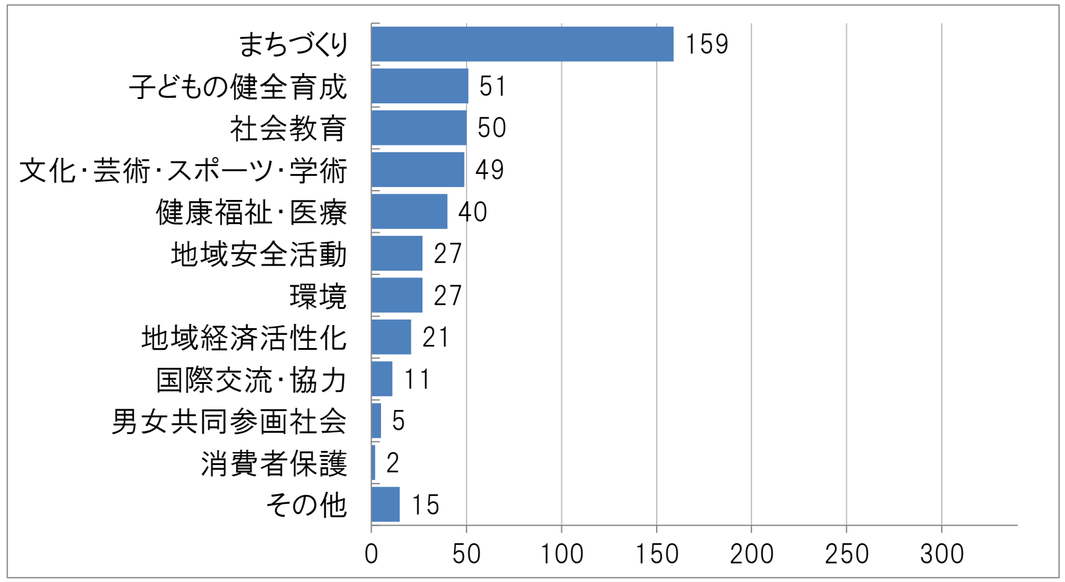
①　市が町内会等の地域団体、市民活動団体、教育機関、企業等と、互いに主体性・当事者性を持って連携している事業であること

②　営利を主たる目的とせず、地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るための事業であること

## 市民協働事業の総数 278 事業

「事業分野」･･･　事業の分野は、「まちづくり」が159事業（57.2%）であり、次いで「子どもの健全育成」が51事業（18.3%）、「社会教育」が50事業（18.0%）と続きます。

**事業分野**

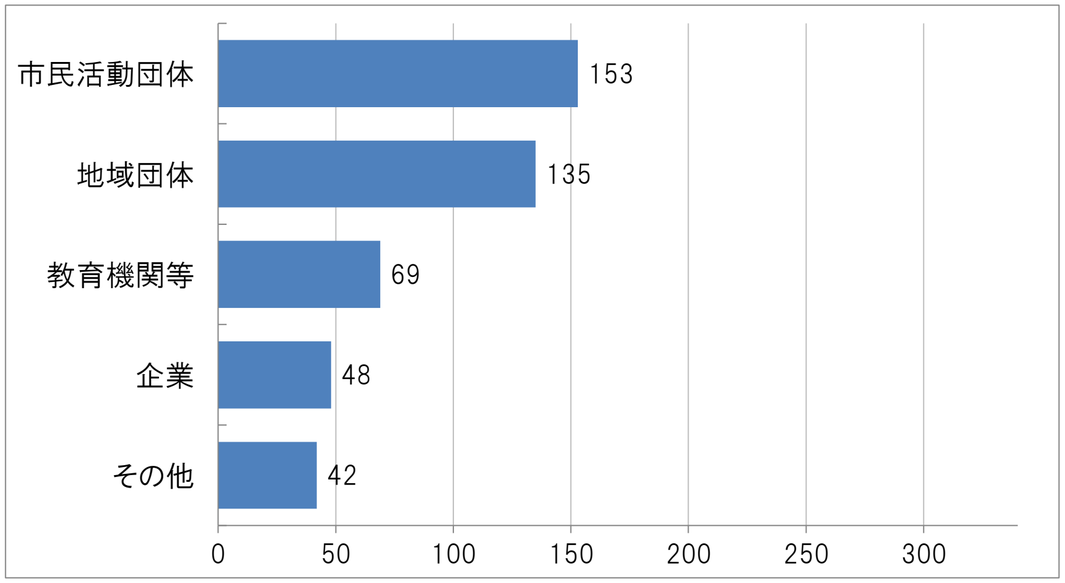



※複数の分野に該当する事業があります

（単位：事業）

「協働の相手方」･･･　協働の相手方は、「市民活動団体」が153事業(55.0%)であり、次いで「地域団体」が135事業（48.6%）、「教育機関等」が69事業(24.8%)と続きます。

**協働の相手方**




※協働の相手方が複数に該当する事業があります

（単位：事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により中止や規模縮小を行った事業もありましたが、感染防止対策を講じるとともに、ウェブの活用など工夫を行いながら、取り組みを進めました。また、仙台若者アワードや大学連携地域づくり事業など、次の世代のまちづくりの担い手となる、若者に着目した協働事業にも取り組みました。

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 民間企業と連携した災害時における支援体制整備 | 災害時に不足することが見込まれる資源を充足するため、民間企業や関係団体と応援協定を締結し、災害時における支援体制を構築する。 | 企業や各種団体等との協定締結：233件（うち、8件を令和3年度に締結） | 健康福祉・医療，地域安全活動，その他 | 企業、各種団体等 | — | 危機管理局防災計画課、<br>各協定所管課 |
| 2 | 広報紙等配布謝礼金 | 「仙台市政だより」等の配布に対する謝礼として、町内会等の配布団体に年1回謝礼金を交付する。 | 謝礼金交付実績：1,418件 | その他 | 市政だより等の配布を行っている団体 | 75,511 | 総務局広報課、<br>健康福祉局健康政策課、<br>各区総務課、<br>議会事務局調査課、<br>水道局営業課 |
| 3 | 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト | 【生出地区における共同農作業によるコミュニティづくり】<br>ビニールハウス等で農作物の栽培・収穫を共同で行い、コミュニティの場の創出を図る。また、地域のオリジナルキャラクターを活用し農作物の販売を行い、地域の認知度向上、地域ブランドの構築を図る。 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら、遊休農地を活用した野菜の栽培や干し柿の作成・販売などの共同農業作業を行うとともに、民間団体や小学校と連携した農業体験活動などの交流事業を実施した。また、地域の学校と作業場や農地トイレを製作するなど、環境整備に取り組んだ。 | まちづくり，地域経済活性化 | 生出地区まちづくり委員会 | 375 | まちづくり政策局プロジェクト推進課 |
| 4 | | 【作並温泉郷千年桜プロジェクト】<br>国道48号線の改良工事に伴い伐採された桜並木の復活を目指し、苗木養育ワークショップ、作並地域の固有種を含む桜の植樹、地権者調査、市遊歩道整備にあわせた広瀬川河畔に通じる自然体験ゾーンの整備、伐採された桜を活用した小物製作ワークショップを実施する。 | 地域団体等と連携し、桜植樹祭を開催したほか、第2回植樹祭に向けた地権者への協力要請などを行った。 | まちづくり，地域経済活性化，環境 | 作並温泉郷千年桜プロジェクト委員会 | 1,696 | |
| 5 | | 【鶴ケ谷地区の多世代交流まちづくり事業「えがおプロジェクト」】<br>シニアや子育て世代等の多世代交流の場である居場所カフェ、地元の魅力を再発見する地元学、シニア向けのデジタルネットワーク勉強会、手作り雑貨やクラフト商品を販売するマルシェを開催する。 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら、商店街の店舗内の一角で居場所カフェを運営し、地域の情報収集源となり、安定的な運営資金の確保につながった。さらに、ミニマルシェの開催や、地元学では、目標としていた冊子を発行し、鶴ケ谷地区のアピールを行うなど、多世代交流の取り組みを広げた。 | まちづくり，地域経済活性化，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | まるっとつるがや | 483 | |
| 6 | 定禅寺通活性化推進事業 | 定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。 | ・会議の開催：13回<br>・空間活用の試行的な実践：6プロジェクト<br>・基本構想検討会：6回<br>・事例・制度活用勉強会：1回<br>・ニュースレターの発行：4回 | まちづくり | 定禅寺通活性化検討会、仙台商工会議所 | 168,788 | まちづくり政策局定禅寺通活性化室 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 仙台市市民活動サポートセンター指定管理における各種事業 | 市民活動の促進に関する事業（施設および設備の提供、連携交流の推進、情報収集および提供、人材育成、相談、調査研究等）および協働の推進に関する事業（機会の提供、情報収集および提供、事業の支援、調査研究等）を実施する。 | 仙台市市民活動サポートセンターを運営し、市民活動の促進に関する事業、協働の推進に関する事業を実施した。<br>利用団体数：826団体 | その他 | 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター | 6,964 | 市民局市民協働推進課 |
| 8 | 地域課題解決プロボノ活用事業 | 【遠見塚地区】<br>コロナ禍で停滞したサロン活動の見直し・活性化や広報の強化等について、地域住民とプロボノ参加者が協働で取り組む。 | 地域住民やプロボノ参加者が全体ミーティングやプロボノ・ミーティング等を通して話し合いを重ねるとともに、サロン活動参加者等へのアンケート・インタビュー調査も実施しながら、協働で課題の解決に向けて取り組んだ。 | 健康福祉・医療，まちづくり，子どもの健全育成 | 南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）、仙台市社会福祉協議会若林区事務所、遠見塚地域包括支援センター 、特定非営利活動法人COLLAWAKE、プロボノ参加者 | 1,005 | 市民局市民協働推進課 |
| 9 | | 【住吉台地区】<br>地域住民における将来の生活の不安やニーズに関するアンケートの設計、解析フォーマットの作成等について、地域住民とプロボノ参加者が協働で取り組む。 | 地域住民やプロボノ参加者が全体ミーティングやプロボノ・ミーティング等を通して話し合いを重ねるとともに、地域住民や地元小中学校の校長先生へのインタビューも実施しながら、協働で課題の解決に向けて取り組んだ。 | 健康福祉・医療，まちづくり，子どもの健全育成 | 住吉台地区社会福祉協議会、根白石地域包括支援センター、特定非営利活動法人COLLAWAKE、プロボノ参加者 | 事業番号8と共通 | |
| 10 | 協働まちづくり推進助成事業 | 【鶴が丘コミュニティと大学＆学生群による「未来づくり協働キャンパス」プロジェクト】<br>多世代交流の健康づくりをテーマとして、町内会と大学が連携しながら、コミュニティ食堂や交流セミナー等を実施し、誰もが地域でつながりあって元気に住み続けられる環境づくりを行う。 | ・食交流、アウトドア交流、レクリエーションイベント開催（5月～12月、参加者数：200名程度）<br>・子供お茶の間学習、学生英会話教室、遊び環境学習活動（4月～3月、参加者数：50名程度）<br>・緑地活用、若者誘客活動、地域交流モデル活動（5月～3月、参加者数：50名程度） | 健康福祉・医療，まちづくり，子どもの健全育成 | 鶴が丘一丁目町内会、仙台白百合女子大学 | 2,963 | 市民局市民協働推進課 |
| 11 | | 【作並・新川地区の魅力増進による活性化推進事業】<br>作並・新川地区の地域資源を発掘、磨き上げることにより、魅力あふれる地域づくりを行い、交流人口の増加を目指す。 | ・観光資源の整備及び観光資源の案内看板の整備（看板設置：5か所）<br>・観光マップの増刷（1,500部）<br>・観光プロモーションの実施（イベント実施：3回）<br>・観光案内人の養成 （3人）<br>・閉校施設の活用事業の実施（イベント実施：3回）<br>・特産品の開発<br>・協議会活動への地域の若者の参加促進<br>・地域のIT化推進事業 | まちづくり，地域経済活性化 | 特定非営利活動法人作並・新川地区活性化連絡協議会、作並地区連合町内会、作並温泉旅館組合 | 1,758 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 若者が活躍するまちづくり事業 | ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）採択事業：「ミズベフェスタ」<br>子どもも大人も安心して快適に遊べる水辺環境を整え、水辺で遊ぶことにより子どもの非認知能力の涵養につなげるとともに、環境を大切にする心を育むことを目的に、八本松緑地における親子体験イベント「ミズベフェスタ」の実施や、水辺に関するアイデアの市内外への発信を行う。 | ・八本松緑地でのイベントの実施（2回（10月3日、12月12日）、参加者合計：延べ224人） | 社会教育，まちづくり，環境，地域安全活動，子どもの健全育成 | カワラカイ、特定非営利活動法人都市デザインワークス（サポート団体） | 256 | 市民局市民協働推進課、建設局百年の杜推進課（建設局河川課） |
| 13 | | ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）採択事業：「立町エリアにおけるコミュニティスペースの提供」<br>立町エリアにおける世代を超えたコミュニティの活性化を目的に、お茶と和菓子を用いた交流イベントを実施するとともに、イベント参加者に対して当該エリアに係るアンケート調査を行う。 | ・立町エリアでの交流イベントの実施（3回（11月13日、12月18日、2月26日）、参加者合計：45人）<br>・アンケート調査の実施<br>・コミュニティスペースの調査（3か所） | まちづくり，地域安全活動 | たちまち茶々、特定非営利活動法人都市デザインワークス（サポート団体） | 97 | 市民局市民協働推進課、青葉区地域力推進担当 |
| 14 | | 【仙台まちづくり若者ラボ】<br>若者が「自分ごと」として参加する実践的プログラムを実施し、若者のアイデアを地域の課題解決や活性化に生かすとともに、主体的に動く若者や将来のまちづくりの担い手の発掘・育成を目指す。 | まちづくりに興味のある若者を募集し、参加者自らが設定する「自分ごと」として関われるまちづくりのテーマに沿って、ワークショップやフィールドワークを重ねてまちづくりへの関わり方を探求するとともに、その成果を発信・共有する実践的なプログラムを実施した。<br><br>参加者数：33人 | まちづくり，その他 | 株式会社JTB | 2,997 | 市民局市民協働推進課 |
| 15 | | 【仙台若者アワード】<br>若者団体の社会貢献活動を表彰するとともに、若者と企業などの多様な主体との連携によるSDGs達成への取り組みを促すなど、若者の社会参加の促進を図る。 | 社会・地域の課題解決やSDGsの達成に寄与する活動を行う若者団体を表彰するとともに、若者団体と地元企業との協働を生み出し、その活動を伴走支援する取り組みを実施した。 | まちづくり，その他 | コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、一般社団法人ワカツク | 500 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業 | 「宮城の共育推進」のため、主に泉区での地域の子育て状況、子どもを取り巻く環境の現況把握調査【課題調査検証助成】<br>主に泉区の子育て世代が抱える悩みや困り事などの実態把握調査を行う。当該調査を通して、必要としている支援の要望などの声を拾い集める。 | ・子育て実態把握調査の実施（アンケート回答数：220人）<br>・子育て支援団体聞き取り調査（聞き取り団体数：2団体）<br>・活動報告冊子の作成 | 社会教育，まちづくり，男女共同参画社会，子どもの健全育成 | 特定非営利活動法人エムケイベース | 468 | 市民局市民協働推進課 |
| 17 | | 荒町・連坊地区における地域づくりの声の見える化事業【課題調査検証助成】<br>東北学院大学五橋キャンパス供用開始に向け、地域の現状や課題について多様な主体と連携し調査を行い、実態を把握する。当該調査結果を地域全体で共有し、今後の地域づくりのデータ集として活用する。 | ・地域づくりの声の見える化にかかる事例の収集・整理<br>・3者（荒町、連坊、大学）による調査の共同設計<br>・地域を対象としたアンケート調査の実施（1回）<br>・学生などを対象としたアンケート調査の実施（1回）<br>・アンケート調査結果の整理・とりまとめ<br>・データの見える化（インフォグラフィックス等による表現）<br>・調査結果を活用した、地域の現状の把握や課題解決に向けた話し合いの実施・参画 | 社会教育，まちづくり，地域経済活性化，地域安全活動 | 東北学院大学 | 279 | |
| 18 | | 東日本大震災後の地域づくりにおける地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証事業【課題調査検証助成】<br>震災により居住者が激減した井土地区の旧住民も含めた全世帯に対し、「ふるさと」への思いなどのアンケートを実施する。アンケート結果を踏まえながら、地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の糸口を模索する。 | ・住民アンケートの実施と振り返りによる共有（回答世帯数：78世帯）<br>・個別ヒアリングの実施（50代・60代女性5人）<br>・自然資源の共有化のための専門家との協働（フィールドワーク：1回、学習会：1回）<br>・課題共有のための見学会の実施（1回）<br>・「井土まちづくりレポート」の発行（4回） | 社会教育，まちづくり，地域経済活性化，環境，地域安全活動，子どもの健全育成 | 井土町内会 | 185 | |
| 19 | | 坪沼地区の地域運営・活性化に関する課題調査【課題調査検証助成】<br>坪沼地区の住民に対するアンケートやヒアリング調査を行い、地域の課題を抽出するとともに、住民の地域運営への参画を促すためのポイントを探る。 | ・住民に対するアンケート調査（回答数：127戸）<br>・住民との打合せ等（4回）<br>・現地視察（1回）<br>・住民に対するヒアリング（1回）<br>・住民に対するアンケート結果等の報告（1回） | 社会教育，まちづくり，地域経済活性化，環境，地域安全活動 | 株式会社東北博報堂 | 482 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | ［前ページ続き］<br>地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業 | 荒井地区における地域企業の通勤バスを活用した地域交通のニーズ調査【課題調査検証助成】<br>地域内企業が運行する通勤バスの非稼働時間帯の有効活用の可能性を探る。その足掛かりとして、地域住民のニーズ・シーズを把握し、課題を整理する。 | ・地域での暮らしや移動に関する住民アンケート調査の実施（回答数：686世帯）<br>・住民アンケート調査の結果を踏まえた運行内容の検討<br>・事業化に向けた運行体制や制度的な課題の整理 | まちづくり，地域経済活性化 | 一般社団法人荒井タウンマネジメント | 500 | |
| 21 | | 学都仙台の知的資源を活用し、家庭環境によらず誰もが創造力を育めるクリエイティブなまち仙台へ【協働実践助成】<br>科学に対する意欲や関心の高い子どもを発掘し、家庭環境によらず誰もが創造力を育む科学教育を受けることができるクリエイティブなまち仙台を目指す。 | ・子ども支援団体へのヒアリング調査（3団体）<br>・子ども支援団体との協働関係構築（4団体）<br>・子ども支援団体との協働イベント実施（8件）<br>・受講を希望する子どもへの科学・技術講座の無償提供（4回・1人） | 社会教育，まちづくり，子どもの健全育成 | 特定非営利活動法人natural science、特定非営利活動法人科学協力学際センター | 847 | |
| 22 | | 子どもを中心にした地域の居場所づくり「ジジリビング」【協働実践助成】<br>子どもたちの居場所づくりを中心として、地域の交流を増やし、イキイキとした地域を目指す。 | ・放課後の子どもを中心とした地域の居場所開設（10回、参加者合計：89人）<br>・不登校の子どもを中心とした地域の居場所開設（10回、参加者合計：14人） | 社会教育，まちづくり，地域安全活動，子どもの健全育成 | プリュスプレジー、宮城学院女子大学社会連携センター | 905 | |
| 23 | 地域協働サポートプログラム | 【将監地区】<br>将監複合施設内に設置予定の市民交流スペースについて、スペースの管理・運営方法等の課題の整理等を行う。 | まちづくり活動に関する専門的人材（コーディネーター）を派遣し、課題の整理等に向けた検討会議の実施等について伴走支援を行った。<br>派遣期間：9月～令和4年3月 | まちづくり | 「（仮称）みんなのサロン」運営委員会 | 600 | 市民局地域政策課（市民協働推進課） |
| 24 | | 【ハイランド地区】<br>今後のまちづくりやあり方を検討していくにあたって、他のエリアの事例やまちづくりに関する知識を持った有識者を派遣し、当該地域住民等の協議・検討が円滑に進められるようにサポートする。 | まちづくり活動に関する専門的人材（コーディネーター）を派遣し、協議等推進に向け伴走支援を行った。<br>派遣期間：11月～令和4年3月 | まちづくり，地域安全活動 | ハイランド自治会 | 150 | |
| 25 | コミュニティまつり助成 | 町内会、連合町内会が主催または中心となり実施するコミュニティまつりの一層の振興を図るため、その経費の一部を補助する。 | コミュニティまつりの一層の振興を図るため、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団から助成金を交付した。<br>助成金交付実績：36件 | まちづくり | 仙台市内の町内会または連合町内会（コミュニティまつりのために設けた実行委員会を含む） | 1,079 | 市民局地域政策課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 町内会等育成奨励金 | 地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会の運営経費の一部を援助することにより、町内会等の育成を図り、もって地域住民の福祉の向上を図るとともに、住民の市政参加を促進することを目的とする。 | 町内会等育成奨励金交付世帯数：404,393世帯 | まちづくり | 地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会 | 214,328 | 市民局地域政策課 |
| 27 | 市連合町内会長会運営補助金 | 市内の連合町内会組織との連絡協調を目的として活動する仙台市連合町内会長会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。 | 補助金交付実績：1件 | まちづくり | 仙台市連合町内会長会 | 2,800 | 市民局地域政策課 |
| 28 | 市連合町内会長会創立五十周年記念事業補助金 | 本市と町内会等住民自治組織とのパイプ役として活動されている仙台市連合町内会長会の創立五十周年を祝し、今後のより活発な同会の活動を期するとともに、市との協力関係を維持するため、記念事業費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：1件 | まちづくり | 仙台市連合町内会長会 | 2,000 | 市民局地域政策課 |
| 29 | 区連合町内会長協議会運営補助金 | 区内の連合町内会組織との連携協調を目的として活動する区連合町内会長協議会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。 | 補助金交付実績：5件 | まちづくり | 区連合町内会長協議会 | 3,989 | 市民局地域政策課 |
| 30 | 地区連合町内会運営補助金 | 地域内の町内会等の連携協調を目的として活動する連合組織の自主的な運営および活動に要する経費の一部を補助することにより、市民生活の向上等を目的とする。 | 補助金交付実績：111件 | まちづくり | 地区連合町内会 | 11,804 | 市民局地域政策課 |
| 31 | 地区集会所建設等補助金 | 地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を新築・増築・改築・修繕・建物区分購入しようとする者に対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：25件 | まちづくり | 地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会 | 65,107 | 市民局地域政策課 |
| 32 | 地区集会所借上補助金 | 地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を借上により確保しようとする者に対して、その経費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：10件 | まちづくり | 地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会 | 1,321 | 市民局地域政策課 |
| 33 | 屋外掲示板設置補助金 | 町内会等が屋外掲示板を設置しようとする場合において、経費の一部を補助する。 | 屋外掲示板設置実績：21基 | まちづくり | 地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会 | 639 | 市民局地域政策課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 仙台市民間シェルター入所者支援等事業補助金 | 女性に対する暴力の根絶およびDV被害者に対する支援のため、特定非営利活動法人の運営する民間シェルター入所者に対する支援、DV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る経費を補助する。 | 民間シェルター入所者に対する支援およびDV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る補助金の交付を実施した。 | 男女共同参画社会 | （DV被害者の安全確保の観点から、非公開） | 2,400 | 市民局男女共同参画課 |
| 35 | 多様な性のあり方に係る居場所づくり事業 | 性的少数者などが抱える孤独や不安の解消の一助および多様な性のあり方についての理解促進を図るため、安心して過ごせる居場所を設ける。<br>※平成30年度から令和元年度にかけて行った市民協働事業提案制度採択事業「にじいろ協働事業」において行った事業の一部を市が引き継いで実施するもの。 | コミュニティースペース「にじのひろば」を4月～令和4年3月の間、月1回設置した。<br>延べ参加者数：72人<br>※令和3年4月、8月、9月は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を見合わせた。 | 男女共同参画社会 | 一般社団法人ブレスみやぎ | 537 | 市民局男女共同参画課 |
| 36 | 市民協働事業提案制度採択事業：父親の家事・育児参加推進事業 | 企業で働く男性を対象とした男女共同参画意識醸成に向けた出前型連続講座や啓発冊子の作成を行う。 | 市民協働事業提案制度を活用し、「父親の家事・育児参加推進事業」を実施した。<br>3社の民間企業に対する連続講座、市民向けイベントを実施したほか、普及啓発冊子を作成した。 | 男女共同参画社会 | 特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク | 1,703 | 市民局男女共同参画課 |
| 37 | 防犯活動支援事業 | 犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の自主的な防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。 | 補助金交付実績：80件 | まちづくり，地域安全活動 | 仙台市防犯協会連合会、各地区防犯協会連合会、各単位防犯協会 | 22,040 | 市民局市民生活課 |
| 38 | 仙台市地域安全安心まちづくり事業 | 地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。 | 安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。<br>補助金交付実績：11件 | まちづくり，地域安全活動 | 概ね単位町内会の区域から小学校学区程度の範囲の地域において、自主的に結成された団体 | 705 | 市民局市民生活課 |
| 39 | 国分町地区安全安心街づくり推進 | 仙台市安全安心街づくり条例に基づき、安全安心街づくり活動重点推進地区に指定する国分町地区における犯罪防止等を目的とした安全安心街づくりを推進するとともに、市民および来訪者にとって安心して楽しめる街・健全で魅力ある街づくりの取り組みを推進する。 | 国分町地区安全安心街づくり推進協議会等と連携し、下記の事業を行った。<br>夜間パトロール：7回<br>環境美化活動：1回<br>国分町地区安全安心パレード：1回 | まちづくり，環境，地域安全活動 | 国分町地区安全安心街づくり推進協議会 | 3 | 市民局市民生活課 |
| 40 | 各区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業 | 仙台市安全安心街づくり条例に基づき、各区において指定する安全安心街づくり活動推進モデル地区において、町内会、防犯協会、学校、区役所等が連携し、先導的かつ模範的な安全安心街づくりを推進する。 | 各区モデル地区において、町内会等が連携して防犯啓発活動などの安全安心街づくりに向けた事業を実施した。 | まちづくり，地域安全活動 | 町内会、防犯協会等の地域団体、学校、警察 | 703 | 市民局市民生活課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 41 | 山岳遭難防止活動団体に対する補助金 | 山岳遭難防止活動団体が行う山岳遭難防止事業に要する経費に対し、補助金を交付する。 | 補助金交付実績：3件 | 地域安全活動 | 宮城県山岳遭難防止対策協議会各支部 | 990 | 市民局市民生活課 |
| 42 | 地域版避難所運営マニュアル作成 | 指定避難所ごとに市の避難所担当課を割り当て、担当課と町内会をはじめとする地域団体、学校などの施設管理者等の3者で避難所運営に関する話し合いを行い、顔の見える関係を築きながら、「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、「地域版避難所運営マニュアル」を作成する。マニュアルに基づき、避難所運営訓練の実施を推進するとともに、訓練を通して検証し、必要に応じマニュアルの修正を行っていく。 | 地域版避難所運営マニュアル作成等支援アドバイザーの派遣：2件<br>指定避難所195か所中194か所のマニュアル作成済み。 | まちづくり，地域安全活動 | 町内会等の地域団体、学校等の施設管理者 | 45 | 市民局市民生活課 |
| 43 | 仙台市自転車の安全な利活用推進計画に基づくモデル事業 | 各区・総合支所が選定した市内6か所のモデル地域において自転車ルール・マナーの啓発や教育活動を関係行政機関や地域の住民、学校等と連携して行い、意識の向上を促すとともに、市民に自転車利用のルール・マナーを理解してもらう。 | 定期的な街頭啓発、街頭や通学路における交通安全指導、学校や地域における交通安全教育などを行った。 | 地域安全活動 | 地域住民、学校、地区交通安全協会等 | 2,924 | 市民局自転車交通安全課 |
| 44 | 仙台市交通安全母の会連合会に対する補助事業 | 地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限されながらも、市内各地域で交通安全啓発活動を行った。 | 地域安全活動 | 仙台市交通安全母の会連合会 | 991 | 市民局自転車交通安全課 |
| 45 | 消費生活パートナー事業 | 消費生活センターと地域をつなぐ担い手（パートナー）を養成し、連携して消費者啓発を行うことにより、消費者被害の未然・拡大防止および消費生活相談窓口の周知を図る。 | 消費生活パートナー養成講座やフォローアップ講座を実施するとともに、定期的に啓発等資料を送付して、地域における消費者啓発やパートナー活動を推進する取り組みを行った。<br>登録者数：51人 | 消費者保護 | 市民（公募による） | 32 | 市民局消費生活センター |
| 46 | 仙台市消費者団体活動補助金 | 消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、消費生活の向上を図ることを目的として活動している団体に対し、事業への補助・情報提供等の支援を行う。 | 補助金交付実績：4件 | 社会教育，消費者保護 | 認定特定非営利活動法人消費者市民ネットとうほく、仙台市生活学校連絡協議会、特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク、宮城野親子で料理プロジェクト | 1,472 | 市民局消費生活センター |
| 47 | 福祉避難所 | 介護など個々の対応が必要となるため、指定避難所での対応が困難な方の避難先となる福祉避難所について、介護施設等との協定締結を進める。 | 令和3年度協定締結施設：18施設<br>（累計140施設） | 健康福祉・医療 | 社会福祉施設等運営法人 | 1,155 | 健康福祉局総務課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48 | 小地域福祉ネットワーク活動推進事業 | 高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活が送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。 | 助成金交付実績：104件 | 健康福祉・医療 | 地区社会福祉協議会 | 18,476 | 健康福祉局社会課 |
| 49 | 再犯防止推進事業 | 仙台保護観察所、仙台矯正管区、本市の共催で仙台再犯防止推進ネットワーク会議を設置し、更生支援や福祉的支援を実施する機関や団体が、支援の現場での円滑で継続的な連携・協力関係を築き、犯罪や非行をした人の立ち直りと地域生活の継続を支える取り組みを推進する。 | 開催回数2回<br>第一回：令和3年11月15日（集合開催）<br>第二回：令和4年3月16日（オンライン開催） | 健康福祉・医療 | 仙台地方検察庁、宮城刑務所、東北少年院、東北少年院青葉女子学園、仙台少年鑑別所、宮城県地域生活定着支援センター、仙台市社会福祉協議会、仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」、仙台矯正管区、仙台保護観察所、仙台市保護司会連絡協議会 | 10 | 健康福祉局社会課 |
| 50 | 福祉まつり「ウェルフェア」 | 障害者の作品展やステージ発表など文化・芸術活動の発表の場を設け、障害者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。また、市民への障害に対する理解を促進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に来場できる催しを開催する。 | 開催回数：1回<br>（冬季屋内ウェルフェア・障害者週間記念式典、障害者スポーツに関する講演のみ開催） | 健康福祉・医療 | 仙台市障害者福祉協会（受託者）、その他実行委員会を構成する関係団体 | 433 | 健康福祉局障害企画課 |
| 51 | 難病医療相談会 | 患者や家族の療養上の不安を解消するため、医師、保健師、看護師等が病気の理解、不安の解消、療養生活等に関する助言・指導を行う難病医療相談会について、市と実施機関の協働により企画を行う。 | 実施回数：12回<br>（MPC委託による実施7回、各区主催の実施5回） | 健康福祉・医療 | 特定非営利活動法人宮城県患者・家族団体連絡協議会<br>（MPC） | 566 | 健康福祉局障害者総合支援センター |
| 52 | 仙台市給食サービスボランティア助成事業 | ひとり暮らし等の高齢者で、食事の準備が困難な方へバランスの取れた食事を提供することによる健康状態の維持、コミュニケーションの確保および孤立化の防止など、高齢者の介護予防に資するため、ボランティア団体等が行う給食サービス事業に対し助成を行う。 | 助成金交付実績：3件<br>延べ配食数：40,297食 | 健康福祉・医療 | 食事サービスふたばの会、けやきグループ、高齢者配食サービス「ほっと亭」 | 13,203 | 健康福祉局高齢企画課 |
| 53 | 老人つどいの家（好日庵） | 高齢者の教養向上、レクリエーション等のために利用する老人つどいの家「好日庵」を設置する者に対し助成を行い、高齢者の心身の健康増進を図る。 | 助成金交付実績：81件 | 健康福祉・医療 | 老人クラブ | 25,222 | 健康福祉局高齢企画課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 54 | 老人クラブ活動事業助成 | 高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付する。 | 助成金交付実績：388件 | 健康福祉・医療 | 老人クラブ | 18,039 | 健康福祉局高齢企画課 |
| 55 | 仙台市ふれあいデイホームボランティア助成事業 | ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者等を対象とした生活指導や軽運動、食事の提供などを通じて、生きがいづくりや健康づくり、居場所づくりを行うボランティア団体への助成を行う。 | 助成金交付実績：8件<br>延べ実施回数：409回 | 健康福祉・医療 | フラッシュグループ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、ゆうゆう（結遊）、ふれあいサロンかぎとり、南光台ボランティア友の会けやきの会、ふれあいサロンとみざわ、湯元ゆのはな会 | 5,043 | 健康福祉局高齢企画課 |
| 56 | 住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業 | 要支援者等の利用対象者を新たに受け入れる、高齢者に対する生活支援活動（訪問型サービス）を実施しているボランティア団体等に対し、助成を行う。 | 助成金交付実績：9件 | 健康福祉・医療 | 向陽台ささえ愛の会、百縁ひろばネットワーク、桂ボランティアの会、太白お助けクラブ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと、特定非営利活動法人暮らしのサポートセンター、特定非営利活動法人仙台傾聴の会仙台支部、鶴が丘はあとネット | 788 | 健康福祉局高齢企画課 |
| 57 | 認知症カフェ支援事業 | 認知症カフェの立上げや継続的な運営を支援することを目的として、研修や情報交換会を開催する。令和元年度から、認知症カフェに対して認知症当事者とパートナーを派遣して講話等を行う事業を実施。 | ①情報交換会（認知症カフェネットワークミーティング・認知症カフェセミナー）実施回数：2回<br>・認知症カフェネットワークミーティング参加者数：23人<br>・認知症カフェセミナー（オンデマンド配信）申込者数：1,764人<br>②認知症カフェへの認知症当事者・パートナー派遣（出張おれんじドア）：9か所 | 健康福祉・医療，まちづくり | 認知症介護研究・研修仙台センター、認知症カフェ開催団体（認知症の人と家族の会宮城県支部、地域包括支援センター、認知症介護家族、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等） | 642 | 健康福祉局地域包括ケア推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 58 | 介護予防自主グループ支援事業 | 地域における介護予防活動の推進を目的に、介護予防運動サポーターの人材育成、介護予防自主グループ活動が継続するための後方支援を実施する。 | ・サポーター養成研修<br>実施回数：25回　参加者数：309人<br>・スキルアップ研修<br>実施回数：34回　参加者数：589人<br>・活動継続支援<br>訪問支援：2回　71人<br>・市内234グループが活動中 | 健康福祉・医療 | 地域住民により自主的に結成されている介護予防自主グループ、地域包括支援センター | 5,472 | 健康福祉局地域包括ケア推進課 |
| 59 | 認知症サポーター等養成事業 | 認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成するため講師を派遣する。なお、養成のための講師は、講座開催のために「キャラバン・メイト養成研修」を受けた「キャラバン・メイト」が担当し、原則ボランティアの立場で行う。認知症サポーターとして実際に活動している方の事例を紹介し情報を共有する「認知症サポーター情報交換会」も開催している。また、ご本人の思いや希望に耳を傾け、味方になって一緒に歩く人を「パートナー」と呼び、身近にいる当事者と話をして、やりたいことを手助けできる人を養成する「認知症パートナー講座」を実施する。認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。 | ・キャラバン・メイト養成研修：中止<br>・認知症サポーター養成講座：117回（養成数4,081人）<br>・認知症サポーター情報交換会：中止<br>・認知症パートナー講座：2回（内1回中止）<br>・認知症パートナー講座指導者養成研修：1回（24人） | 健康福祉・医療，まちづくり | 「キャラバン・メイト」として登録された人、市民（認知症サポーター養成講座を受講した人等） | 603 | 健康福祉局地域包括ケア推進課 |
| 60 | 市民健康プラン推進（3歳児カリエスフリープロジェクト85） | 3歳児のむし歯有病者率の低下を目指し、乳児期健診時に歯と口の健康づくりへの動機づけを行う。 | ・「せんだい☆でんたるノートF」、登録歯科医療機関ステッカーを作成し、8か月児から9か月児の保護者へ啓発を実施。<br>・登録歯科医療機関を対象とした研修会（web開催）：1回開催 | 健康福祉・医療 | 一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市医師会 | 485 | 健康福祉局健康政策課、<br>子供未来局子供家庭保健課（子供未来局子供保健福祉課） |
| 61 | 市民健康プラン推進（がん予防啓発） | 民間企業と協定を締結し、がん検診等市民健診受診に関する啓発を行う。 | 企業との協定締結：累計22件 | 健康福祉・医療 | アイリスオーヤマ株式会社他21企業・団体 | 385 | 健康福祉局健康政策課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 62 | 歯と口の健康週間<br>市民のつどい | 歯と口の健康週間に合わせ、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に普及啓発し、適切な健康習慣の定着を図る。 | 新型コロナ感染症拡大防止策により、対面・体験式のイベントを中止し「一生を共に歩む 自分の歯」をテーマに乳幼児・学齢期・成人・高齢期を対象とした健康教育用コンテンツを関係団体と協働で制作し「市民のつどいWEB版」を開催した。 | 健康福祉・医療 | 東北大学大学院歯学研究科・歯学部、一般社団法人仙台歯科医師会、仙台市私立幼稚園連合会、宮城県栄養士会等 | 100 | 健康福祉局健康政策課 |
| 63 | 食育推進（大学生の食育プロジェクト） | 食に関心の薄い年代に対する、同世代の学生による食に関する啓発の企画・実施を行う。 | ・令和2年度に同プロジェクトで作成した野菜レシピを大学等へ配布した。<br>レシピ配布数：250部<br>・大学生の食育ワークショップについては新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | 健康福祉・医療 | 管理栄養士養成大学の学生 | 100 | 健康福祉局健康政策課 |
| 64 | 看護師離職防止対策事業 | 看護師の離職防止を目的に医療機関等に勤務した新人看護師の研修事業を実施する。 | 卒後1年目研修：3テーマで計8回実施<br>卒後2年目研修：1テーマで計2回実施 | 健康福祉・医療 | 公益社団法人宮城県看護協会 | 1,019 | 健康福祉局健康政策課 |
| 65 | 食で健康サポート店事業 | 健康的な食生活の推進を目的に、栄養成分表示やバランスメニューの提供等を行っている飲食店等を登録する。 | 登録件数：86件 | 健康福祉・医療 | 市内飲食店、食料品販売店、給食施設 | 13 | 健康福祉局健康政策課 |
| 66 | 受動喫煙防止宣言施設事業 | 県、市、全国健康保険協会宮城支部の3者の連携事業。受動喫煙防止に取り組む施設を登録し、周知する。 | 令和3年度登録件数：67件<br>（累計：1,375件、うち市内施設：744件） | 健康福祉・医療 | 事業所、飲食店等 | ― | 健康福祉局健康政策課 |
| 67 | こころの健康づくり事業（自死遺族等に対する支援事業補助） | 自死遺族に対する支え合いの活動を行っている団体を支援する。 | 補助金交付実績：3件 | 健康福祉・医療 | 社会福祉法人仙台いのちの電話他2団体 | 517 | 健康福祉局健康政策課 |
| 68 | せんだい健康づくり推進会議 | 健康づくりに取り組む関係団体および企業（ワーキング）と共に、健康づくりの取り組みを共有するほか、イベント実施等を通し、市民の健康づくり啓発に繋げる。 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会議は実施なし。令和2年度の会議の意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染症流行に左右されない活動量増加を促す取り組みとして、ウォーキングイベントを実施。 | 健康福祉・医療 | 健康づくりを推進する関係団体および企業 | ― | 健康福祉局健康政策課 |
| 69 | 収容動物の譲渡事業 | 動物管理センター（アニパル仙台）に収容された犬や猫の譲渡会を実施する。 | 収容動物譲渡会実施回数：42回 | その他 | 特定非営利活動法人エーキューブ、しっぽゆらゆら杜猫会 | ― | 健康福祉局動物管理センター |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 70 | 仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発および検査受検促進事業 | (1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進<br>HIV検査を必要とする人が安心して検査に行くことができるように情報提供ウェブサイトとして平成27年度に開設した、「仙台HIVネット」の運営を継続し、その周知および充実を図り、これまでHIV検査を受けたことがない方の受検を促進する。<br>(2)MSM（男性間性交渉者）を対象とした受検促進<br>HIV感染のハイリスク層であるMSMを対象とした広告掲載、広報物の配布を行い、検査受検を促進する。 | (1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進<br>・情報サイト「仙台HIVネット」の運営継続<br>閲覧件数：3,548件<br>・Twitterを用いた情報発信：エイズ・性感染症情報発信、「仙台HIVネット」のPR<br>(2)MSMを対象とした受検促進<br>・MSM向けアプリケーション（バナー）広告<br>掲載回数：年4回、合計6週間<br>・仙台市が行った「男性限定検査イベントin 仙台（10月）」、および世界エイズデー（12月）に合わせた検査機会増設について、啓発ポスター・カードを作成。市内のMSM向け商業施設に配布。<br>配布実績：2回、各10店舗、ポスター計40部、カード計350部） | 健康福祉・医療，その他 | やろっこ | 471 | 健康福祉局感染症対策室 |
| 71 | 赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会献血事業補助金交付 | 献血推進のため、赤十字奉仕団が行う献血事業の活動を支援する。 | 補助金交付実績：1件 | 健康福祉・医療 | 赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会 | 275 | 健康福祉局健康安全課 |
| 72 | 環境衛生改善機器等整備補助金交付 | ハエ・蚊等の駆除用として動力薬剤散布機、地域に繁茂する雑草の除草用として動力草刈機、下水道処理区域でない私道に布設する準公共的な排水設備を整備する事業に補助金を交付する。 | 補助金交付実績：39件 | 健康福祉・医療，環境 | 町内会、連合町内会、衛生団体連合会、公衆衛生組合 | 953 | 健康福祉局生活衛生課 |
| 73 | 仙台すくすくサポート事業 | 育児の援助を受ける方（利用会員）と育児の援助を行う方（協力会員）が会員となって行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行う。 | 日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。 | 子どもの健全育成 | 協力会員 | 4,133 | 子供未来局総務課 |
| 74 | のびすくネット仙台 | コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、子育て支援情報局「のびすくネット仙台」を放送している。毎週月曜日に仙台市の子育て支援の情報提供を行っている。 | 子育て支援に関する情報発信を行った。<br>放送回数：52回（うち半数は再放送） | 子どもの健全育成，その他 | ラジオ3（株式会社仙台シティエフエム） | — | 子供未来局総務課 |
| 75 | 市民協働事業提案制度採択事業：「SNSによる相談支援と地域の子どもの居場所づくりによる多様なアウトリーチ事業」 | 専用ホームページによる情報発信や支援制度をプッシュ型でお知らせするほか、メールを活用した相談や平日夜間・土日の対応、居宅への訪問による相談支援、区役所等支援機関への同行支援等を行う。 | 宮城野区でモデル事業を実施した。<br>登録人数：737人<br>のべ相談件数：5,286件<br>連携件数：133件 | 子どもの健全育成 | 特定非営利活動法人STORIA | 3,000 | 子供未来局子供支援給付課（子供家庭支援課） |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 76 | 学習・生活サポート事業 | 生活困窮世帯の中学生に対し、学力の向上のための学習支援および心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止することを目的とする。 | 平成25年度は太白区、平成26年度は太白区と青葉区でモデル事業を実施し、平成27年度より全区へ拡大した。<br>令和3年度参加者数：265人 | 健康福祉・医療，子どもの健全育成 | 特定非営利活動法人アスイク | 70,384 | 子供未来局子供支援給付課（子供未来局子供家庭支援課）、<br>健康福祉局保護自立支援課 |
| 77 | 子ども食堂助成金 | 子どもの健やかな育ちを応援するため、「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体に対し、事業費の一部を助成する。 | 助成金交付実績：39件 | 子どもの健全育成 | 「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体 | 9,847 | 子供未来局子供支援給付課（子供家庭支援課） |
| 78 | 仙台市青少年健全育成団体事業費等補助金交付 | 青少年の健全な育成を図るため、仙台市内で活動している青少年健全育成団体が行う事業等に対し補助金を交付する。 | 補助金交付実績：9件 | 社会教育，子どもの健全育成 | ガールスカウト仙台地区協議会、日本ボーイスカウト仙台地区協議会、仙台市保護司会連絡協議会、更生保護法人宮城東華会、社会を明るくする運動仙台市推進委員会、仙台市子ども会連合会、仙台市子ども会育成会連合会、仙台市青少年健全育成協議会、仙台市児童・青少年健全育成推進会議 | 4,330 | 子供未来局子供相談支援センター |
| 79 | 仙台市地域子育て支援クラブ等活動補助金交付 | 仙台市地域子育て支援クラブ事業実施要綱に定める組織として、本市内で設立し活動する地域子育て支援クラブ等の活動に要する経費の一部を助成する。 | 補助金交付実績：82件 | まちづくり，子どもの健全育成 | 仙台市地域子育て支援クラブとして登録されている団体および、それらの団体の連絡協議会 | 8,550 | 子供未来局子供相談支援センター |
| 80 | せんだいE-Action事業 | 市民、企業、行政などが協働して3E（省エネ・創エネ・蓄エネ）啓発に取り組むため「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、各種普及啓発を行う。 | ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、集客型のイベントおよび「伊達な節電所キャンペーン」を中止。<br>・Webを活用した取り組みとして、省エネ啓発動画の配信等を実施。（動画6本配信）<br>・緑のカーテンの普及（小学校2校）<br>・Webサイトたまきさんのリニューアルを実施 | 社会教育，まちづくり，環境 | せんだいE-Action実行委員会 | 9,501 | 環境局環境共生課 |
| 81 | 杜の都の市民環境教育・学習推進会議事業<br>（FEELSendai） | 市民・NPO・学校・事業者・行政等で構成する組織により、幅広いネットワークを活用しながら環境学習プログラムの実践や環境社会実験、啓発イベント等を企画し、環境に配慮する人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する。 | ・体験型環境学習プログラムを小学校等で実践した。<br>延べ実践件数：58件<br>・市民活動団体等による環境社会実験企画を募集・実施した。<br>延べ実施企画数：3件<br>・環境教育に携わる若い世代の育成事業を実施し、1人が修了した。 | 社会教育，まちづくり，環境，子どもの健全育成 | 杜の都の市民環境教育・学習推進会議 | 2,770 | 環境局環境共生課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 82 | アメニティ・せんだい推進協議会 | 市民団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置。平成29年度より市民参加を求める事業への提言および意見交換の場とする部会を設置。情報交換を行うほか、ごみ減量・リサイクルや環境美化を含めた環境問題について市民に広く訴えるため、イベントの開催や冊子の発行などさまざまな活動を行う。 | ・エコフェスタ2021：新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止<br>・3R講師派遣事業を実施した。<br>実施回数：3回<br>・冊子「3Rわかる本2022-23」を発行した。<br>発行部数：30,000部 | 環境 | 全環衛生事業協同組合、株式会社仙台市環境整備公社、一般社団法人仙台市集団資源回収業者協議会、特定非営利活動法人仙台・みやぎ消費者支援ネット、仙台市生活学校連絡協議会、みやぎ生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ、ACT53仙台、公益社団法人仙台青年会議所、仙台生ごみリサイクルネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク | 1,839 | 環境局家庭ごみ減量課 |
| 83 | 集団資源回収事業 | 資源物の有効利用を図るとともに、地域のコミュニティづくり等に資するため、地域における資源物（紙類・布類・アルミ缶等）の集団回収の実施団体に対し、回収量や実施回数に応じて、奨励金を交付するほか広報物の配付等を実施する。 | 実施団体に対し、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき、リーフレットを配布した。<br>実施団体数：1,238団体 | 環境 | 町内会、子ども会等 | 62,452 | 環境局家庭ごみ減量課 |
| 84 | 地域清掃支援 | 「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づく清掃活動支援。公共の場所を清掃する団体、個人などに対し、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。 | ごみ袋配布枚数：大袋315,017枚<br>小袋110,648枚 | 環境 | ボランティア清掃活動を行う市民、事業者、町内会等 | 8,753 | 環境局家庭ごみ減量課 |
| 85 | 仙台まち美化サポートプログラム | 市民グループ、企業、学校などの団体が年6回以上、公共用地等の一定の区域を決めて清掃、除草等を行う場合、覚書を締結の上、ごみ袋の提供、火ばさみの貸出し、ごみの収集などの支援をする。 | 登録団体数：276団体 | 環境 | ボランティア清掃活動を行う市民グループ、企業、学校等 | — | 環境局家庭ごみ減量課 |
| 86 | クリーン仙台推進員制度 | ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。 | クリーン仙台推進員：2,423人<br>クリーンメイト：1,535人 | 環境 | 町内会、クリーン仙台推進員、クリーンメイト | 7,718 | 環境局家庭ごみ減量課 |
| 87 | 地域ごみ出し支援活動促進事業 | ごみ出しが困難で一定の要件を満たす高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体を対象に、活動実績に応じ、奨励金を交付する。 | 登録団体数：42団体<br>支援世帯数：74世帯（※実績報告のあった世帯数）<br>支援実施回数：5,355回 | 健康福祉・医療，環境 | 高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体 | 737 | 環境局家庭ごみ減量課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 88 | 中心部商店街活性化促進事業 | 市中心部の8商店街振興組合等で構成される中心部商店街活性化協議会の運営の支援と中心部商店街の持続的発展のために賑わい創出や来街機会向上を推進する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催は見送ったたものの、中心部商店街活性化協議会の各種会議や打ち合わせへの参加を通じて、安定的な自走化の支援を行った。 | まちづくり，地域経済活性化 | 中心部8商店街振興組合（名掛丁、クリスロード、おおまち、サンモール一番町、一番町一番街、一番町四丁目、本町、仙台朝市） | — | 経済局商業・雇用支援課（地域産業支援課） |
| 89 | 商店街にぎわい創出事業・基盤整備支援 | 商店街等が地域の特性を生かし、交流人口拡大等にかかるイベント事業により地域のコミュニケーションを高め活力ある商店街づくりを行うためのイベント助成金をはじめ、商店街のソフト・ハード事業等を支援し商店街の持続的な活性化を図る。 | 商店街イベント助成事業：3件<br>商店街魅力向上支援事業：1件<br>商店街ブラッシュアップ事業：1件<br>商店街交流促進事業：1件<br>商店街集客力向上事業（商店街ファンづくりサポート事業）：0件 | まちづくり，地域経済活性化 | 商店街振興組合および任意の商店会等 | 2,879 | 経済局商業・雇用支援課（地域産業支援課） |
| 90 | 東北大学IIS研究センター | 東北大学電気・情報系研究室と企業とのマッチング・コーディネート等により、域外の研究開発型企業との共同研究開発等の推進を通じて誘致活動を実施し、併せて、地域のIT関連企業の技術力向上や販路拡大・新ビジネス参入を支援する。 | 延べ来訪数：53社<br>延べ訪問数：522社<br>延べWEB会議数：1,188社<br>競争的資金獲得支援：3件 | 地域経済活性化 | 東北大学 | 24,016 | 経済局産業振興課 |
| 91 | せんだい日本語講座 | 外国人住民を対象に行う日本語講座。青葉区中央市民センターを会場に、前期、後期と通年で基礎から上級まで13クラス実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。 | 講座開催数：579回<br>受講者数：前期67人、後期65人 | 社会教育，国際交流・協力 | 特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会 | 1,826 | 文化観光局交流企画課 |
| 92 | 日本語ティールーム | 外国人住民を対象に行う日本語講座（託児付）。八木山市民センターを会場に通年で実施する。講師は日本語ティールームボランティアが務める。 | 講座開催数：69回<br>受講者数：30人 | 社会教育，国際交流・協力 | 日本語ティールームボランティア | 300 | 文化観光局交流企画課 |
| 93 | 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス　宮城 | 日本語を母語としない親子のために、高校進学についての相談対応を行う。 | 「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス　宮城」を8月に実施し、高校進学に関する説明、教員からのアドバイス、進路相談を行った。オンライン配信を併用し、来場できない参加者が通訳付きで参加できるよう試みた。<br>参加者数：23人 | 国際交流・協力，子どもの健全育成 | 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会、宮城県国際化協会等 | 70 | 文化観光局交流企画課 |
| 94 | 外国につながる子どもサポートせんだい | 日本語を母語としない外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの支援を行う。 | 外国につながる子どもに関する相談対応およびコーディネーター派遣による支援の実施<br>相談受付数：19件<br>コーディネーター派遣：22件 | 国際交流・協力，子どもの健全育成 | 外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、外国人支援の会OASIS | 420 | 文化観光局交流企画課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 95 | 日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室 | 日本語を母語としない小中学生の学習の場を提供し、ボランティアによる日本語や教科の指導を行う。 | 「日本語を母語としない子どものための夏休み教室」を8月4日～5日の2日間オンラインで実施し、教科学習および日本語学習を行った。<br>参加者数：外国につながる子ども13人 | 国際交流・協力，子どもの健全育成 | 宮城教育大学等 | 10 | 文化観光局交流企画課 |
| 96 | 仙台多文化共生センター相談業務 | 仙台多文化共生センターにて、各種相談サービスを行う。 | 相談受付数：3,027件<br>（日本人：1,029件、外国人：1,998件） | 社会教育，まちづくり，国際交流・協力 | 外国人支援の会OASIS | 13,251 | 文化観光局交流企画課 |
| 97 | 市民国際交流事業補助金 | 国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体に対して、事業経費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：7件 | 国際交流・協力 | 国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体 | 572 | 文化観光局交流企画課 |
| 98 | 秋保・作並定義・泉西部観光振興事業 | 主要観光地である仙台西部地区（秋保地区、作並定義地区および泉西部地区）において、観光資源を活用した誘客促進や観光客の受入環境整備等の観光振興を目的とした事業について助成する。 | 助成金交付実績：17件 | まちづくり，地域経済活性化 | 仙台西部地区に所在地を有し、観光振興を目的として活動している観光協会、旅館組合、商工会、その他観光推進団体 | 12,281 | 文化観光局観光課 |
| 99 | 全日本大学女子駅伝対校選手権大会 | 大学女子日本一を決める駅伝大会を実施する。 | 全日本大学女子駅伝対校選手権大会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、沿道応援の自粛を要請した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 市学区民体育振興会連合会 | 14,250 | 文化観光局スポーツ振興課 |
| 100 | スポーツコミッションせんだい | 大規模スポーツ大会の開催・支援等による本市の地域活性化を図る。 | スポーツイベントについての開催支援数：1件（新型コロナウイルス感染症の影響で一部の大会を中止）<br>大会誘致数：8件 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | スポーツボランティア団体、大学、報道機関、運輸機関 | 3,361 | 文化観光局スポーツ振興課 |
| 101 | 仙台市学区民体育振興会連合会育成補助 | 小学校区ごとに組織された学区民体育振興会の集合体で、地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進める。 | 仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 市学区民体育振興会連合会、117学区民体育振興会 | 17,311 | 文化観光局スポーツ振興課 |
| 102 | 仙台市スポーツ協会育成補助 | 種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なるスポーツ精神を養成する。 | 仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 市スポーツ協会、区スポーツ協会 | 17,523 | 文化観光局スポーツ振興課 |
| 103 | 仙台市レクリエーション協会育成補助 | 市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と発展を図る。 | 仙台市レクリエーション協会が行うレクリエーションの普及・発展に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 市レクリエーション協会、区レクリエーション協会 | 486 | 文化観光局スポーツ振興課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 104 | 公益財団法人仙台市市民文化事業団事業（支援・助成・協力） | 市民の自主的な文化活動を支援し、新たな文化交流・創造・発信を図るための支援を行う。<br>①助成事業：審査会を経て、評価項目に該当する事業の経費の一部を助成する。<br>②協力事業：イベント等の制作面での協力を行う。<br>③支援事業：公益財団法人仙台市市民文化事業団のホームページ等を活用し、市民企画事業などの発信、広報支援を行う。 | ①助成金交付実績：101件<br>②協力件数：75件<br>③支援件数：75件 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 事業を主催し実施する市内の団体（個人）、事業を主催し市内で実施する市外の団体（個人） | 14,809 | 文化観光局文化振興課 |
| 105 | 仙台市文化プログラム | 【SHIRO Atelier ＆ Studio ― ともにつくる芸術劇場】<br>美術・演劇・舞踊・音楽・メディア芸術など多様な表現を介し、障害のある人たちの自由で規範にとらわれない表現を導きだす文化芸術活動を支援・推進していく。<br>・環境づくり（事業の公益化）：ネットワーク設置、情報交換、ワークショップ型勉強会の実施<br>・表現の場づくり（裾野拡大）：文化施設を活用した定期的なアトリエ&スタジオ事業<br>・芸術作品の創造（才能の発掘育成）：芸術性、話題性、革新性、独創性をともなう作品の創造<br>・文化プログラムの評価と検証（社会的インパクト評価）：障害のある人たちの芸術文化活動に関するショウケースとシンポジウム開催 | ①勉強会（計1回）<br>参加者：14人<br>②アトリエ&スタジオ事業（計10回）<br>参加者：128人<br>③パフォーマンス・フェスティバル出演<br>参加者：33人<br>④障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市<br>来場者：2,097人 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン | 4,149 | 文化観光局文化振興課 |
| 106 | | 【こどもおとなあそびなかまプロジェクト！のびのびーば！】<br>PLAY ART!せんだい（演劇企画集団LondonPANDA、特定非営利活動法人アートワークショップすんぷちょ、および特定非営利活動法人お茶っこケアによる協働グループ）と協働して、子どもと高齢者が共に演劇やダンス活動を楽しみ、遊び、交流する場を創造する。 | 1. 年配者を対象とした演劇創作活動<br>①英日共同制作演劇公演『炎：Honō』<br>参加者：13人 来場者：160人<br>②演劇ワークショップおよび成果発表（計7回）<br>参加者：7人　来場者：54人<br>2. 演劇教育プロジェクト<br>①小学校での演劇ワークショップ（2小学校・各3回）<br>参加者：172人<br>②演劇教育フォーラム＆報告会（オンライン）<br>参加者：30人<br>③共につくる子どものための演劇プログラム＆フォローアップ研修会（計2回）<br>参加者：12人 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | PLAY ART!せんだい | 3,196 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 107 | まちづくり支援専門家派遣事業 | 【芭蕉の辻地区】<br>地権者や関係機関と共に、次世代に継承していく新たな「芭蕉の辻」および大町通りエリア（道路および沿道民地）のあり方について協議し、まちづくりとして官民連携で取り組むため、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。 | アドバイザーを派遣し、情報共有や検討会議などを実施した。<br>派遣回数：計4回 | まちづくり | 芭蕉の辻まちづくり協議会 | 200 | 都市整備局都市計画課、<br>青葉区道路課 |
| 108 | | 【あすと長町北部地区】<br>杜の広場や民間集客のポテンシャルを最大限生かし、杜の広場を起点に賑わいを創出するとともに、商店街等を含む地域の回遊性を高めることで、長町地区の中長期的な価値向上につなげるため、まちづくりアドバイザーを派遣し、支援を行う。 | 勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。<br>派遣回数：計5回 | まちづくり | 杜の広場にぎわいづくり協議会 | 250 | 都市整備局都市計画課、<br>地下鉄沿線まちづくり課 |
| 109 | | 【片平地区】<br>地域福祉の観点から災害時要援護者登録制度を主軸とし、地区全体の支え合いや、広瀬川、仙台城址、青葉山、青葉通などとの相乗的に魅力を高め、自然と都市機能が調和する「片平まちなかテラス構想」の実現のため、団体に対してまちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。 | コンサルタントを派遣し、検討会議などを行った。<br>派遣期間：4月24日～令和4年3月24日 | まちづくり | 片平地区まちづくり会 | 913 | 都市整備局都市計画課、<br>青葉区まちづくり推進課 |
| 110 | | 【元寺小路地区】<br>公園・広場のポテンシャルや利用ニーズを調査し、地域住民等が担い手となって公園を運営していくための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。 | アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。<br>派遣回数：計5回 | まちづくり | 1,2号公園および藤村広場におけるイベント活性化委員会 | 250 | 都市整備局都市計画課、<br>宮城野区公園課 |
| 111 | | 【榴岡一丁目二番地区】<br>来街者と地区内の人々など、様々な世代の交流拠点を創出することを目的とし、併せて賑わいを宮城野通の東側に向けて連鎖的に広げるために勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。 | アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。<br>派遣回数：計5回 | まちづくり | 榴岡一丁目二番地区再開発推進協議会 | 250 | 都市整備局都市計画課、都心まちづくり課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 112 | [前ページ続き]<br>まちづくり支援専門家派遣事業 | 【中原地区】<br>地域の活性化を図りながら、災害に対する安全性・防災性の向上と良好な生活環境の形成に取り組み、幅広い世代が安心して住むことが出来るまちづくりに取り組むことを目的とした勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。 | アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。<br>派遣回数：計10回 | まちづくり | 中原振興会　まちづくり部会 | 500 | 都市整備局都市計画課、宮城野区街並み形成課 |
| 113 | | 【宮町地区】<br>門前町にふさわしい活気に満ち、安全・安心な宮町（宮町通り）の実現に向けて、その歴史的・文化的価値を改めて確認・共有しながら、地域に必要な取り組みや「無電柱化」を含めた宮町・宮町通りのあり方などについて地域住民の間で再確認するため、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。 | アドバイザーを派遣し、検討会を実施した。<br>派遣回数：計10回 | まちづくり | 「お宮町」まちづくり協議会準備会 | 500 | 青葉区まちづくり推進課 |
| 114 | | 【仙台駅北部地区】<br>地域のにぎわいづくりと来街者の増加による商業の振興のため、名掛丁地下歩道の環境改善に向けたワークショップの実施、東西それぞれの地区におけるまちづくり活動の連携を図るため、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。 | アドバイザーを派遣し、検討会やアンケートを実施した。<br>派遣回数：計10回＋アンケート | まちづくり | 名掛丁地下歩道リノベーション事業推進協議会準備会 | 600 | 都市整備局都市計画課 |
| 115 | 東部地域移転跡地利活用推進事業 | 防災集団移転後の七北田川以南の5地区（南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚）の跡地について、市民・事業者など、民間が自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進める。 | ・事業者決定数：4事業者（累計18事業者）<br>・事業開始事業者数：3事業者（累計12事業者） | まちづくり | 移転跡地利活用事業候補者 | 719,619 | 都市整備局市街地整備課 |
| 116 | 生活交通運行維持対策事業 | 【青山地区】<br>青山地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。 | 青山地区交通検討会での検討の場に参加し、地域住民、関係するバス事業者や区役所とともに検討を行った。安全なバスの運行のために設置した大型車感知システムの維持管理を行った。 | まちづくり | 青山地区交通検討会 | 567 | 都市整備局地域交通推進課 |
| 117 | みんなで育てる地域交通乗り乗り事業 | 【燕沢地区】<br>燕沢地区において、地域が主体となって運営する燕沢乗合タクシー「のりあい・つばめ」の取り組みを支援する。 | 乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。 | まちづくり | 燕沢乗合タクシー運営協議会 | 5,401 | 都市整備局地域交通推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 118 | [前ページ続き]<br>みんなで育てる地域交通乗り乗り事業 | 【坪沼地区】<br>坪沼地区において、地域が主体となって運営する坪沼乗合タクシー「つぼぬま号」の取り組みを支援する。 | 乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。 | まちづくり | 坪沼乗合タクシー運営協議会 | 1,996 | |
| 119 | | 【新川地区】<br>新川地区において、地域が主体となって運営する新川地区地域交通「八ツ森号」の取り組みを支援する。 | 地域交通の運行に関する専門家（コンサルタント）を派遣した。試験運行を支援するため補助金を交付した。 | まちづくり | 新川地区地域交通運営検討会 | 10,457 | |
| 120 | | 【秋保地区】<br>秋保地区において、地域が主体となって運営する秋保地区地域交通「ぐるりんあきう」の取り組みを支援する。 | 地域交通の運行に関する専門家（コンサルタント）を派遣した。試験運行を支援するため補助金を交付した。 | まちづくり | 秋保地区の交通を考える会 | 10,447 | |
| 121 | | 【生出地区】<br>生出地区において、地域が主体となって生出地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。 | 地域交通の運行に関する専門家（コンサルタント）を派遣した。 | まちづくり | 生出地区交通検討会 | — | |
| 122 | マンション管理適正化推進事業 | マンション管理の適正化の推進のため、専門家団体・行政等が、マンションの管理組合の管理運営を支援する。<br>市はマンション管理支援ネットワーク事業の委託、会議への参加等を、宮城県マンション管理士会は、マンション管理基礎セミナー等の企画立案や事務局としてネットワーク構成団体との調整を、その他の団体は各種事業の実施に伴う人的派遣や知的情報の提供を行う。 | ・情報提供啓発事業<br>マンション管理基礎セミナー：2回<br>公開相談会（セミナー併設）、<br>交流会（セミナー併設）、<br>相談窓口等一覧の作成および<br>管理組合向けに配布<br>・ネットワーク運営<br>全体会議（1回）、<br>運営会議（5回）、<br>各種部会（計7回）<br>・各団体相談事業（日常の相談対応、公開相談会の開催等）<br>・ワークショップ（1回）<br>・連合町内会意見交換会（1回） | その他 | マンション管理支援ネットワークせんだい・みやぎ（事務局：一般社団法人宮城県マンション管理士会） | 3,686 | 都市整備局住宅政策課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 123 | 住民モビリティ・マネジメント | 住民、行政が参加するワークショップを開催し、公共交通に関する情報の提供を行うとともに、住民が公共交通機関の利用について考える機会と場の提供を行い、自発的な行動変容を促すことで、過度な自動車利用からの脱却および路線バス利用の促進を図るもの。 | 川平、鶴ケ谷地区にてワークショップを開催し、公共交通利用促進の動機付けを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し不特定多数の人が集まるワークショップは開催せず、地域の代表である町内会やPTAとの意見交換を行った。また、同地区の住民へ公共交通の利用状況や主なお出かけ先などについてアンケートを行い、回答を参考に行動変容を促すためのツール等を作成した。 | まちづくり | 川平地区関係町内会、川平小学校PTA、鶴ケ谷地区関係町内会 | 4,745 | 都市整備局公共交通推進課 |
| 124 | まち再生・まち育て活動支援事業 | 【仙台駅東地区】<br>仙台駅東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。 | 地域のエリアマネジメント団体が主体的に行う、民有地や道路や公園などの公共空間を利活用した回遊性の向上、賑わいの創出に資する取り組みについて支援を行った。<br><br>仙台都市再生まちづくり団体の認定：1件<br>宮城野通での社会実験の実施支援：1件 | まちづくり | 仙台駅東まちづくり協議会 | 7,997 | 都市整備局都心まちづくり課 |
| 125 | | 【肴町地区】<br>肴町公園周辺エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。 | 肴町公園周辺エリアのエリアビジョンを検討するためのプラットフォームの構築、エリアビジョン骨子案の作成を行った。また、道路占用許可のコロナ占用特例を活用したテラス営業などを支援した。<br><br>協議組織の立上げ：1件 | まちづくり | 肴町公園周辺エリアまちづくり協議会 | 3,000 | 都市整備局都市計画課、都心まちづくり課 |
| 126 | | 【荒井東地区】<br>荒井東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。 | エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペース等を使った実験的な試み（イベントの開催）の企画支援を行った。<br><br>民有地対象物件数：1件<br>公共空間対象物件数：0件 | まちづくり，文化・芸術・スポーツ・学術，地域安全活動 | 一般社団法人荒井タウンマネジメント | — | 都市整備局地下鉄沿線まちづくり課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 127 | ストック活用型都市再生推進事業（せんだいリノベーションまちづくり） | 遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。<br>また、民間不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進することでエリア全体の価値を高め、新たな賑わいを創出するとともに、魅力ある都市空間の構築を目指す取り組みを行う。 | 過年度に実施したスクールの受講生等が主体となり、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み（イベントの開催）への支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により出来なかった。民間対象不動産物件では、せんだいリノベーションまちづくり実行委員会のメンバーが青葉通沿道に所有する民間ビルを複合施設「大町Blank」にリノベーションした。<br><br>セミナー等の開催数：0回<br>（平成28年度からの回数：計8回（市3回、民間5回））<br>民間不動産対象物件数：1件<br>（平成28年度からの延べ対象件数：10件）<br>公共空間対象物件数　：0件 | まちづくり | せんだいリノベーションまちづくり実行委員会の委員が主体となる地域団体 | — | 都市整備局都心まちづくり課 |
| 128 | 市民協働事業提案制度採択事業：肴町スモールエリアマネジメントに向けた社会実験 | 肴町公園や肴町公園周辺の街路空間等のパブリックスペースに関する基礎調査、地域ワークショップの実施、広報誌の発行、肴町公園とその周辺の街路空間における社会実験を行い、地域コミュニティの核となる公共空間の創造に向けた議論と課題抽出を行う。 | 道路や公園の基礎調査（居心地の良さを図る評価）・広報誌やSNSによる情報発信を行った。<br>10月1日～令和4年3月31日まで晩翠通および広瀬通の歩道空間にテラス席を設置する社会実験を実施した。<br>肴町公園での社会実験にかかる小規模拠点施設の一部整備を実施した。 | まちづくり | 肴町公園周辺エリアまちづくり協議会 | 3,000 | 都市整備局都心まちづくり課 |
| 129 | 私道等整備補助 | 私道等の整備補助金交付要綱に基づき、町内会等が一般公衆の用に供されている私道の整備または災害復旧を行う場合、一定の要件を満たすものについて市がその経費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：24件 | 地域安全活動 | 町内会等 | 93,749 | 建設局道路管理課 |
| 130 | 街路灯整備補助 | 仙台市街路灯補助金交付要綱に基づき、町内会等が私道に街路灯を設置する場合に、市がその経費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：141件 | 地域安全活動 | 町内会等 | 19,048 | 建設局道路管理課 |
| 131 | 街路灯電気料補助 | 町内会等が私道に設置している街路灯の電気料について、市がその経費の一部を補助する。 | 補助金交付実績：582件 | 地域安全活動 | 町内会等 | 26,994 | 建設局道路管理課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 132 | 仙台雪道おたすけ隊 | 市が管理する道路の除雪を行う地域の任意団体を対象に、凍結防止剤の提供や除雪作業物品等の貸与を行う。 | 登録団体数：75団体<br>（うち令和3年度登録団体数：7団体） | 地域安全活動 | 仙台雪道おたすけ隊登録団体 | — | 建設局道路保全課 |
| 133 | 仙台市歩道等除雪機械購入補助金 | 市が管理する道路の除雪を行う団体を対象に、小型除雪機械の購入に対し、購入金額の9割を補助する。 | 補助金交付団体数：123団体<br>（うち令和3年度補助金交付団体数：3団体） | 地域安全活動 | 仙台雪道おたすけ隊登録団体、町内会 | 647 | 建設局道路保全課 |
| 134 | ふるさとの杜再生プロジェクト | 復興のシンボルのひとつとなる事業として、市民・NPO・企業等の力を結集し、海岸防災林や海岸公園、居久根など、東部地域のみどりの再生に取り組んでいく。<br>また、地元町内会、NPO、復興支援団体、緑の活動団体、仙台市公園緑地協会等が参加する「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を設置し、プロジェクトへの市民参加のプラットホームとする。 | ・仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議開催数：6回<br>・市民植樹の実施回数：0回（開催直前の地震により中止）<br>・市内の児童生徒との協働による植樹・育樹：3回（吉成小学校、東北学院高校、仙台第一高校）<br>・育樹会の実施回数：5回 | まちづくり，環境 | 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議 | 32,132 | 建設局百年の杜推進課 |
| 135 | 緑の活動団体の認定<br>緑の活動団体助成金 | みどりの協働の担い手を得ること、市民が広くみどりづくりに参加しやすい環境をつくることを目的に、「杜の都の環境をつくる条例」に基づき、緑の保全・創出・普及活動を行う団体を認定する。また、その活動に対し助成金を交付する。 | 緑の活動団体認定団体数：27団体<br>助成金交付実績：2件 | まちづくり，環境 | 緑の活動団体 | 119 | 建設局百年の杜推進課 |
| 136 | 花壇づくり助成事業 | 地域の公有地（学校除く）に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。 | 公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績：267件 | まちづくり，環境 | 地域団体等 | 9,757 | 建設局百年の杜推進課 |
| 137 | 花いっぱいまちづくり助成事業 | 道路や広場等公共の空地、道路に面するショーウィンドウ等にプランター・花壇・つり花などを設置する商店街を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。 | 公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績：6件 | まちづくり，環境 | 商店街 | 2,281 | 建設局百年の杜推進課 |
| 138 | 市民協働事業提案制度採択事業：「花降るペデストリアンデッキ」 | ペデストリアンデッキに「杜の都、仙台」としての風景を作り出すことを目的とし、宿根草や樹木を基本としたナチュラリスティックガーデンを作る。 | 4月に仙台駅前ペデストリアンデッキの植栽帯で、草花の維持管理、5月に植栽を行ったまた映画上映会・トークショーを開催し、植物を見る人の関心を引く仕掛けづくりを行った。 | まちづくり | 一般社団法人花降る街仙台 | 3,000 | 建設局百年の杜推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 139 | 仙台市公園愛護協力会 | 公園ごとに組織され、公園の除草清掃、遊具施設の点検通報活動、園芸講習会や適正利用等に関する公園愛護思想の普及など地域におけるきめ細かな活動に取り組み、地域コミュニティづくりにも貢献する。 | 結成数：1,324団体 | まちづくり，環境 | 仙台市公園愛護協力会各会 | 41,913 | 建設局公園管理課（公園課） |
| 140 | 仙台市河川愛護会 | 河川環境美化活動を地域社会の運動として広く普及・推進するため、各河川愛護団体の連合組織として昭和43年に結成。現在では、20団体が加盟し、各愛護団体が市域内の河川・水路の美化活動に取り組む。 | 延べ延長：891,894m<br>延べ参加人数：11,508人 | 環境 | 仙台市内の各河川愛護団体 | 1,300 | 建設局河川課 |
| 141 | 広瀬川1万人プロジェクト | 杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、毎年春と秋に行う広瀬川流域一斉清掃をはじめとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開する。 | 春の一斉清掃は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。<br>秋の一斉清掃のみ実施した。<br>参加人数：1,073人<br>回収ごみ量：208袋（回収ごみ量は家庭用ゴミ袋大換算） | まちづくり，環境 | 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 | — | 建設局百年の杜推進課（河川課） |
| 142 | 区民協働まちづくり事業−企画事業：仙台伝統ものづくり塾 | 仙台の地域に残る伝統民芸を理解し、ものづくりを体験することで歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと、体験を通して得た達成感や知識を家庭、地域や職場で話題として取り上げ広く周知していく。 | 10月には「仙台みそお渡しの会」、11月には堤焼に関する全3回の連続講座、1月には仙台張り子の製作体験（コロナにより中止となったが、希望者に体験用張り子をお渡し）を行った。<br>参加者数：みそお渡し会7人、堤焼講座10人 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 仙台伝統ものづくり塾実行委員会 | 65 | 青葉区まちづくり推進課 |
| 143 | 区民協働まちづくり事業−企画事業：仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演 | 仙台のひとや歴史、民話、名産物など次代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居を企画制作し、さまざまな機会や場所において上演するもの。紙芝居上演体験を実施し、上演者の養成も行っている。 | 地底の森ミュージアムや区民まつり代替イベントでの紙芝居上演会を行った。紙芝居の貸出、販売も行っている。<br>貸出：22件、販売：4作品 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会 | 81 | 青葉区まちづくり推進課 |
| 144 | 区民協働まちづくり事業−企画事業：ほたるの里づくり | ホタルに関するイベントなどを通じて、大勢の区民のホタルに対しての関心と、ホタルを大切にする運動を盛り上げるとともに、ホタルの保護や、その生息環境の維持保全等に努めている。 | ホタルが住める環境づくりのための水辺の清掃活動や、各地区でホタル観賞会を開催した。また、令和2年度から「ホタルの里親の会」を立ち上げ、飼育することを通して自然環境の維持保全等に積極的に関わる人材の育成に取り組んだ。 | まちづくり，環境 | 仙台市ほたるの里づくり協議会 | 1,000 | 青葉区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 145 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：回文の里づくり事業 | 「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を生かし、回文をことば遊びの文化として発展させるとともに、作並地区の魅力あるまちづくりを目的として、「子ども回文コンクール」や「回文コンテスト・交流大会」などを企画、開催する。 | 「夏休み子ども回文コンクール」、「第24回日本ことば遊び回文コンテスト」の開催、回文クイズや回文教室の実施、回文PRグッズ作成等を行った。 | 地域経済活性化 | 仙台・作並回文の里づくり実行委員会 | 700 | 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 |
| 146 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：仙台市宮城地区市民文化祭 | 宮城地区の芸術文化の伝承および創造の発展・向上を図ることを目的として、毎年、地区内の伝統芸能をはじめとした文化活動団体のさまざまな部門の作品展示やステージ発表を行う「仙台市宮城地区市民文化祭」を開催する。 | 11月5日～7日までの間、広瀬市民センター、広瀬文化センターを会場に舞踊、郷土芸能、伝統文化の発表会、工芸作品や写真等の展示、呈茶席を実施した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 仙台市宮城地区市民文化祭実行委員会 | 450 | 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 |
| 147 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：宮城地区まつり | まつりにかかわる人の交流によりコミュニティの活性化を図るとともに、観光資源や伝統文化などの情報を発信して、地域活性化やふるさと意識を喚起することを目的として地区まつりを開催する。 | まつりは中止となったが、コロナ禍におけるさまざまな人たちの思いを伝え、次年度のまつり開催への期待を高めることを目的とし、10月30日～11月6日までの間、代替イベント「MIYAGIイルミネーションPLUS～ありがとうを伝えよう～」を開催した。 | まちづくり | いきいき宮城地区推進協議会、宮城地区まつり実行委員会 | 1,368 | 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 |
| 148 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：大倉ダムの魅力発信事業 | 地域資源である大倉ダムを活用し、人口減少の続く仙台西部地区への交流人口の拡大と、西部地区の小中学校の児童生徒が描いた鯉のぼりを掲げることで、児童生徒の郷土愛を育むことを目指す。 | 5月1日～5日までの間、大倉ダムの堤体やダム下公園に西部地区の小中学校の児童生徒が描いた鯉のぼり等を設置し、大倉ダムとその周辺の魅力を発信した。 | まちづくり,地域経済活性化 | 大倉ダムの魅力発信実行委員会 | 500 | 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 |
| 149 | 区民協働まちづくり事業-助成事業（青葉区） | 【環境教育と地域交流の融合】<br>学校林の自然保護活動を学校や地域住民が一体となって行い、地域の幅広い世代が自然と触れ合える工夫を凝らしたイベントも開催することで、地域をつなぐ交流活動を推進する。 | 青陵の森のスズメバチの駆除、自然観察会の実施、森のジオラマの制作などを行った。 | 環境 | 特定非営利活動法人珀杜 | 92 | 青葉区まちづくり推進課 |
| 150 | | 【定禅寺リビングストリートプロジェクト】<br>顔が見える日常的な賑わいづくりのため、テーブルセットやベンチ等を歩道のケヤキ間に設置し、出店イベント等を実施することで、コミュニティの場の創出を目指す。 | 定禅寺通の歩道にテーブルセットやベンチを設置する「定禅寺リビングストリート」やマルシェの開催、ハロウィンフォトスポットの設置などを行った。 | 地域経済活性化 | 定禅寺リビングストリートプロジェクト | 500 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 151 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-助成事業（青葉区） | 【「栗生流　謡の源流をたずねて」の出版】<br>「栗生流」と呼ばれる謡の調査を行い、その結果を編集し記録をデータ化することで、幅広い世代に地域の歩んできた独特な歴史を伝え、地域間交流の推進を目指す。 | 「栗生流　謡の源流をたずねて」を出版した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 栗生の民俗をたずねる会 | 350 | |
| 152 | | 【仙台市中心部におけるアート交流による魅力づくり事業】<br>オンラインを活用しながら市民参加型のアートワークショップや展覧会等を開催する。障害者が孤立しない居場所づくりや、仙台市中心部の賑わい創出を目指す。 | オンラインライブやオンライン企画展、サンモール一番町内でのハロウィンイベントなどを実施した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 一般社団法人アート・インクルージョン | 250 | |
| 153 | | 【「ライトアートin折立」】<br>子どもが参加できる地域独自の行事としてライトアートを定着させ、大人世代も子ども世代も地域への愛着やふるさととの認識を向上させることを目指す。 | 12月に折立公園での光の装飾イベント「ライトアートin折立」を開催した。 | まちづくり | 折立素敵物語実行委員会 | 297 | |
| 154 | | 【落合栗生地区史跡等の歴史めぐり事業】<br>落合栗生地区の歴史や史跡等について案内板を設置し、永く伝えるための継承者づくりもすすめることによって、地域への愛着心の向上や住民同士の結びつき強化へつなげる。 | 史跡等2か所への案内板の設置、JR陸前落合駅前に「地域めぐり総合案内板」の設置を行ったほか、チラシの配布やポスターの掲示、来訪者へのガイドのための会員の研修を行った。 | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | 「落合栗生地区歴史めぐり」運営委員会 | 313 | |
| 155 | | 【白沢カルデラ・広瀬川ジオパーク構想】<br>白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を生かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指す。地域内の町内会や関係団体等との連携を強化し、地域コミュニティの活性化を図る。 | 白沢カルデラの調査やパネル・写真展の開催などを行った。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 白沢カルデラプロジェクト実行委員会 | 200 | |
| 156 | | 【青葉の風テラスを活用した屋外DJイベントにおける新たなコミュニティづくり】<br>市営地下鉄駅併設の屋外テラスを利用し、ウィズコロナ時代に即したDJイベントを開催する。ワークショップや県内食材を使用したテイクアウト等も実施し、幅広い世代が楽しめる機会を生み出す。 | 屋外テラスを利用したDJイベントを開催した。 | まちづくり | 一般社団法人　IKI ZEN | 500 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 157 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-助成事業（青葉区） | 【世界のハッピーは青葉区ママのハッピーからProject!～青葉区以外の方も大歓迎to the world～】<br>スペシャルゲストを招いて親子で楽しむことのできるオンラインライブイベントを開催し、子育て世代における人と人の繋がりを強化することで、地域コミュニティの活性化を図る。 | 親子で楽しめるオンラインイベントやカフェでのパンづくり体験などを行った。 | 子どもの健全育成，その他 | セカハピ団　仙台青葉本部 | 400 | |
| 158 | 未来につなぐ地域力推進事業：学生の参加による地域づくり推進事業 | 大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげる。 | 地域での活動を希望する学生団体等と地域団体とをマッチングし、学生団体の地域のイベントへの参加を促した。<br>マッチング実績：1件<br>登録団体数：7団体（3団体増） | まちづくり | 町内会等の地域団体、仙台市内の学生団体（サークル等） | 256 | 青葉区地域力推進担当 |
| 159 | 未来につなぐ地域力推進事業：仙台萬本さくらプロジェクト | 青野木地区･大倉地区において、住民･事業者･行政等からなる実行委員会を設置し、桜の名所づくりをはじめとする各種活性化事業に取り組む。 | 桜の苗の植樹本数：約1,500本 | まちづくり | 仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会 | — | 青葉区宮城総合支所地域活性化推進室 |
| 11と同一事業 | 未来につなぐ地域力推進事業：作並･新川地区活性化事業 | 作並･新川地区において、町内会･自治会、事業所、各種団体等が連携して、協議会を設置し、地域活性化に向けた取り組みを行う。 | 仙台市協働まちづくり推進助成事業を活用して、平成30年度に作成した活性化プランに基づき、地域活性化に向けた活動を行った。 | まちづくり | 特定非営利活動法人作並･新川地区活性化連絡協議会 | 140 | 青葉区宮城総合支所地域活性化推進室 |
| 160 | 未来につなぐ地域力推進事業：先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決事業 | 高齢化や人口減少が急速に進む宮城地区西部において、休耕地の増加や学校の統廃合に伴う跡地利用、鳥獣害の増加などの様々な問題をICT等の先進的な技術を用いて解決する。 | 検討会議：年4回実施<br>･個人所有の携帯端末を用いた電子回覧システムの実証を行った。<br>･農業の効率化、高収益化を目指し、農薬や肥料を使用しない早期湛水深水管理水稲栽培の2年目となる実証を行った。 | まちづくり | 宮城地区西部地域課題検討会議 | 19,648 | 青葉区宮城総合支所地域活性化推進室 |
| 161 | 戦災復興展 | 昭和20年7月10日の仙台空襲で大惨事となった仙台のまちの復興に力を注いだ方々への感謝の念を新たにする場として、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催する。 | 戦災復興展を各種団体の協力により開催した。<br>来場者数：2,756人 | 社会教育，まちづくり | 仙台の戦災･復興と平和を語り継ぐ会等 | 1,500 | 青葉区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 162 | 青少年健全育成事業<br>子供のための日本語講座<br>「さっと日本語クラブ」 | 在仙の外国籍児童・生徒が学校や地域での言葉や生活上の不安、困難を解消し、また普段の授業で使用している教科書等をもとに日本語を学ぶことで、学校教育の補完的役割を果たす。<br>事業運営は「特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会」への委託事業としており、増加傾向にある外国人子女への学習の場として、今後の需要の増加が予想される。 | 実施回数：25回<br>延べ参加人数：265人 | 国際交流・協力，子どもの健全育成 | 特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会 | 280 | 青葉区中央市民センター |
| 163 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：地域はっぴぃ子育て支援事業 | 子育てを支える市民グループ・団体・区役所の協働により「地域はっぴぃ子育てプロジェクト」を企画運営し、子育て中の母親の育児不安や地域での育児孤立の解消につながるよう、子育て情報の提供や保護者が子供と一緒に成長し子育ての楽しさを実感できる機会を提供する。 | ①会議等の実施：5回<br>②ママらいふ手帳の作成：3,000部（乳幼児を抱える子育て中の世帯等に配布）<br>③部会員対象の地域はっぴぃママ講座のワークショップ体験：11月15日<br>④わらべうたのふれあい遊び動画の作成・発信（動画はせんだいTubeに掲載） | 健康福祉・医療，まちづくり | みやぎの区民協議会子育て支援部会 | 357 | 宮城野区まちづくり推進課 |
| 164 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：すずむしの里づくり事業 | 仙台市の虫である「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を通して豊かな自然環境による潤いあるまちづくりを目指し、スズムシの配布会・交換会の他、小学校等におけるスズムシ出前講座なども行う。音の風景からスズムシの魅力を再発見する取り組みも行う。 | 講師派遣事業：小学校7校（うち3校は先生への伝達講習）、専門学校1校、児童館（伝達講習）1館<br>配布会の実施：3会場 約450人来場<br>実験放虫事業：3か所<br>展示広報事業：市内17か所に展示 | 環境 | すずむしの里づくり実行委員会 | 430 | 宮城野区中央市民センター |
| 165 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：おらほの公園草刈隊支援事業 | 魅力ある公園の維持を目的とした「おらほの公園草刈隊」によるボランティア活動を支援するため、草刈機の貸出のほか、活動を周知する看板を公園に設置する。 | 登録団体：51団体<br>（企業19、町内会等32）<br>実施団体：33団体<br>（企業16、町内会等17）<br>延べ実施回数：138回<br>（企業35回、町内会等103回）<br>機械貸出延べ台数：<br>自走式草刈機　109台<br>肩掛け式　147台<br>ヘッジトリマー　28台 | 環境 | 企業、町内会、公園愛護協力会等によるボランティア団体（登録制） | 1,685 | 宮城野区公園課 |
| 166 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：みやぎの地域力向上支援事業 | 「地元学」の経験に学びつつ、1960～90年代に撮影された宮城野区の写真をもとに、定点撮影などのフィールドワークや地域住民へのヒアリングを通して、アーカイブ（記録）しながら地元の良さを再発見し情報発信する企画「みやぎの・アーカイ部」を実施する。「みやぎの・アーカイ部」を通して、地域のアイデンティティ形成や愛着の醸成を図る。 | ・部活動（まち歩き）：1回<br>・情報発信講座：1回<br>・施設訪問（小学校）：1回<br>・Facebook、Instagramを活用した情報発信（計27記事） | 社会教育，まちづくり，文化・芸術・スポーツ・学術 | 地域団体、区民等 | 644 | 宮城野区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 167 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：宮城野盆踊り普及事業 | 地域の繋がりづくりや地域活動の活性化のツールとして、宮城野区発祥の「宮城野盆唄」を使用した盆踊りを普及していく。 | ・広報用ポスター、うちわ制作<br>・オンライン盆踊り大会での宮城野盆唄PR | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | やりましょう盆踊り実行委員会、町内会・地域団体等 | 446 | 宮城野区まちづくり推進課 |
| 168 | 区民協働まちづくり事業-助成事業（宮城野区） | 【貞山運河と新浜の魅力アップ事業】<br>貞山運河を舟で渡るイベント（フットパス）の開催、新浜の自然学習を通して、沿岸部地域の魅力を発信し、にぎわいづくりに貢献する。 | ・フットパス：5回<br>・役員会：4回<br>・公開学習会：1回 | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | 新浜町内会 | 124 | 宮城野区まちづくり推進課 |
| 169 | | 【X橋と駅東の歴史文化の伝承・共有プロジェクト】<br>仙台市の東西市街地を結んできたX橋「宮城野橋」をテーマにした講座やまち歩きイベントの企画、開催を通し、X橋と駅東の歴史文化遺産を伝承・共有することにより、新旧住民の交流や活気ある地域コミュニティづくりに貢献する。 | ・講座：1回<br>・ワークショップ：6回（うち1回まち歩きを含む） | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | X橋保存会 | 170 | |
| 170 | | 【つるがや畑のフードバンク】<br>鶴ケ谷地域のネットワークを活用し、食に困っている方の情報を得て「つるがや畑プロジェクト」の会員が育てた野菜をフードバンクとして活用してもらう。子ども食堂やフードバンクから依頼があれば随時野菜の提供を行う。 | ・野菜のフードバンク配達：96回<br>・依頼元：2事業所 | 健康福祉 | つるがや畑プロジェクト | 267 | |
| 171 | | 【ケアブレンドカフェミヤギノ】<br>地域コミュニティの創出の場として多職種多世代多国籍での集いを開催 | ・カフェの開催：3回<br>・説明会および交流会の開催：2回 | まちづくり | 特定非営利活動法人ケアブレンド | 228 | |
| 172 | 未来につなぐ地域力推進事業：海浜エリア活性化 | 東部沿岸地域において、東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、地域の豊かな自然など魅力ある資源を活用しながら、海辺のにぎわいづくりを進める。 | 地域の方々にご意見をお伺いしながら、「新浜みんなの家」の施設ガイド板や蒲生北部地区の地区総合案内板・旧町名表示板等を設置し、地域の魅力を発信した。 | まちづくり | 町内会をはじめとした地域団体等 | 3,526 | 宮城野区地域力推進担当 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 173 | 未来につなぐ地域力推進事業：みやぎの地域づくり支援 | 多様な主体の連携による地域づくり活動を支援するため、情報共有・課題検討を行う勉強会や、実践活動につながるワークショップの開催などをサポートする。 | 田子西中央町内会をモデルとして、地域の課題を共有するためのワークショップを3回開催した。 | まちづくり | 田子西中央町内会 | 196 | 宮城野区地域力推進担当、宮城野区家庭健康課 |
| 174 | 被災者交流活動助成-宮城野区 | 復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。 | 助成金交付実績：5件 | まちづくり | 町内会をはじめとした地域団体等 | 454 | 宮城野区地域力推進担当 |
| 175 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：若林区民ふるさとまつり | 地域、世代を超えた交流および区民意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働により区民まつりを開催する。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のためまつりの開催は中止としたが、代替イベントとして「2021若林区民オンラインまつり」を開催。特設サイトを開設し、区内で活動している団体等の動画をアップした他、区内をまわるスタンプラリーや幼稚園・保育園の作品展も開催した。<br>実行委員会：8回開催 | まちづくり | 若林区まちづくり協議会 | 2,573 | 若林区まちづくり推進課 |
| 176 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：地域メディアの活用による＜新しい地縁＞創造プロジェクト | コミュニティFMを活用して、若林区および若林区まちづくり協議会が行う事業等の情報を発信する。区民から番組を制作するスタッフを募り、取材や編成を行う。 | 7月～令和4年3月までの9か月間、毎月第1・第3土曜日10：00から30分間の番組をラジオ3にて放送した。（毎月第2・第4土曜日は再放送）。<br>また、取材内容等に関する全体会議を年4回開催した。 | 健康福祉・医療，社会教育，まちづくり，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | 若林区まちづくり協議会 | 858 | 若林区まちづくり推進課 |
| 40<br>と<br>同一<br>事業 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業 | モデル地域を指定し、町内会を中心とした地域団体等と警察、区役所等行政機関が連携しながら、防犯に関する啓発活動やパトロール、研修会などを行い、総合的な安全と安心の街づくりに取り組み、地域住民が主体的で自主的な活動を継続できることを目的に支援を行う。 | 薬師高砂堀通り周辺地区を安全安心街づくり活動推進モデル地区に指定し、以下の事業を実施した。<br>・街頭啓発活動（2回）<br>・防犯パトロール（2回）<br>・会報2回発行 | まちづくり，地域安全活動 | 薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会 | 126 | 若林区区民生活課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 177 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：若林区健康づくり区民会議 | 「若林区健康づくり行動計画」に基づき、区民の主体的な健康づくりを進めるため、寸劇、健康づくりフェスティバルなどの主要事業、区内ウォーキングイベントでの健康啓発の他、健康づくり推進を検討する会議を行う。 | ・会議等の開催：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。活動報告を作成し、各委員に郵送にて送付。<br>・健康づくり寸劇の上演：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面では実施せず。若林区ふるさとまつり（オンライン）にて、動画で出演。交流会を開催し、コロナ禍での今後の活動について検討。<br>・健康づくりフェスティバル：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインまつりにて特性サイトに動画を掲載。次年度以降の実施にむけ、実行委員会を開催。<br>・若林区マイタウンスポーツ協会が主催するウォーキングイベントにおいて、げんきくん体操を実施した。 | 健康福祉・医療 | 若林区マイタウンスポーツ協会、若林区スポーツ協会、若林区内内科医師、仙台歯科医師会若林区地区長、仙台市薬剤師会、仙台市地域活動栄養士会、六郷地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、仙台青葉学院短期大学、蒲町中学校、荒町小学校、聖和幼稚園、協同組合仙台卸商センター総務課、セントラルウェルネスクラブ南小泉店、若林区連合町内会、若林区老人クラブ連合会、若林区レクリエーション協会、輪っ！かばやし子育て応援団 | 597 | 若林区管理課、家庭健康課 |
| 178 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：若林区魅力発信事業 | 若林区への愛着や興味を促進させることを目的に、地域の魅力を体感できるイベントである「若林わくドキまち歩き」の開催や区内の魅力を再発見できるよう区内地下鉄沿線について記載したまち歩きマップ「若林WALKER」を発行する。 | ・若林わくドキまち歩き<br>公募型の「若林わくドキまち歩き」は、全3回を予定していたが、4月のまち歩きを新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、残り2回を実施した。<br><br>・まち歩きマップ「若林WALKER」<br>薬師堂駅を、好評により増刷した。 | まちづくり，地域経済活性化，その他 | 若林区まちづくり協議会 | 294 | 若林区まちづくり推進課 |
| 179 | 区民協働まちづくり事業-助成事業（若林区） | 【地下鉄を利用した逸品探し街歩き体験ゲーム】<br>若林区の魅力発信、まちの賑わいづくりを目的に地下鉄沿線を利用した市民参加型ウォークラリーイベントを開催する。 | 11月に2回、2月に1回、地下鉄を利用したまち歩きイベントを実施。参加人数は各回30人前後で、大人、子供、学生、社会人といった各階層からまんべんなく参加があった。 | まちづくり，地域経済活性化，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | 東北被災地の食を応援する団体U-MY・ONE | 450 | 若林区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 180 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-助成事業（若林区） | 【貞山運河の魅力アップ事業】<br>貞山運河で木造和舟などを体験し、運河の文化祭を開催して運河と界隈の魅力アップを図る。 | イベント実施日<br>第1回目　7月11日<br>参加者33人<br>講師およびスタッフ36人<br>第2回目　9月19日<br>参加者32人<br>講師およびスタッフ23人<br>Eボートとさくばの乗船体験をして、運河と舟遊びの魅力を体験してもらった。併せて文化祭を開催して、荒浜の生活文化を知ってもらうとともに、新たな文化の創造に向けて様々なものを体験していただいた。 | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成 | 貞山運河倶楽部 | 254 | |
| 181 | | 【連坊オモシロ街あるき】<br>連坊の歴史資産を活用して街あるきを行い、来訪者の増加を促す。また、動画を制作し活動を広める。 | 開催日　参加人数<br>5月16日　7人<br>5月22日　6人<br>6月13日　7人<br>6月19日　11人<br>10月10日　14人<br>10月24日　18人<br>11月6日　18人<br>回によってコースやガイドを変えて開催した。<br>回を重ねるごとに参加人数が増え、コミュニティづくりの一助となった。 | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | 連坊商興会青年部 | 204 | |
| 182 | | 【荒町エリア魅力発信事業】<br>荒町エリアの活性化を目的に荒町の魅力を発信するツールとして、フリーペーパーおよび動画コンテンツを制作する。 | ・荒町ソングプロジェクト<br>シャンソン歌手の貝山幸子氏が作詞・作曲を担当し、荒町ソング「Let's Go 我が街～荒町編」を制作。YouTubeチャンネルでPVも公開。<br>・動画制作プロジェクト<br>コロナ禍のため、Zoomで毎月1～2回打ち合わせを行い、荒町の四季を題材にした動画を作成。YouTubeで公開した。<br>・フリーペーパープロジェクト<br>計7回の会議を実施。「荒町さんぽ」第3号を作成し、3,000部を配布した。 | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | 荒町エリア発信隊 | 450 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 183 | 未来につなぐ地域力推進事業：六郷東部地区現地再建まちづくり | 六郷東部地区の各町内会や関係機関・団体等と連携し、地域主体のまちづくり活動について支援を行う。<br>平成29年3月に閉校した東六郷小学校の跡地を地域のコミュニティ拠点とするため、多目的グラウンド・駐車場・芝生広場などを整備する。 | ・4月にオープンした東六郷コミュニティ広場の管理、運営は、東六郷コミュニティ市民委員会に委託している。 | まちづくり | 町内会、六郷東部地区まちづくり部会、東六郷コミュニティ市民委員会 | ― | 若林区地域力推進担当 |
| 184 | 海浜エリア活性化事業 | 仙台東部エリアとの一体的な取り組みを目指す荒井東地区の交流・賑わいづくりを推進するため、仙台東部エリアにある交流施設の管理運営者等が相互の情報共有や賑わい・集客を検討するとともに、地域や市民団体等と連携し、荒井駅を玄関口と捉えた荒井東地区および仙台東部エリアへの集客につながるプロジェクトの企画運営を持続することを目指す。 | ・4月に「仙台東部エリア交流施設連絡協議会」から改称した「仙台海手ネットワーク」において、コロナ禍における各参加団体の状況や課題、共同で行うイベント企画等について意見交換を3回（オンラインを含む）行った。<br>・8月～11月にかけて、東部沿岸地域施設の利用者に対し、訪問したきっかけや交通手段などについて、アンケート調査を実施した。 | まちづくり | 一般社団法人荒井タウンマネジメント | 1,015 | 若林区海浜エリア活性化企画室<br>（若林区地域力推進担当） |
| 185 | 被災者交流活動助成-若林区 | 復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。 | ・助成金交付実績：2件<br>（令和3年度で事業終了） | まちづくり | 町内会をはじめとした地域団体等 | 141 | 若林区地域力推進担当 |
| 186 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：太白区民まつり | 文化活動、社会福祉活動など多様な市民活動の発表、幅広い市民同士の交流など、太白区における市民の総合的な交流の場を創出する。 | ・区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、代替企画として区内の学校および区内で活動する団体のパフォーマンス動画を収録し、区内各所および太白区のYoutubeチャンネルへ掲載する「動画で観る太白区民まつり2021」事業を実施した。<br>・将来の担い手となる若い世代の意見を取り入れていくため、高校生・大学生等によるアイデア会議を開催し、今後の区民まつりで実施してみたい企画について、様々なアイデアを出してもらった。 | まちづくり | 太白区まちづくり推進協議会 | 2,036 | 太白区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 187 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：たいはくっこくらぶ | 太白区内の小学5年生および6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、区内の自然、歴史、文化等をはじめとしたさまざまな体験学習を行うことを通じて、児童の地域理解の促進と健全育成を図る。 | ・太白区内の自然、歴史、文化等に関するさまざまな体験学習を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、回数を減らして実施した。<br>実施回数：2回 | 社会教育，まちづくり，子どもの健全育成 | 太白区まちづくり推進協議会 | 255 | 太白区まちづくり推進課 |
| 188 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：ディスカバーたいはく | 冊子ディスカバーたいはくで紹介した区内の自然、史跡、名所等を実際に訪れる機会を設けることにより、広く太白区の魅力を再発見する機会を提供する。 | ・区内探訪会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、徒歩で巡るミニ区内探訪会に内容を変え実施した。<br>実施回数：2回 | 社会教育，まちづくり | 太白区まちづくり推進協議会 | 291 | 太白区まちづくり推進課 |
| 189 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：太白区まち物語 | 地域住民自らが、地域の成り立ちや歩み、地域資源（人・物・場所）、生活史の変遷、現況、課題を訪ね・調べ・まとめ、手づくりの地域誌としての「まち物語」を製作し、地域を未来に語りつぐとともに、今後のまちづくりにつなげる。 | ・マップ等を作成する団体を募集し、1件の申請があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により取り下げとなった。 | まちづくり | 太白区まちづくり推進協議会、太白区まち物語地区委員会 | 98 | 太白区まちづくり推進課 |
| 190 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：たいはく若者まちづくりフォーラム | 次世代のまちづくりの担い手となる人材の育成を図り、地域のまちづくり活動を推進するため、地域と大学研究室とのマッチングによる活動支援や、東北工業大学と共同で学生を対象にまちづくりをテーマとした講座を実施する。 | 若い世代のまちづくり活動への関心の高揚とまちづくりの担い手となる人材の育成を図るため、まちづくりに参加・実践する機会の創出や、活動支援を行った。<br>≪大学と地域のマッチング事業≫<br>◆生出地区との連携（平成28年度～）<br>・空き家・古民家の改修や、地図作りのワークショップなどを地域の方々と協力しながら実施した。<br>・まちづくりに取り組む地域と大学（研究室）とのマッチングにより学生が当該地域で行うまちづくり活動を支援するための助成金を交付した。<br>助成金交付件数：1件<br>≪共同講座≫<br>大学の1・2年生を中心に共同講座を実施。まちづくりに関する講義（市職員やまちづくりの関係者が講師）やまち歩きを通じて地域の課題解決に向けた検討を行った。 | まちづくり | 太白区まちづくり推進協議会 | 393 | 太白区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 191 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：地域づくりの担い手支援事業 | ①太白区内で活動している地域団体の活動紹介を通して、組織や分野を越えた団体同士の交流を促進する。<br>②区内の市民センターが、地域住民との協働で実施している地域づくりの担い手の交流やネットワーク化、人材の発掘・育成事業への支援を通して、地域住民主体の地域づくり活動の活性化を推進する。 | ①地域団体のまちづくり活動のため、使用するSNS教室を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった。<br>②市民センター4館で実施<br>（茂庭台C、西多賀C、山田C、富沢C） | まちづくり | ①地域団体等<br>②各事業の実行委員会 | ① 47<br>②566 | ①太白区まちづくり推進課<br>②太白区中央市民センター |
| 192 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：秋保ミュージアム環境整備支援事業 | 秋保全体を中山間地ミュージアムととらえ、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付けて魅力ある地域資源の活用・情報発信、協働による整備を地域全体の動きとしていくための連携体制づくりを進め、地域づくりに関わる人材の育成や情報共有、交流人口増、中山間地の地域活性化と地域力向上を図る。 | ・秋保の魅力を伝えるパンフレット作成<br>発行部数：新規5種類×10,000部、増刷4種類×3,000部、総合版11,500部<br>・魅力ある地域資源の環境整備<br>境野森峯山払刈、板風峠道簡易整備ほか<br>・秋保地区地域活動のつどい<br>関係団体との連絡会議において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定し、例年会場で配布している「秋保地域活動団体概要集」の更新のみを行った。 | まちづくり，地域経済活性化 | 地元町内会、秋保地域資源活用委員会、秋保地区地域活動のつどい連絡会議 | 1,362 | 太白区秋保総合支所総務課 |
| 193 | 区民協働まちづくり事業-助成事業（太白区） | 【わがまち　富沢・西多賀地域住民の健康づくり”いきいき　はつらつ　100まで　元気”】<br>高齢化が進む富沢・西多賀地域において、高齢者の関心の高い健康相談会などを開催することで老々介護や独居世帯を含めた高齢者など地域住民が外出して交流する場を創出し、互いに顔が見える安心な地域社会を形成する。 | ・集会場を設置し、健康相談会、筋力アップトレーニング、ちぎり絵など、健康維持増進に繋がる健康づくり事業を毎月実施した。<br>・登録会員数は50人だが、新型コロナウイルス感染症の影響で30人前後の人数での活動とした。 | 健康福祉・医療，まちづくり | 富沢健康サロン「緑の会」 | 200 | 太白区まちづくり推進課 |
| 194 | | 【ながまちテラス】<br>JR長町駅西口広場でのイベントを通して、太白区の学校や団体の発表の場および長町地域の新旧住民の交流の機会を創出するなど地域コミュニティの活性化を図るとともに、コロナ禍により売り上げが減少している商店街の活性化を図る。<br>ボランティアを地域から募集することで地域づくりの担い手の発掘や育成を行う。 | 10回計画したマルシェは新型コロナウイルス感染症の影響で2回の開催となったが、コロナ禍のイベントの在り方を十分に検討しながらの開催となった。 | まちづくり，地域経済活性化 | ながまちテラス実行委員会 | 93 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は<br>令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 195 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-助成事業（太白区） | 【楽元の森活用事業】<br>楽元の森を地域の資源として活用できるようツリーテラス等の整備や維持活動を行う。市民センターやPTA、近隣小中学校等関係団体と連携して、地域の子供を対象とした様々なイベントを開催し、地域一体となった子供の育成や地域づくりの担い手の発掘を図る。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で子供たちの活動が制限された中、市民センターやPTA、近隣小中学校等関係団体と連携することにより、いくつか活動を提供することができた。 | まちづくり,<br>子どもの健全育成 | 楽元の森運営委員会 | 410 | |
| 196 | | 【だれもが行きたくなる”まち”づくり　―「八木山テラス」構想―】<br>金剛沢緑地の南部緑地の緑地斜面・周辺緑地の整備やイベントを地域住民や関係団体等の協力を得ながら実施し、「だれもが行きたくなるまち」づくりの実現を目指す。 | ・金剛沢緑地の整備を通して「八木山テラス」が近隣住民に認知されるようになった。<br>・「地域と世代を超えた交流の場」としてジャズコンサートなども開催した。 | まちづくり | 金剛沢緑地愛護協力会 | 466 | |
| 197 | | 【三神峯”桜縁”の発信と協働をさらに深化し、より優しい街に！】<br>桜の整備を行うことで賑わいを創出し地域の活性化に繋げるとともに、樹名板製作や昔遊び、史跡等の学びを通して、次世代を担う子供達と大人の「世代間の繋がり意識」の醸成を図る。 | 桜の公園としての情報発信は、市政だより表紙への掲載など積極的に行い、公園に対する認知度を高めることができた。<br>地域住民・学校・団体が連携して環境美化活動や異世代間交流などの取り組みを行った。 | まちづくり,<br>子どもの健全育成 | 西多賀まちづくり推進委員会 | 445 | |
| 198 | | 【つなごう　秋保千年の里山文化～長町の下町文化との連携共助の活動～】<br>秋保および長町地域において、秋保新特産品の普及支援や相互の文化理解と交流・体験の場を創出し、お互いの様々な資源を活用して、人や文化の交流を行うことにより、元気な人づくり、元気な里山づくり、元気なまちづくりを推進する。。 | 文化理解と交流・体験の場を提供する「出前@寺子屋」や町おこし関連イベントへの参加は自粛したが、感染症対策が取りやすい農業体験を、近隣地域を巻き込んで力を入れて取り組んだ。 | まちづくり | 一般社団法人　Soundキャンパス | 290 | |
| 3<br>と<br>同一<br>事業 | 未来につなぐ地域力推進事業：<br>生出地区活性化支援 | ①生出地区まちづくり<br>生出学区連合町内会からの諮問を受け「生出地区まちづくり委員会」が平成30年度に取りまとめた「生出地区まちづくり基本構想」の実行プランに沿って、地域が主体的に農業・子育て・交通等の地域課題解決に向けたまちづくり活動に取り組む。 | ①生出地区まちづくり<br>郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト補助金により、農業を基軸とした都市部住民等との交流事業や、東北工業大学との協働による作業拠点の整備を実施。また、活動資金確保の一助として、店舗や加工所との連携のもと干し柿の販売の他、ケーキやパンの具材提供（イチジク、干し柿）を行った。 | まちづくり | ①生出地区まちづくり委員会 | 218 | 太白区地域力推進担当 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 199 | ［前ページ続き］<br>未来につなぐ地域力推進事業：生出地区活性化支援 | ②坪沼小学校跡地利活用<br>坪沼ふるさと活性化研究会がまちづくり専門家派遣制度を活用し、平成28年度から跡施設活用案を検討しており、跡施設を引き続き地域づくりの拠点と位置付けたうえで、望ましい活用方法や運営方法等を整理する。 | ②坪沼小学校跡地利活用<br>旧幼児学園をコミュニティカフェとして実証実験を行ってきたが、令和3年度に坪沼小学校跡施設利活用の事業者が決定し、新たに事業者と地域とで幼児学園教室の利活用を考えていくこととなった。また、交流人口拡大を目的とする「坪沼農園」については、コロナ禍における農業に対する関心の拡大を受け、農地用トイレの設置等を行った。 | まちづくり | ②坪沼地区ふるさと活性化研究会 | ― | |
| 200 | 未来につなぐ地域力推進事業：秋保体験観光創出支援事業 | ①野尻・境野地区体験観光創出支援事業<br>二口エリアの玄関口、里山の自然が豊かな野尻地区において、特色ある体験観光を提供するため野尻集会所を基点に、地元の特産であるそばや里山の「食」文化等を生かした体験観光、近隣の名取川清流「天神渕」での川遊び体験観光創出を支援し、市民や観光客との交流による活性化に繋げる。<br>「さかいの地区創生会」が取り組む地元農産物の産直活動を中心とした交流拠点づくり、貴重な地域資源の環境整備、これらを活用した体験観光の創出を支援し、交流増、地域活力の向上を図る。<br><br>②そばの郷「秋保」振興事業支援事業<br>秋保地区の「食」文化であり、観光の魅力の一つである「そば」について、さらなる発展を期するため、そばの郷「秋保」振興事業として、全国レベルの「そば打ち大会」を開催し、宮城のそば処として、内外に強力な情報発信（アピール）、地元産そば栽培意欲の増進、そば文化の振興を基軸とした地域活性化と、交流を促進し心豊かで潤いのある中山間地の活性化を図る。 | ①野尻・境野地区体験観光創出支援事業<br>・野尻地区<br>野尻地区において、コロナ禍における交流カフェ「ばんどころ」の営業など模索したが、令和3年度の活動は、断念した。<br>・境野地区<br>さかいの産直市<br>令和3年度42回の営業<br>体験観光創出<br>森峯山刈払い、板風峠道簡易整備<br><br>②そばの郷「秋保」振興事業支援事業<br>宮城手打ちそば研究会、あきう生産組合等と連携し、新しい誘客、地産地消を推進した。<br>・仙台秋保そばフェス2021<br>関係団体との連絡会議において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を決定した。<br>・秋保産そばフェア<br>「秋保そば街道」パンフレット作成8,000部<br>「秋保在来そば」のぼり旗作製　50本<br>・宮城そばサミットin秋保<br>コロナ禍を踏まえた新たな試みとして開催された「宮城そばサミットin秋保」の支援を行った。 | まちづくり，地域経済活性化 | ①野尻いぐする会、宮城手打ちそば研究会、東北工業大学、さかいの地区創生会<br><br>②「仙台秋保そばフェス2021」連絡会議 | 705 | 太白区秋保総合支所総務課 |
| 201 | たいはく朝市 | 農業者および生産者と消費者との交流の場を創出し、農業者および生産者が生産した野菜や加工品を販売する朝市を開催する。 | 7月～12月の毎月第2・4日曜日に、南部発達相談支援センター駐車場で、朝市を開催した。<br>実施回数：12回　（4月～6月は中止） | まちづくり，その他 | たいはく朝市推進協議会 | ― | 太白区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 202 | 貧困家庭等の子どもを対象とした夕食支援による地域の居場所づくり活動 | 子どもに無料で夕食を提供することにより、貧困家庭やひとり親家庭、共働き家庭の子どもの食をめぐる問題の解決を図り、地域の中に気軽に集うことができる居場所をつくる。 | 「おりざの食卓」を運営し、孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援を実施した。<br>令和元年度からは、自主的なグループへ発展し、区からは保健師の参加等により活動を支援している。 | 子どもの健全育成 | 特定非営利活動法人おりざの家 | — | 太白区家庭健康課 |
| 203 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：いずみ朝市 | 生産者と消費者の交流および地域振興を図るため、地元の生産者や業者などによる朝市を開催する。 | 5月～8月、10月～12月までの第2･4日曜日にいずみ朝市を開催した。<br>開催回数：12回<br>（4、5、8、9月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）<br>延べ来場者数：6,486人 | まちづくり | いずみ朝市運営委員会 | 95 | 泉区まちづくり推進課 |
| 204 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：IZUMINATION in NANAKITA PARK | 新型コロナウイルス感染拡大を防止しつつ、地域の思い出づくりの機会としていただくことを目的とし開催。「ひかりの実」「樹木のライトアップ」「LEDスカイランタンの打ち上げ」と大きく3つのイルミネーションを題材とした手法で構成する。 | 来場者数：9,200人<br>ふるさとまつりが中止となったが、多くの方に2021年の1つの思い出となる機会を創出できた。また、来場者アンケートでも「毎年やってほしい」など多くの喜びの声があった。 | まちづくり | 一般社団法人泉青年会議所 | 1,100 | 泉区まちづくり推進課 |
| 205 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：七北田川クリーン運動 | 泉区のシンボルである七北田川流域の清掃活動やアユの放流、小学生を対象とした自然観察会を行うことにより、住民が自然を大切にする気持ちを育て、アユの棲む美しい川を守っていこうという環境美化意識の向上とふるさと意識の醸成を図る。 | 【七北田川クリーン運動】<br>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開会式を省略した開催となった。参加団体の数は例年より減少したが、個人での参加者が増え、1,495人の参加があった。<br>【七北田川自然観察会】<br>40組の定員に対し、35組の応募があった。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、いかだ下りが中止となった。その代替えとして、スマートフォンアプリ「バイオーム」を用いた昆虫･植物の観察会を七北田公園内で行った。 | まちづくり | 泉区まちづくり推進協議会 | — | 泉区まちづくり推進課 |
| 206 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：将監沼ふれあい事業 | 中世からの遺産である将監沼を中心とした周辺の自然環境を保護し、四季折々の花が咲き、野鳥のさえずりが聞こえるよう環境整備を行う。<br>区民参加による実行委員会を組織し、参加者の連帯感を高めながら、地域コミュニケーションの場として活用するとともに、自然の大切さやふるさとの意識の向上を図る。 | 将監沼周辺の間伐、下刈り等（24回）を実施など環境整備を行った。<br>･地域のコミュニケーションを図る下記事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。<br>将監さくら祭り<br>将監ふれあいコンサート<br>将監市民センターまつり | まちづくり | 「将監沼の自然」とふれあいを育む会 | 193 | 泉区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 207 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：泉ケ岳利活用推進事業 | 泉区のシンボルである泉ケ岳の豊かな自然環境を将来にわたり維持し継承していくため、市民との協働により泉ケ岳の魅力を生かした利活用を促進する。 | ・9年間にわたるミズバショウモニタリング調査は令和2年度に終了し、その報告会を開催した。<br>・荒廃していた芳の平果樹園跡地を里山に戻すための下刈り作業と樹木の保全作業を実施した。<br>実施回数：11回、参加者数：207人<br>・希望する市民を対象に登山を楽しむ泉ケ岳自然観察会を実施した。<br>実施回数：3回、参加者数：105人<br>・リーフレット「泉ケ岳の花」を配布した。<br>・会報誌を2回発行した。 | まちづくり | 泉ケ岳利活用推進市民会議 | 580 | 泉区まちづくり推進課 |
| 208 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：泉ケ岳悠・遊フェスティバル | 市民に対し、泉ケ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさとの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、市民の交流を促進することを目的に開催する。 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は昨年度に引き続き、オンライン開催とした。<br>開催期間：12月21日～令和4年3月31日<br>アクセス数：5,883件 | まちづくり | 泉区まちづくり推進協議会 | 1,052 | 泉区まちづくり推進課 |
| 209 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：区民意識普及啓発 | 住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及・啓発を行うとともに、泉区写真コンクール等を開催する。 | ・泉区写真コンクールを実施し、表彰式および入賞作品の展示を区内数カ所で行った。<br>応募数：2部門合計150作品<br>・区民憲章板を作成し、区内コミュニティセンター等に配布した。<br>・ベガルタ、マイナビ仙台の応援コーナーを区役所内に設置。また泉中央地区商業施設中心部にて両チームを応援するイベントに参加。 | まちづくり | 泉区まちづくり推進協議会 | 385 | 泉区まちづくり推進課 |
| 210 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：泉中央美化推進 | 区民の環境美化・緑化への意識の醸成を図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されている泉中央地区で清掃や緑化活動を行う。 | ・緑化活動<br>春と秋の花植え：8回<br>参加者数：932人<br>・清掃活動<br>秋と春の一斉清掃：2回（11月、3月）<br>参加者数：1,406人<br>回収ごみ550kg | まちづくり | 泉区まちづくり推進協議会 | 320 | 泉区まちづくり推進課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 211 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：いずみのふるさと学 | 地域に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会等を開催する。 | ・いずみのふるさと探訪会の開催<br>新型コロナウイルス感染拡大防止のため探訪会は中止とし、定例サポーター会は5月、9月～令和4年1月に6回開催した。<br>・「いずみのふるさと総集編」、「続・み～つけた」の頒布。 | まちづくり | 泉区まちづくり推進協議会 | 50 | 泉区まちづくり推進課 |
| 212 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：大学連携地域づくり事業 | 【大学地域ネットワーク】<br>大学の知的資源や学生のパワーを生かしたまちづくりを積極的に進めていくため、協定を結び連携協力活動を進める。 | ・各大学が連携し、まちづくり事業を推進していくため、ネットワーク幹事会を開催した。<br>・泉区6大学まちづくりフェスティバル（大学の地域活動の発表等）を開催した。 | まちづくり | 泉・大学地域ネットワーク<br>（泉区内6大学、泉区まちづくり推進協議会） | 730 | 泉区地域力推進担当 |
| 213 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【造形活動を通した地域行事支援プロジェクト】<br>10月に開催するいずみハロウィン2021の子ども企画（ぬり絵展示）コーナーの装飾を、所属学生にて行い、造形作品を通して地域の子どもたちとの交流を図る。 | 泉中央駅ビル「SWING」を会場としたぬり絵展示コーナーについて、造形作品の制作や展示を行った。 | まちづくり,<br>子どもの健全育成 | 聖和学園短期大学<br>佐々木ゼミ | 100 | |
| 214 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【デザイン援助による地域支援プロジェクト】<br>区内のイベントのポスターや告知物をデザイン・制作し、地域の活性化を図る。 | 地域で行われるイベントのポスターを作成し、掲示・配布することでイベント自体の認知度向上に貢献した。また、地域団体の活動に係るポスターのリニューアル作成も行うことで、地域との交流を図った。 | まちづくり | 宮城大学<br>マイチゼミ | 100 | |
| 215 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【スポーツによる地域貢献活動事業】<br>様々なスポーツ教室を実施することにより、小学生をはじめとした子どもたちとの地域交流を進めていく。 | 学内に地域の子どもたちを集め、サッカー教室、ダンス教室、健康づくり教室、バレーボール教室を実施し、交流を図った。<br>令和3年度は助成金を受け取ったものの、使用せずに事業を実施した。 | まちづくり,<br>文化・芸術・スポーツ・学術 | 聖和学園短期大学<br>スポーツクラブBOA SORTE | — | |
| 216 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【笑ってほしい♫スマイルもりもりプロジェクト事業】<br>介護予防のための軽運動「スマもり体操」を活用し、地域住民の交流の場である認知症カフェやサロン等の運営支援を行う。 | 泉区内で開催される認知症カフェや健康教室の場で、介護予防のための軽運動を行い、地域の高齢者との交流を図った。 | 健康福祉・医療, まちづくり | 東北学院大学<br>菅原真枝ゼミ | 100 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 217 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-企画事業：大学連携地域づくり事業 | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【ラジオ番組：管理栄養士を目指す宮城学院女子大生の「パワフル奮闘記」】<br>管理栄養士を目指す宮城学院女子大学食品栄養学科の学生が、企画作成するラジオ番組の1コーナーとして「泉区いいとこ大発見Part5」を設け、泉区の話題、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所、行事を取り上げ、取材をもとに担当の学生による情報・感想を交え展開する。 | 企画作成するラジオ番組の1コーナーとして、「泉区のいいとこ大発見Part5」を設け、泉区の話題、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取り上げ、取材をもとに学生による情報・感想を交えて展開した。 | まちづくり | 宮城学院女子大学<br>正木ゼミ | 100 | |
| 218 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【泉区産のお米×スポーツ栄養・地域活性化プロジェクト】<br>「泉区産の食材を食べて頭も体も強くなろう」をコンセプトに、子どもから大人までが対象となるスポーツ栄養学・ライフステージ栄養学に基づいて、栄養士の卵が泉区産の食材を用いたレシピ本を考案し、周知を行う。 | 根白石おもしろ市や区内のスーパーにて泉区産の食材の調査を進め、試作を経てレシピ本を制作した。また、制作したレシピ本は区内の中学校や高校に配布した。 | まちづくり，地域経済活性化，文化・芸術・スポーツ・学術 | 東北生活文化大学<br>スポーツ栄養研究会 | 100 | |
| 219 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【新型コロナウイルス（COVID-19）に負けない体づくり】<br>市民向けの感染症予防講座を開催し、手洗いや消毒のみならず、食事や睡眠、運動の面から、免疫力アップのための一助となることを目的に活動する。 | 区内の集会所にてヨガ体験や免疫力を高めるための食事についての講話を行い、地域の方々との交流を図った。 | 健康福祉・医療，まちづくり | 仙台白百合女子大学<br>佐々木ゼミ | 100 | |
| 220 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【しらゆり森のようちえん&しょうがっこう～みんなであそぼうプロジェクト】<br>仙台白百合女子大学の自然を生かしたあそびを地域の子どもと一緒に楽しみながら、交流を図る。 | 大学構内をフィールドとして自然と触れ合いながら楽しむことのできるイベントを10月～12月にわたり3回開催し、地域との交流を図った。 | まちづくり，子どもの健全育成 | 仙台白百合女子大学<br>仁藤研究室 | 100 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 221 | ［前ページ続き］<br>区民協働まちづくり事業-企画事業：大学連携地域づくり事業 | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【いずみの森で養蜂プロジェクト～ミツバチと森の自然の恵みで地域を活性化～】<br>大学で飼育・研究を行っている養蜂場を地域の子どもたちに見学してもらうとともに、自然や地域の魅力を伝える講座を実施し、交流を図る。 | 大学近隣の商業施設において実施した、オーガニックマーケットでのパネル展示を実施したほか、キャンパスに近隣の小学生を招き、講座を開催した。 | まちづくり，環境，子どもの健全育成 | 宮城学院女子大学<br>教育学部　伊藤研究室 | 100 | |
| 222 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【外国人とコミュニケーション一仙台白百合女子大学生による外国人への生活支援一】<br>泉区在住の外国人が、生活するうえで困る場面を想定し、その解決方法等を英語をはじめとした母国語で紹介し、支援を行う。 | 緊急時の対応方法や、日本で生活する上でのマナー等について外国語で紹介する交流会を4回開催した。 | まちづくり,国際交流・協力 | 仙台白百合女子大学<br>大本研究室グループ | 100 | |
| 223 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【地域生き活きプロジェクト】<br>子どもへの学習支援や町内会活動への参加を通じ、世代を越えた地域交流を図り、地域活性化を目指す。 | 地域の子どもたちへの学習支援として、年間を通して学習教室を行ったほか、町内会の清掃活動や畑作業等にも参加した。 | まちづくり，子どもの健全育成 | 仙台白百合女子大学<br>地域生き活きプロジェクト | 100 | |
| 224 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【白百合小楽校】<br>コロナ禍において、友人と遊ぶ機会の減っている小学生を対象に、大学の体育館を使用して、ちぎり絵の制作を行い、行事参加の促進を目指す。 | 9月よりポスター作成等、事業のPRを進め、11月27日にイベントを実施し、参加した6組9人の子どもたちとちぎり絵やちぎり絵を用いた写真立ての制作を行った。 | まちづくり，子どもの健全育成 | 仙台白百合女子大学<br>Bonds | 50 | |
| 225 | | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【子育て支援プロジェクト　親子タッチケア体験】<br>スウェーデンで発祥したタッチケアの手法を地域の親子にも体験してもらうイベントを開催し、親子や地域の人同士の絆を深め、子育て支援への貢献を目指す。 | 10月～12月にかけて2回の体験会を開催し、17組の親子が参加した。また、タッチケアの体験のみならず、絵本や紙芝居の読み聞かせ等も行った。 | まちづくり，子どもの健全育成 | 宮城学院女子大学<br>西浦ゼミ | 100 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 226 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-企画事業：大学連携地域づくり事業 | いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業<br>【根白石の「食と農」をつなげる】<br>根白石在住の料理家や農家と協力し、根白石の食材を使用した新たなレシピを考案し、魅力をアピールする。 | 根白石在住の料理家や農家へのインタビュー、根白石おもしろ市の運営補助を行いながら、レシピ集の制作に取り組み、12月に実施された根白石おもしろ市において完成したレシピ集の配布を行った。 | まちづくり | 宮城大学<br>事業構想学群コミュニティプランナーフィールドワーク（CPFW）演習 | 92 | |
| 227 | | 大学間の交流促進助成事業<br>【大学交流促進事業】<br>地域づくり活動を行っている学生が、大学の枠を超え学生間の連携・協働のもとで主体的・継続的に活動し、地域づくり活動の交流見学会等の取り組みを実施する。 | 泉6大学より、学生各1人ずつが集まり、泉区西部地区の魅力を発信するため、体験型観光施設への取材や、HPに掲載する記事の作成を行った。事業を進めるにあたり、事前準備等を含め、計5回の交流会を開催した。 | 社会教育，まちづくり | 一般社団法人プラス、泉6大学の大学生 | 660 | |
| 228 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：青少年健全育成推進 | 青少年が日頃より考えている将来の夢、社会に対する要望を発表する機会等を提供することにより、物事を考える力、広い視野と柔軟な発想・表現力を育むとともに、青少年健全育成に対する大人の理解度と関心度の向上を図る。 | ・実行委員会の開催：3回<br>・少年の主張泉区大会：寺岡中学校にて開催。コロナウイルス感染対策のため観客無で審査のみとした。<br>・標語コンクール<br>参加校：16校　参加者：92人<br>・地球のステージ：南中山中学校にて開催。合計476人が鑑賞。 | 社会教育，子どもの健全育成 | 泉区まちづくり推進協議会 | 435 | 泉区家庭健康課 |
| 229 | 区民協働まちづくり事業-企画事業：地域子育て交流会 | 育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会を実施する。また、団体の代表者による実行委員会で、広く区民を対象とした親子まつりを企画・実施する。 | ・全体会実施：1回　参加者数：16人<br>・三役会議実施：4回<br>交流会、実行委員会、親子まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 | 子どもの健全育成 | 子育て応援倶楽部いずみん | 68 | 泉区家庭健康課 |
| 230 | 区民協働まちづくり事業-企画事業等：<br>泉中央地区活性化事業 | 泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。 | 泉中央駅ペデストリアンデッキ下部およびおへそ広場を会場に、地域関係者が連携・協力したイベント「いずみハロウィン2021」を実施した。飲食ブース等の出展は見送ったものの、会場を3週間程度ハロウィン風のイルミネーションで彩った。<br>また、民間団体による七北田公園を活用した地域活性化に資する活動（キッチンカーの出店等）への助成を1回行った。 | まちづくり | いずみハロウィン実行委員会、民間団体 | 1,250 | 泉区地域力推進担当 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 231 | 区民協働まちづくり事業-助成事業（泉区） | 【くらしの保健室事業】<br>医療を含めた相談支援の場を地域の交流の場に設置し、早い段階で地域、医療、看護、介護によりつながり、適切なアドバイスや情報を得るとともに、住民が活き活きと主体的に行動を起こすことができるようにする。<br>（令和2年度から助成） | ・多くの専門職が住民の健康相談に対応するくらしの保健室事業を実施したほか、住民と専門職が共に健康コミュニティの仕組みを作る体づくりサポーター養成講座を実施。<br>・Zoomを活用した総合医療・在宅診療などの相談を15回実施。 | まちづくり | 特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと | 300 | 泉区まちづくり推進課 |
| 232 | | 【「七北田宿ガイドボランティア」養成講座実施事業】<br>泉区の歴史に深く関係している七北田宿を主軸として、泉区の歴史を地域の方や小中学生に伝承していく活動を実施。また、2023年には七北田宿開設400周年となる。それに向け、同じ宿場町であった富谷市・大和町吉岡にて歴史の普及活動をしている団体とタイアップした記念イベントを実施することで、宿場町の魅力を発信していく。<br>（令和3年度から助成） | ・「七北田宿ガイドボランティア」講座を6回開催。<br>・現在の七北田、市名坂に関係する商店への訪問活動。<br>・七北田、市名坂の「お散歩手帳」を8,000部作製・配布。<br>・11月23日に「七北田宿の開宿400年と奥州街道」講演会を開催（場所：イズミティ21、参加者：104人） | まちづくり | 七北田宿研究会 | 100 | |
| 233 | | 【南中山中学校区・地域の担い手育成事業】<br>地元新聞の作成を通じて、地域の子供達やその家族に地域への愛着を持ってもらう。また、卒業生カフェの名称で、中学校を卒業した学生が企画・運営を行い、幅広い世代の交流を促進させる。<br>（令和3年度から助成） | ・広報誌の作成に関係して交流できた人数：約50人<br>全町内会での回覧<br>※配布・回覧の実績：創刊号1,649部、第2号1,694部、第3号1,620部<br>全町内会、小中学校、児童館など<br>・「ふるさとカフェ 卒業生カフェ」での同級生の再会、進路の相談：参加者7人<br>・子ども会育成会アンケート調査：参加者13人 | まちづくり | 南中山中学校区住民活動サポートチーム「Mサポ」 | 100 | |
| 234 | | 【SMILE FES】<br>七北田公園、将監団地を会場に、子供を対象としたイベントを開催。低価格での販売品や飲食物、無料の企画を実施することで、子供だけで来場しても楽しめるイベントを企画し開催。<br>（令和3年度から助成） | ・季節に応じた子ども・子育て世代向けのマルシェイベント等のイベントを13回実施。<br>・ファッションショーは通年4回、ステージパフォーマンスは要望があった回には都度開催。<br>・古着でワクチンは通算655kgの衣類提供実施。 | まちづくり | SMILE FES 実行委員会 | 300 | |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 235 | [前ページ続き]<br>区民協働まちづくり事業-助成事業（泉区） | 【桂音頭サルベージ＆リビルドプロジェクト】<br>かつて桂地区での運動会や地域のイベントなどで披露されていた伝統的な「桂音頭」が、時代とともに廃れてきた。地域の伝統・宝である本音頭を、再度活性化させ、地域のコミュニケーションツールとして、地域のつながりに貢献する。<br>（令和3年度から助成） | ・桂音頭原曲の2曲（バージョン1、2）の歌詞（歌）、曲、の復元と保存。<br>・桂音頭【令和バージョン】の制作（歌詞、曲、踊り）。<br>・2年目（令和4年度）の事業展開を念頭に、健康体操としての利用法やポップ版のサンプル制作。 | まちづくり | 桂音頭を踊り隊 | 400 | |
| 236 | 未来につなぐ地域力推進事業：<br>郊外居住地区の課題対応事業 | 郊外居住地区における課題の解決に向け、大学が有する知見等を活用し、地域住民と解決策の検討を行う活動に対する支援を行う。 | 加茂まちづくり協議会が行う地域課題の解決へ向けた取り組みに対し、助成を行った。 | まちづくり | 加茂まちづくり協議会 | 89 | 泉区地域力推進担当 |
| 237 | 未来につなぐ地域力推進事業：<br>泉西部地区活性化事業 | 泉西部地区の活性化を図るため、地域団体や地域事業者、住民等と連携・協力し、交流人口拡大および持続性のある地域づくりに資する取り組みを実施する。 | 泉かむりの里観光協会と連携し、国内向けの地域情報発信の取り組みを実施した。<br>また、情報発信を行う内容について意見交換等を行うワーキンググループを6回実施した。 | まちづくり | 地元町内会、泉かむりの里観光協会、地域事業者等 | 3,663 | 泉区地域力推進担当 |
| 238 | 社会を明るくする運動仙台市泉区推進委員会 | 法務省の主唱する「社会を明るくする運動」について、泉区域における本運動の企画、実施、推進を図る。 | ・総会（書面開催）<br>・役員会等の開催：計3回<br>・広報、泉区役所懸垂幕、のぼり旗掲示<br>・泉区民ふるさとまつり、地下鉄泉中央駅前・八乙女駅前での広報活動は中止<br>・内閣総理大臣メッセージの伝達<br>・小学校での講話：中止（毎年1校）<br>・泉区まちづくり推進協議会との共催事業（標語コンクール・地球のステージ）<br>・ベガルタ仙台　社明運動啓発活動（社会を明るくする運動宮城県推進委員会と共催） | 社会教育，まちづくり，地域安全活動，子どもの健全育成 | 社会を明るくする運動泉区推進委員会 | 122 | 泉区家庭健康課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 239 | 仙台市泉区子ども会育成会 | 泉区内の各校区子ども会育成会相互の連絡調整を行い、地域の意見や情報を交換して、子ども会の育成発展を図る。 | ・総会（書面開催）、役員会等の開催、校区交流会（2回）および研修会（2回）の開催<br>・泉っ子キャンプは中止<br>・泉区民ふるさとまつり、泉ケ岳悠・遊フェスティバルへの参加は中止<br>・広報誌の発行 | まちづくり，子どもの健全育成 | 仙台市泉区子ども会育成会 | 803 | 泉区家庭健康課 |
| 240 | 婦人防火クラブ活動支援事業 | 婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。 | 防火・防災に関する知識の習得および技術の向上を図る訓練、研修会および街頭防火キャンペーンなどを新型コロナウイルス感染症に留意した上で年間230回実施した。<br>また、活動を継続していく上で、現在抱えている諸課題の解決に向けて話し合う婦人防火クラブ活性化検討会を実施し、クラブ員と今後の方向性について話し合いを重ねた。 | 地域安全活動 | 仙台市婦人防火クラブ連絡協議会 | 12,700 | 消防局予防課 |
| 241 | 自分づくり教育推進事業：<br>職場体験活動推進協議会 | 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的に企業関係者が参画する会議体として、主に職場体験およびインターンシップの受け入れについての支援促進を図るために、仙台自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施について協議する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により職場体験活動推進協議会は開催できなかったが、啓発活動に係る取り組みとして、関係団体に「職場体験活動ブックレット」を作成し配付した。 | まちづくり，子どもの健全育成 | 仙台商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、みやぎ仙台商工会、宮城県中小企業家同友会、公益社団法人仙台青年会議所 | 64 | 教育局学びの連携推進室 |
| 242 | 自分づくり教育推進事業：<br>仙台子ども体験プラザ事業 | 児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、将来の生き方について考える意欲や態度を育むため、協賛事業所等の協力のもと、体験型経済教育プログラム「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク」を実施する。 | 小学生対象のスチューデントシティは92校、中学生対象のファイナンスパークは67校（うち46校は学校に講師を派遣して実施）で実施した。 | まちづくり，子どもの健全育成 | 市内協賛事業所等 | 62,929 | 教育局学びの連携推進室 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 243 | 不登校支援ネットワーク | 市民・大学・企業・行政等がそれぞれの特性を生かしながら相互にパートナーとして融合し、不登校の児童生徒やその保護者の支援を実施する。 | 以下の取り組みを実施した。<br>・動物介護活動：5回<br>・稲作体験活動：1回<br>・ハートフルサポーターの活動<br>自然体験：2回<br>土曜のひろば：9回<br>・不登校支援ネットワークワーキングとボランティア養成講座：1回<br>・進路相談会：1回<br>・創作活動：1回<br>・職業出前講座：4回 | 子どもの健全育成 | 認定特定非営利活動法人仙台シニアネットクラブ、認定特定非営利活動法人あかねグループ、特定非営利活動法人エーキューブ、特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク、ことばの貯金箱「夢」プロジェクト、情報のあんこ、エルネット、ミューズネットワークせんだい、くりこま高原自然学校、ハートフルサポーター、ハリウコミュニケーションズ株式会社、株式会社デンコードー、宮城県学校用品協会、株式会社北文社、株式会社ジャストシステム、オレンジフィールド、株式会社楽天野球団、ドコモCS東北、仙台朝市商店街振興組合、宮城教育大学、東北福祉大学、東北大学災害科学国際研究所 | ― | 教育局教育相談課 |
| 244 | 楽学プロジェクト | 小学5・6年生を対象に、さまざまな職業の講師による「講話」や「体験活動」を経験させることにより、子どもたちが「仕事」や「働くこと」とは何かを考える機会とする。 | 新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、募集人員や対象、場所等を変更し実施した。<br>1日開催で、13講座237人の小学生が参加した。 | 子どもの健全育成 | 楽学プロジェクト委員会 | 149 | 教育局生涯学習課 |
| 245 | スタジオ協働事業 | 「考えるテーブル」など、誰もが参加可能な対話型公開会議などを中心に、市民力の醸成、市民の主体的な社会参画が文化面から活性化していくことを目指す。あわせて、スタジオ協働事業や地域文化アーカイブなどの事業をせんだいメディアテーク7階ラウンジにおける展示を通じて広く発信する。 | ・考えるテーブル<br>Zoomによるオンライン「てつがくカフェ」を実施した。<br>「民話ゆうわ座」を実施した。<br>・ラウンジでの展示<br>「2011・3・11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた いいつたえ むかしばなし はなし　その9　亘理郡亘理町周辺の民話」を実施した。 | 社会教育 | てつがくカフェ@せんだい、<br>みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム等 | 1,799 | 教育局生涯学習課 |
| 246 | 地域文化アーカイブ | 市民の自発的な地域文化財のデジタル化、保存、活用を促す取り組みを行う。成果物は、メディアテークに保存し、ライブラリーへの配架、ウェブサイト等での発信、またそれらを基とした催事を行うことで、仙台市域のさまざまな文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。 | 「民話声の図書室」CD制作、「どこコレ？ーおしえてください昭和のセンダイ」等を実施。 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台等 | 事業番号245と共通 | 教育局生涯学習課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 247 | バリアフリー文化事業 | 目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための取り組みを行う。 | ・手話による読み聞かせボランティア養成講座<br>参加者数：35人<br>・手ではなすおはなしの会<br>参加者数：118人 | 健康福祉・医療，社会教育 | ボランティア「まほうの手」 等 | 698 | 教育局生涯学習課 |
| 248 | 地域文化連携事業 | 各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリーなど館全体の機能を生かしたイベントや展示、上映会など多様な共催事業を実施する。 | ・定禅寺通祭り連携事業は中止<br>・「ショートピース！仙台短篇映画祭」の実施<br>参加者数：780人<br>・「せんだいデザインリーグ2022卒業設計日本一決定戦」（展示・公開審査等イベント）を実施。<br>参加者数：1,902人 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 仙台短篇映画祭実行委員会、仙台建築都市学生会議 | 1,039 | 教育局生涯学習課 |
| 249 | 震災の記録・市民協働アーカイブ事業 | 震災とその復旧・復興の過程を市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営する。センターでは、参加者が写真や映像等で記録し、資料活用に向け、アクセス可能なメタデータなどを整備し保管する。また、収集した資料は一部選別し、ウェブサイトでの配信、ライブラリーへの配架、上映会や展覧会の開催など、さまざまな形での利活用を行う。 | ウェブ閲覧数：3,009,896回<br>※展示と上映「星空と路」を実施。<br>参加者数：3,324人 | 社会教育，地域安全活動 | 市民の参加者 | 15,187 | 教育局生涯学習課 |
| 250 | 仙台市立学校施設の開放（学校施設開放事業） | 社会体育の普及ならびに幼児および児童の安全な遊び場の確保のため、学校の校庭や体育館などを学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒その他市民に開放する。 | 学校施設開放実績：185校<br>（うち自由活動開放実績：19校） | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | 管理運営委員会 | 1,802 | 教育局生涯学習課 |
| 251 | 社会学級開設 | 学区に居住する成人が、自主的な学習活動ができるよう、小学校、特別支援学校に社会学級を開設する。 | 社会学級開設実績：110件 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 小学校・特別支援学校に開設する社会学級 | 2,196 | 教育局生涯学習課 |
| 252 | 学校図書室等開放事業 | 市立小学校において、図書室等の学校施設を週末に開放し、読書の機会提供、子どもの居場所拡大、地域の生涯学習の場としての活用を図ることを目的とした、学校図書室開放事業の管理・運営を委託により実施する。 | 学校図書室等開放実績：24件 | 社会教育，子どもの健全育成 | 各学校図書室等開放推進委員会（学区内町内会、父母教師会、その他の団体代表者、学校関係者で組織） | 4,569 | 教育局生涯学習課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 253 | 仙台市小中学校PTA運営費補助金 | 市立小学校等PTA活動の振興を図るため、PTA等の運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 | 補助金交付実績：1件 | 社会教育，子どもの健全育成 | 仙台市PTA協議会（各市立小・中・特別支援学校PTA） | 12,620 | 教育局生涯学習課 |
| 254 | 仙台市マイスクールプラン21推進事業補助金 | 実施校ごとに設置する運営委員会によって選任されたコーディネーターが企画調整して行うマイスクールプラン21推進事業運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 | 補助金交付実績：8件<br>延べ利用人数：8,694人 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 実施校ごとに設置するマイスクール運営委員会 | 9,390 | 教育局生涯学習課 |
| 255 | ともに学びともに育つ！せんだい・まなびやネットワーク構築モデル事業 | 学校卒業後の18歳以上の障害者とともに、生涯学習のプログラムを作りそれを実践する。<br>（文部科学省委託事業） | 研修プログラム「スウプノアカデミア」実施回数：5回<br>延べ参加人数：85人<br>成果発表会およびフォーラムの実施：1回<br>参加人数：114人 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 特別非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン | — | 教育局生涯学習課 |
| 256 | ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」 | すでに映写機のない各家庭に眠っている8ミリフィルムを掘り起こすため、8ミリフィルム上映やデジタル化のノウハウを持つ特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台との共催により、歴史民俗資料館の建物が持つ歴史的な雰囲気の中で、各家庭から持ち寄られた8ミリフィルムを鑑賞するイベントを実施する。 | 第14回ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」を歴史民俗資料館で実施した。<br>参加者数：16人 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台 | — | 教育局文化財課 |
| 257 | 歴史民俗資料館サポーター活動 | 仙台市歴史民俗資料館で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。 | ・小学3年生の校外学習見学を中心とする展示解説や、イベントの補助活動を実施予定としていたが、令和3年度の活動は学校見学だけ対応し、イベントは中止。<br>サポーター登録者数：20人<br>・企画展・特別展の概要説明および展示見学等を行う館主催のサポーター会を4回を予定したが2回だけ実施。<br>・養成講座　中止 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 歴史民俗資料館サポーター会 | — | 教育局文化財課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 258 | 仙台市富沢遺跡保存館ボランティア活動 | 富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館者との対面となる活動は令和4年1月12日～2月2日のみで、その他の期間は休止、もしくはイベント等の準備作業や野外展示の維持管理作業のみとした。また、ボランティアスタッフによる解説動画の撮影を行った。<br>ボランティア登録数：63人<br>①展示解説<br>延べボランティア数：13人<br>延べ活動時間数：35時間<br>②イベント等の補助<br>延べボランティア数：417人<br>延べ活動時間数：879時間<br>・館主催のボランティア育成事業を実施した。<br>養成講座：4回<br>実技研修：1回<br>施設等研修見学会：0回<br>育成講座：2回 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 富沢遺跡保存館ボランティア会 | 174 | 教育局文化財課 |
| 259 | 地底の森フェスタ2021 | 富沢遺跡保存館職員とボランティア会の共同で開催するイベントであり、「石器づくり」「やり投げ」などの各種体験コーナーや料理の試食体験を行う。 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容および日程を変更し、「体験！発見！地底の森」として4日間実施した。ボランティア会と共に変更内容を検討し、準備等にも協力して頂いた。<br>参加者数：141人 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 富沢遺跡保存館ボランティア会 | 18 | 教育局文化財課 |
| 260 | 縄文の森広場ボランティア活動 | 縄文の森広場で、年間を通じ来館者への展示案内、体験活動やイベント参加者の支援・補助等を行う。 | ・ボランティア登録数：61人<br>・令和3年度も来館者と接触しない活動を中心に行った（体験活動の準備、記念品の準備、ボランティアグッズ制作など）。<br>延べ年間活動人数：501人<br>延べ活動時間：1,111時間<br>・館主催のボランティア養成講座を6回開催したほか、定例会（月1回）をオンライン併用で行った。 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 縄文の森広場ボランティア会 | 10 | 教育局文化財課 |
| 261 | 仙台・文化財サポーター会 | 文化財の普及、利活用を促進するため、自主的に文化財を学習している3つの部会の活動を支援する。また文化財課主催のイベントなどへの協力を依頼する。 | 文化財サポーター養成講座を実施して育成を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集人数を10人に絞って実施した。全7回の計画だったが、感染拡大のため2回分を中止した。<br>講座実施回数：5回 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | 仙台・文化財サポーター会 | 20 | 教育局文化財課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 262 | 段ブロックコーナー設置 | 段ブロックプロジェクトと協力し、段ボールを素材としたブロックの普及を図るとともに、子どもの科学やものづくりへの興味関心を高める。 | 常設展の段ブロックで工作するエリアを改修し段ブロックで製作した迷路を設置した。 | 文化・芸術・スポーツ・学術 | 段ブロックプロジェクト | — | 教育局科学館 |
| 263 | 猫の譲渡会 | 保護猫団体に協力して譲渡会を開催する。 | 実施回数：11回 | 社会教育，まちづくり | しっぽゆらゆら杜猫会 | — | 教育局科学館 |
| 264 | 市民センター事業 | 各市民センターにおいて各種事業（講座）を実施する。<br>市民協働事業例：<br>図書ボランティア、剪定ボランティア等の各種ボランティアの養成講座、市民と一緒に講座を企画する市民企画講座、学校や地域団体等と連携した各種講座 | 講座数：630講座　2,505回 | 社会教育，まちづくり，環境，文化・芸術・スポーツ・学術，国際交流・協力，男女共同参画社会，子どもの健全育成 | 地域住民、地域団体等 | 20,228 | 教育局生涯学習支援センター |
| 265 | 市民センターまつり | 作品展示や舞台発表等生涯学習発表の場を提供するとともに、まつりの運営を通じて地域と世代間の交流を深め、コミュニティづくり促進の機会となる市民センターまつりを開催する。 | 開催館数：24館<br>（展示のみの開催を含む）<br>※新型コロナウイルス感染症の影響により32館で中止、大規模改修工事のため2館実施なし | 社会教育，まちづくり，文化・芸術・スポーツ・学術 | 地域住民、地域団体等 | 事業番号264と共通 | 教育局生涯学習支援センター |
| 266 | 学びのコミュニティづくり推進事業 | 学びのコミュニティづくり推進事業実施要項に基づき、子どもや学校を支援する学びのコミュニティづくり推進事業を委託により実施する。 | 委託実績：1件 | 社会教育，まちづくり | プロジェクト北三 | 253 | 教育局生涯学習支援センター |
| 267 | 地域文庫の会の活動に対する補助金 | 公共図書館と連携し、会員の交流と研修を深め文庫活動を盛んにし、子どもたちと地域住民のためのよりよい文化環境を作るために要する経費に対し、補助金を交付する。 | 補助金交付実績：2件 | 社会教育，子どもの健全育成 | 仙台手をつなぐ文庫の会、泉手をつなぐ文庫の会 | 570 | 教育局市民図書館 |
| 268 | 地域のボランティア育成と活動支援 | ①書架整理等を行うボランティアを募集し、市民参加を促進。<br>②ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会やブックトークを実施する他、講演会や講座等を行う。 | ①返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。また、破損した本の修理を、ボランティアの協力を得て行った。<br>②各図書館のおはなし会他、読書推進活動のボランティア　延べ人数669人<br>講演会や講座（実施1件）のボランティア延べ人数9人 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | ①市民の参加者<br>②読み聞かせボランティアサークルほんわか　他読み聞かせボランティア団体、登録した個人 | 56 | 教育局市民図書館 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 269 | 障害のある人へのサービスの充実 | ①視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービス<br>②ボランティア団体による拡大写本制作 | ①対面朗読件数　64件<br>②拡大写本　1タイトル3分冊完成 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | ①朗読ボランティア<br>②拡大写本の会 | ①77<br>②事業番号268と共通 | 教育局市民図書館 |
| 270 | 学校連携事業 | ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトーク | 利用校：21校（団体）<br>延べ実施回数：41回 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | 仙台市図書館ブックトークボランティア「ランプ」 | — | 教育局市民図書館 |
| 271 | ヤングアダルト世代の読書支援 | 中高生から参加者を募り図書館主催の講演会の運営補助、ブックリスト等の作成を通しておすすめ本の紹介などの情報発信を行い、同年代への読書のきっかけづくりを促進する。 | ・YA図書委員会による図書館主催の講演会の運営補助、選書やブックリストを作成した。<br>・選書アドバイザーによる、ブックリストの作成およびブックリストを青葉区内の中学校と近隣の高校に配布した。<br>・選書サポーターによる、おすすめ本のPOPを作成し図書館内に展示した。 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | YA図書委員会（泉図書館）、選書アドバイザー（広瀬図書館）、選書サポーター（榴岡図書館） | — | 教育局市民図書館 |
| 272 | 地域の専門機関との連携 | 地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報を発信する。 | 榴岡図書館で東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」と協働して「土井晩翠ゆかりの地を歩く」を開催。 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術，子どもの健全育成 | 東口ガイドボランティア「宮城野さんぽみち」 | — | 教育局市民図書館 |
| 273 | 市内大学との連携 | ①宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借の実施<br>②「学都仙台」を活かした市内大学との連携や、市内専門研究機関等とのネットワークづくり | ①宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を実施し、館内掲示により周知を図るとともに利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。<br>②広瀬図書館で、国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し「古本市」を開催した。また、学生読み聞かせワークショップや司書教諭研修等の講師として職員を派遣した。 | 社会教育，文化・芸術・スポーツ・学術 | ①宮城教育大学附属図書館<br>②市内大学、市内専門研究機関 | — | 教育局市民図書館 |
| 274 | 選挙出前授業 | 仙台市内の中学校、高等学校および大学において、模擬投票を含めた選挙出前授業を行う。 | 市内学校等11か所にて計16回実施した。 | その他 | 特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアActivate仙台 | — | 選挙管理委員会事務局選挙管理課 |

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 令和3年度の実施状況 | 事業分野 | 協働の相手方 | 事業費（千円） | 担当課<br>※（ ）内は令和3年度担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 275 | 選挙啓発ボランティア事業（Activate仙台） | 投票率の低い若年層の投票率向上のため、大学生等が定期的に集まり、市の啓発事業に対し企画・提案等を行う。 | 定期的な集まりで市の啓発事業に対し意見の提供や提案を行ったほか、啓発ポスターの選定等を実施した。<br>活動者数：10人 | その他 | 市民の参加者 | 25 | 選挙管理委員会事務局選挙管理課 |
| 276 | 選挙啓発事業 | 東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターが、仙台市民投票意識調査の結果について分析・検証し、市と効果的な啓発について協議する。また、投票率向上に資する取り組み機会を増やすため、同センターの事業への市の参加について協議する。 | 令和3年の仙台市長選挙後に実施した「仙台市民投票意識調査」の結果について、東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターに引き続き分析を依頼した。 | その他 | 東北大学<br>（東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター） | ― | 選挙管理委員会事務局選挙管理課 |
| 277 | 災害時給水栓による地域の飲料水確保 | 災害により応急給水が必要になった際、地域住民が自ら給水所を立ち上げ運営できるよう、市立小中高校に災害時給水栓を設置するとともに、操作説明会や防災訓練を通じて操作方法の理解を深め、習得を促す。 | 災害時給水栓について、避難所運営委員会等に対して使用方法等の説明を実施した。<br>令和3年度に説明した箇所：8か所<br>（令和3年度末までに説明した箇所数：137か所） | 地域安全活動 | 地域団体（避難所運営委員会等）、市立小中高校 | 32,245 | 水道局水道危機管理室 |
| 278 | 院内の案内・介助支援 | 院内を訪れる患者や家族の受診案内や、歩行困難者などの車イスによる介助、および四季折々の展示物作成を行うボランティア活動。ボランティアは、市立病院で一般公募し、養成講座を実施した後にボランティア登録した方が活動している。 | 年間活動日数：93日<br>ボランティア延べ参加者数：517人 | 健康福祉・医療 | ボランティア登録者 | 298 | 市立病院総合サポートセンター |